

# ネクスペースウォール&ルーフ 取付説明書

- この度は、新日軽商品をご採用いただき誠にありがとうございます。  
商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この取付説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
- 本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。  
施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- 電気工事は電気工事士の資格が必要です。電気工事が必要な場合は、必ず電気工事店へ依頼してください。
- この説明書は施工後必ず施工主様へお渡しください。

## 注意事項

施工にあたっては次の点をご注意ください。

### ◎設置場所・位置について

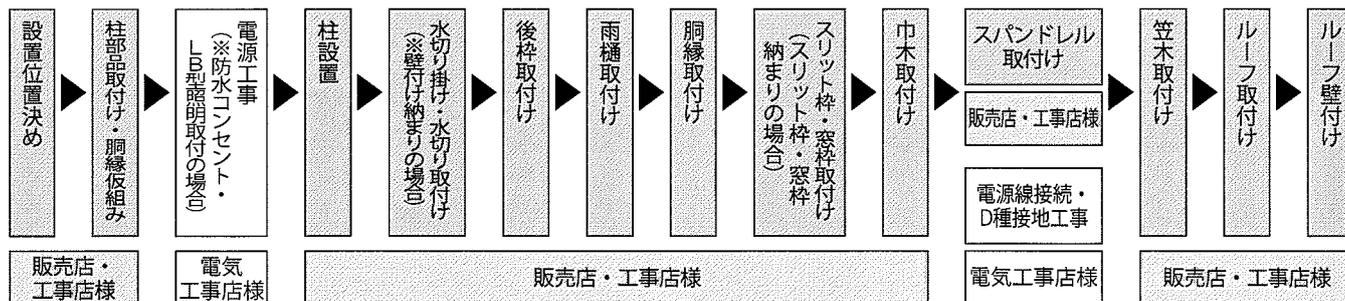
- ガス給湯器などの熱や排気ガスが製品に直接当たる、またはこもるような場所に設置しないでください。熱による塗装劣化・剥離（はくり）、また排気ガスによる腐食の原因になります。

### ◎施工時の注意事項

- モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、アルミの腐食の原因になりますので使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。
- モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
- アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
- 埋め込み柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。

- 支柱の水抜き穴はモルタルなどでふさがないでください。
- モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。
- 施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
- 輸入木材には塩素イオン等の腐食成分が多く含まれているものがありますので、その使用を避けていただくか、アルミと接触する部分には木材に塗装するようにしてください。
- 基礎施工は、地下埋設物（給水配管等）に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。また、寒冷地はその地域にあった基礎工事を行ってください。
- 地盤が軟弱な場合は、柱の埋め込み深さ、フーチングの大きさを考慮してください。
- 養生期間は十分（4日～1週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
- シーリング処理は指定箇所に確実に行ってください。
- 改造・変更をしないでください。

### ◎施工の流れ



●この説明書は「施工の流れ」に合わせて引き継いでください。施工終了後は施工主様にお渡しください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
	この表示を無視して誤った取扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。		「必ず行っていただくこと」を示しています。

## 注意

- 地耐力が 30kN/㎡未満の地盤には設置しないでください。
- この商品は一般地域用です。[積雪強度：600N/㎡]積雪の多い地域には取付けないでください。
- 各ボルト・ビス類は、確実に締め付けてください。
- 無理にボルト・ビスを締め付けしないでください。破損の原因になります。
- 施工後は、必要に応じて養生を施してください。
- 保管時は、平坦な場所に平置きしてください。また、長期間保管する場合、風雨にさらされないようにしてください。
- 本体に乗ったり、揺すったりしないでください。
- 本体に雨具、洗濯物、布団等を載せないでください。



## 屋根材・窓（ポリカパネル）ご使用上の注意

- 屋根材・窓の近くで、殺虫剤、除草剤は使用しないでください。有機系・石油系の物質が付着すると、変色、ムラ、変形、割れが生じることがあります。
- ポリカパネルは材質の特性上、温度の変化による伸縮が発生します。それによって多少のたわみ（反り）の生じる場合がありますが、使用上および機能上問題ありません。



この取付説明書は、壁側を「外側」、屋根側を「内側」として説明しています。  
また、「左・右」は壁側から見た場合を示しています。



オプションの防水コンセント・LB型照明を取付ける場合は、スパンドレルの取付けと同時に作業を行ってください。

下記のシリーズ、またはオプションと組合せる場合は、本体に付属の取付説明書を合わせて参照してください。



シリーズ品名	取付説明書番号	オプション品名	取付説明書番号
ネクスペース ウォール	ME-2049	天井スクリーン	ME-2055
ネクスペース ピラー&ルーフ	ME-2051	ハーディツェットアーチ	ME-2056
		UD 手すり連結部品	ME-2057
ネクスペース ピラー&ルーフ入隅納まり	ME-2054	防水コンセント・LB 型照明	ME-2058
		ネクスペース 出幅調整部品	ME-2119

## もくじ

梱包明細	3	8. スパンドレルの取付け	35
各部の名称	5	8-1 標準納まりの場合	36
納まり図	10	8-2 スリット枠納まり・窓納まりの場合	38
詳細図	15	8-3 上部縦樋ふさぎ部品の取付け	39
1. 柱の設置	17	8-4 吊り材固定ブラケットの取付け	40
1-1 施工前の確認	17	9. 笠木の取付け	40
1-2 柱部品の取付け	17	10. 垂木・母屋の取付け	42
1-3 柱の埋め込み	19	10-1 吊り材の組立て	42
2. 後枠側の施工	20	10-2 垂木部品の取付け	42
2-1 後枠掛けの取付け	20	10-3 吊り材・垂木の取付け	43
2-2 後枠の連結（※連棟納まりの場合）	21	10-4 母屋の取付け	46
2-3 後枠の取付け	22	10-5 吊り材の調整	47
3. 水切り掛け・水切りの取付け（※壁付け納まりの場合）	23	11. ルーフの壁付け（※壁付け納まりの場合）	48
4. 胴縁の取付け	25	12. 屋根材の取付け	49
5. スリット枠・窓枠の取付け	26	12-1 屋根材の取付け	49
5-1 スリット枠・窓枠の組立て	26	12-2 水切りの固定（※壁付け納まりの場合）	51
5-1-1 スリット枠納まりの場合	26	施工完了時の注意事項	52
5-1-2 窓枠納まりの場合	26	■施工工事店様、販売店様へのお願い	52
5-2 スリット枠・窓枠の取付け	29		
6. 巾木の取付け	32		
7. 雨樋の取付け	33		
7-1 縦樋の取付け	33		
7-2 雨樋ふさぎカバーの取付け	34		

# 梱包明細

- 施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いか確認してください。
- 説明書に記載している部材・部品（ビス含）以外は使用しないでください。

梱包名称		梱包内容	※表内の（ ）は個数を表しています。	
ウォール	ウォールフレーム	端部柱	端部柱 (L・R各1)・柱キャップB (2)・φ4×12トラスタッピン3種 (4)・アンカー棒 (2)	
		中間柱	中間柱 (1)・柱キャップB (1)・φ4×12トラスタッピン3種 (2)・アンカー棒 (1)	
	横連結部材	スリット枠無	胴縁 (10/12) ※1・横材固定部品 (L・R各10/12) ※1・φ4×12トラスタッピン3種 (60/72) ※1	
		スリット枠有	胴縁 (8/10) ※1・窓部用胴縁 (4)・横材固定部品 (L・R各16/18) ※1 φ4×12トラスタッピン3種 (96/108) ※1	
	笠木・巾木セット		笠木 (1)・巾木 (樋加工有・無各1)・穴ふさぎ (1)・φ4×16セルフドリリングビス (2)	
	笠木・巾木 部品箱	単体用	笠木キャップ (2)・笠木キャップシーラー (2)・φ4×16皿タッピン3種 (4) φ4×13セルフドリリングビス (2)・ゴムワッシャー (2)・巾木カバー (2) φ4×16皿タッピン3種 (8)・φ4×13セルフドリリングビス (6/8) ※1 笠木ホルダー (3/4) ※1 φ5×16トラスタッピン3種 (12/16) ※1	
		連結用	笠木連結カバー (1)・パッキン (2)・φ4×13セルフドリリングビス (1) φ4×13セルフドリリングビス (6/8) ※1・巾木連結部品 (4)・笠木ホルダー (1/2) ※1 笠木ホルダー連結用 (1)・φ5×16トラスタッピン3種 (8/12) ※1	
	スパンドレル	基本用	標準	スパンドレル基本部材 (6)・スパンドレル取付ビスセット (1) [φ4×16セルフドリリングビス (30/36) ※1]
			スリット枠・窓枠	スパンドレル基本部材 (4)・スパンドレル基本部材 [窓上] (2)・スパンドレル基本部材 [窓下] (2) スパンドレル窓側隙間隠し A (1)・スパンドレル窓側隙間隠し B (1) スパンドレル取付ビスセット (1) [φ4×16セルフドリリングビス (30/36) ※1] 塞ぎ材固定ビスセット (1) [ビス穴ふさぎ (2)・φ4×13皿セルフドリリングビス2段落し (2)]
			標準 [ルーフ取付面]	スパンドレル基本部材 [屋根上] (6)・スパンドレル基本部材 [屋根下] (6) スパンドレル取付ビスセット (1) [φ4×16セルフドリリングビス (30/36) ※1]
スリット枠・窓枠 [ルーフ取付面]			スパンドレル基本部材 [屋根上] (6)・スパンドレル基本部材 [屋根下] (4) スパンドレル基本部材 [屋根下・窓上] (2)・スパンドレル基本部材 [窓下] (2) スパンドレル窓側隙間隠し A (1)・スパンドレル窓側隙間隠し B (1) スパンドレル取付ビスセット (1) [φ4×16セルフドリリングビス (30/36) ※1] 塞ぎ材固定ビスセット (1) [ビス穴ふさぎ (2)・φ4×13皿セルフドリリングビス2段落し (2)]	
端部用		スパンドレル端部部材 (2)・スパンドレルL部材 (1)・スパンドレルR部材 (1) スパンドレルL部材 [屋根上] (1)・スパンドレルR部材 [屋根上] (1)・スパンドレルL部材 [屋根下] (1) スパンドレルR部材 [屋根下] (1) スパンドレル取付ビスセット (1) [φ4×16セルフドリリングビス (36/40) ※1]		
連結用		スパンドレル基本部材 (1)・スパンドレル基本部材 [屋根上・吊] (1) スパンドレル基本部材 [屋根下] (1) スパンドレル取付ビスセット (1) [φ4×16セルフドリリングビス (10/12) ※1]		
窓	スリット枠	窓枠 [横] (2)・窓枠 [縦] (2)・窓組立部品セット (1) [φ4×20ナベタッピン2種ガイド付き (12)]		
	窓枠	窓枠パネル用 (横) (2)・窓枠パネル用 (縦) (2)・横額縁用押縁 (2) 窓組立部品セット (1) [φ4×20ナベタッピン2種ガイド付き (12)・窓枠用シーラーL (2) 窓枠用シーラーR (2)・後付ビード (1)]・セッティングブロック (2)		
	窓パネル	ポリカーボネート板 (1)		
ルーフ	垂木母屋	端部用	垂木 (2)・垂木カバー (2)・押さえ材 (4)・母屋 (1/2) ※1・前枠用母屋 (1)・端部用母屋 (L・R各2/3) ※1 母屋カバー (3/5) ※1・前枠用母屋カバー (4)・端部用母屋カバー (8/12) ※1・吊り材 (2) 屋根組立部品セット (1) [吊り材端部キャップ (2)・φ4×12トラスタッピン3種 (4)・母屋固定部品 (4/6) ※1 φ4×12トラスタッピン3種 (4/6) ※1・バッカー材 (4/6) ※1・垂木キャップ (2) φ4×12トラスタッピン3種 (6)・φ4×12皿タッピン3種 (2)・φ4×20トラスタッピン3種 (4) φ4×20トラスタッピン3種 (16/24) ※1・φ4×10トラスタッピン2種 (28/36) ※1 屋根材押さえ部品 (3)・φ4×16セルフドリリングビス (6)・母屋端部キャップ (4/6) ※1 φ4×12トラスタッピン3種 (4/6) ※1・端部母屋補強板 (4/6) ※1]	
		中間用	垂木 (1)・垂木カバー (1)・押さえ材 (2)・母屋 (1/2) ※1・前枠用母屋 (1)・母屋カバー (3/5) ※1 前枠用母屋カバー (4)・吊り材 (1) 屋根組立部品セット (1) [吊り材端部キャップ (1)・φ4×12トラスタッピン3種 (2)・母屋固定部品 (2/3) ※1 φ4×12トラスタッピン3種 (2/3) ※1・バッカー材 (1)・垂木キャップ (1) φ4×12トラスタッピン3種 (3)・φ4×12皿タッピン3種 (1)・φ4×20トラスタッピン3種 (2) φ4×20トラスタッピン3種 (8/12) ※1・φ4×10トラスタッピン2種 (14/18) ※1 屋根材押さえ部品 (3)・φ4×16セルフドリリングビス (6)]	
	吊り材取付金具	吊り材調整金具 (1)・吊り材固定ブラケット (2)・吊り材ブラケット用スペーサー (1) M5×10トラス小ネジ (6)・M8×20六角セムスボルト (4)・M8×60六角ボルト (1) M8×40六角ボルト (2)・M8用パネ座金 (4)・M8用平座金 (4)・M8用袋ナット (1)		

※1：出巾または間口・高さによって個数が異なります。

# 梱包明細

梱包名称		梱包内容 ※表内の ( ) は個数を表しています。		
ルーフ	後枠	単体用	後枠 (1)・後枠掛け (1)・後枠ピース (2/3) ※1 後枠キャップセット (1) [後枠キャップ (L・R各 1)・φ4×12トラスタッピン3種 (4)] 垂木後枠取付部品セット (1) [垂木取付部品 (3/4) ※1・φ5×16トラスタッピン3種 (6/8) ※1 φ4×12トラスタッピン3種 (12/16) ※1]・後枠取付ボルトセット (1) [緩み止めボルト (12/16) ※1 柱取合パッキン (3/4) ※1]・雨樋ふさぎカバーセット (1) [雨樋ふさぎカバー (1) φ4×13皿セルフドリリングビス (2)・ビス穴ふさぎ (2)] スパンドレル雨樋ふさぎカバーセット (1) [上部縦樋ふさぎ部品 (1)・φ4×13皿セルフドリリングビス 2 段落し (4)] スパンドレル小口隠し部品セット (1) [スパンドレル小口隠し部品 (4) φ4×13セルフドリリングビス (4)]・取付説明書 [ME-2050] (1)・取扱説明書 [MET-1062] (1)	
		中間用	後枠 (1)・後枠掛け (1)・後枠ピース (2/3) ※1 垂木後枠取付部品セット (1) [垂木取付部品 (2/3) ※1・φ5×16トラスタッピン3種 (4/6) ※1 φ4×12トラスタッピン3種 (10/12) ※1]・後枠連結部品セット (1) [後枠連結部品 A (1) 後枠連結部品 B (1)・φ4×12皿タッピン3種 (8)・後枠連結用パッキン (1) 後枠連結部止水パッキン (1)]・後枠取付ボルトセット (1) [緩み止めボルト (8/12) ※1 柱取合パッキン (2/3) ※1]・雨樋ふさぎカバーセット (1) [雨樋ふさぎカバー (1) φ4×13皿セルフドリリングビス (2)・ビス穴ふさぎ (2)] スパンドレル雨樋ふさぎカバーセット (1) [上部縦樋ふさぎ部品 (1) φ4×13皿セルフドリリングビス 2 段落し (4)]	
	端部用	L	後枠 (1)・後枠掛け (1)・後枠ピース (2/3) ※1・後枠キャップセット (1) [後枠キャップ L (1) φ4×12トラスタッピン3種 (2)]・垂木後枠取付部品セット (1) [垂木取付部品 (2/3) ※1 φ5×16トラスタッピン3種 (4/6) ※1・φ4×12トラスタッピン3種 (10/12) ※1] 後枠取付ボルトセット (1) [緩み止めボルト (8/12) ※1・柱取合パッキン (2/3) ※1] 雨樋ふさぎカバーセット (1) [雨樋ふさぎカバー (1)・φ4×13皿セルフドリリングビス 2 段落し (2) ビス穴ふさぎ (2)]・スパンドレル小口隠し部品セット (1) [スパンドレル小口隠し部品 (2) φ4×13セルフドリリングビス (2)] スパンドレル雨樋ふさぎカバーセット (1) [上部縦樋ふさぎ部品 (1)・φ4×13皿セルフドリリングビス 2 段落し (4)]	
		R	後枠 (1)・後枠掛け (1)・後枠ピース (2/3) ※1・後枠キャップセット (1) [後枠キャップ R (1) φ4×12トラスタッピン3種 (2)]・垂木後枠取付部品セット (1) [垂木取付部品 (3/4) ※1 φ5×16トラスタッピン3種 (6/8) ※1・φ4×12トラスタッピン3種 (12/16) ※1] 後枠連結部品セット (1) [後枠連結部品 A (1)・後枠連結部品 B (1)・φ4×12皿タッピン3種 (8) 後枠連結用パッキン (1)・後枠連結部止水パッキン (1)] 後枠取付ボルトセット (1) [緩み止めボルト (12/16) ※1・柱取合パッキン (3/4) ※1] スパンドレル雨樋ふさぎカバーセット (1) [上部縦樋ふさぎ部品 (1)・φ4×13皿セルフドリリングビス (4)] 雨樋ふさぎカバーセット (1) [雨樋ふさぎカバー (1)・φ4×13皿セルフドリリングビス 2 段落し (2) ビス穴ふさぎ (2)]・スパンドレル小口隠し部品セット (1) [スパンドレル小口隠し部品 (2) φ4×13セルフドリリングビス (2)]・取付説明書 [ME-2050] (1)・取扱説明書 [MET-1062] (1)	
	屋根材		屋根材 (1)	
	φ60用丸縦樋	取付部品	落し口パッキン (2)・落し口 (1)・エルボ 88° (2)・回転サドル (3)・穴ふさぎ (1)・接着剤 (1) ドレンエルボ (1)・φ4×12トラスタッピン3種 (4)・φ4×19セルフドリリングビス (3)	
	丸縦樋	縦樋 [L=3500] (1)		

※1：出巾または間口・高さによって個数が異なります。

## 別売品

梱包名称		梱包内容 ※表内の ( ) は個数を表しています。	
壁付セット	壁付部材セット		水切り掛け部材 (1)・水切り (1)・M8×75 コーチスクリュー (6/8)・M8用パネ座金 (6/8) M8用平座金 (6/8)
	壁付部品 セット	単体用	前枠壁付用垂木固定部品 (3/4) ※1・M8×16六角ボルト (12/16) ※1・M8用パネ座金 (12/16) ※1 M8用平座金 (12/16) ※1・M8用袋ナット (12/16) ※1・垂木連結固定部品 (3/4) ※1 φ4×16トラスタッピン3種 (6/8) ※1・φ4×10セルフドリリングビス (7/10) ※1 前枠壁付用部材キャップ (A・B各 2)・φ4×12トラスタッピン3種 (8)
		連棟用	前枠壁付用垂木固定部品 (2/3) ※1・M8×16六角ボルト (8/12) ※1・M8用パネ座金 (8/12) ※1 M8用平座金 (8/12) ※1・M8用袋ナット (8/12) ※1・垂木連結固定部品 (2/3) ※1 φ4×16トラスタッピン3種 (4/6) ※1・φ4×10セルフドリリングビス (7/10) ※1 前枠壁付用部材連結部品 (A・B各 1)・φ4×13ゴムワッシャー付セルフドリリングビス (6)
落ち葉避けネット		落ち葉避けネット (1)	



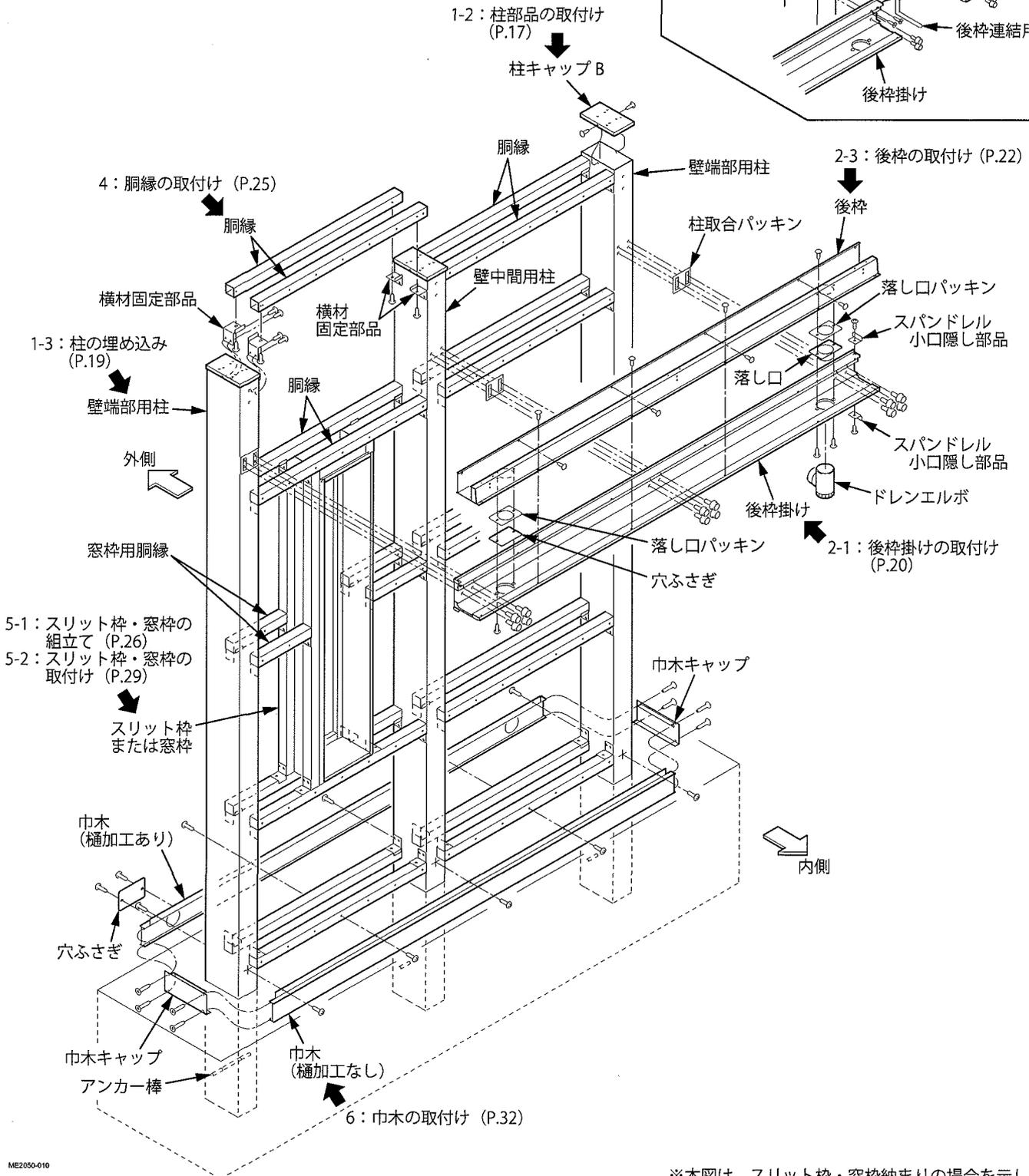
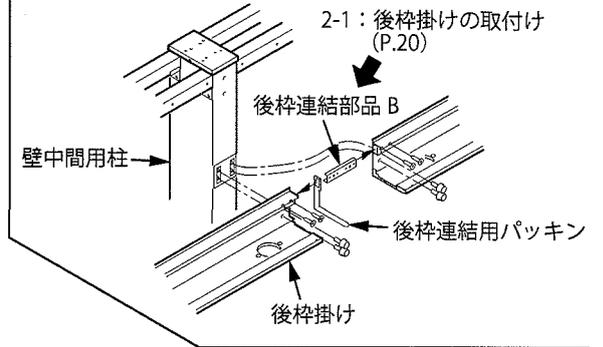
シーリング材は別途手配してください。

# 各部の名称

●組立施工および調整の説明項目を示しています。施工作業前に確認してください。  
※ ( ) 内は説明ページを示しています。

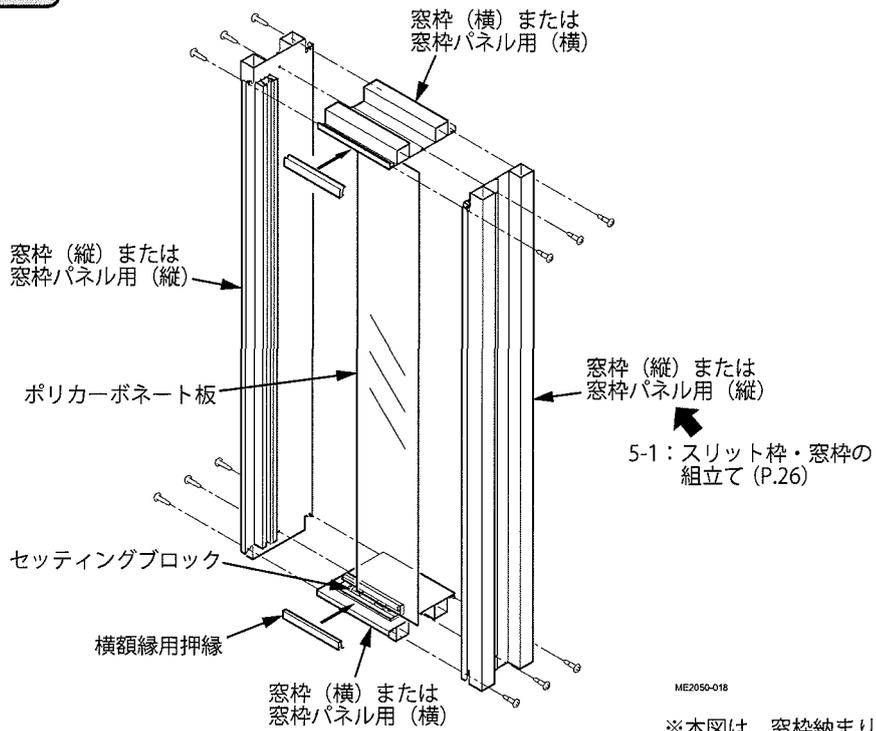
## 基本構造部

### ●連結部 (※連棟納まりの場合)

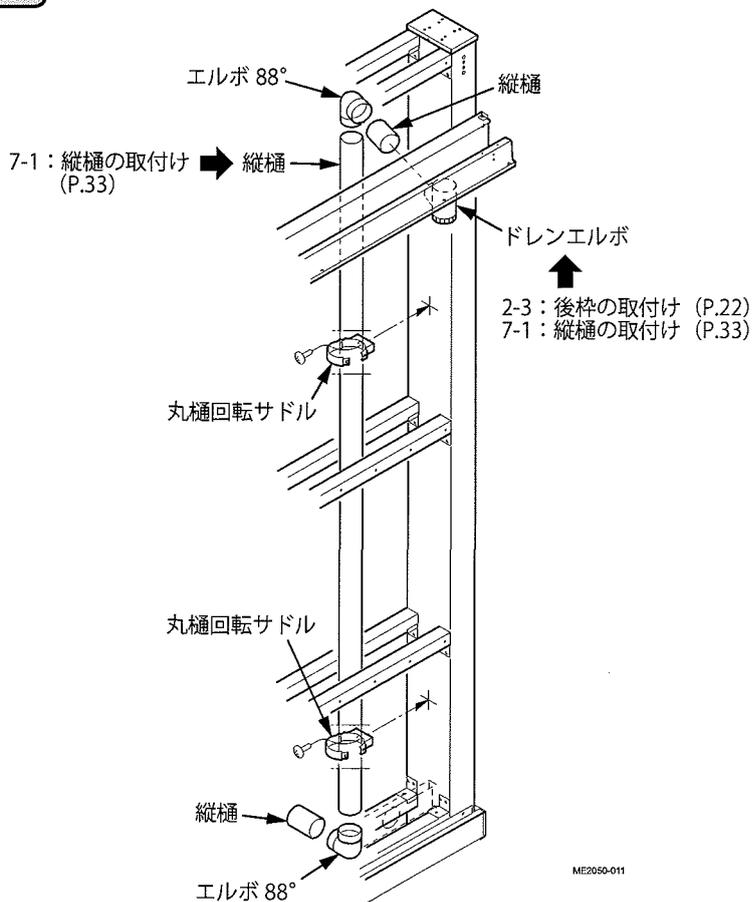


※本図は、スリット枠・窓枠納まりの場合を示しています。

スリット枠・窓枠

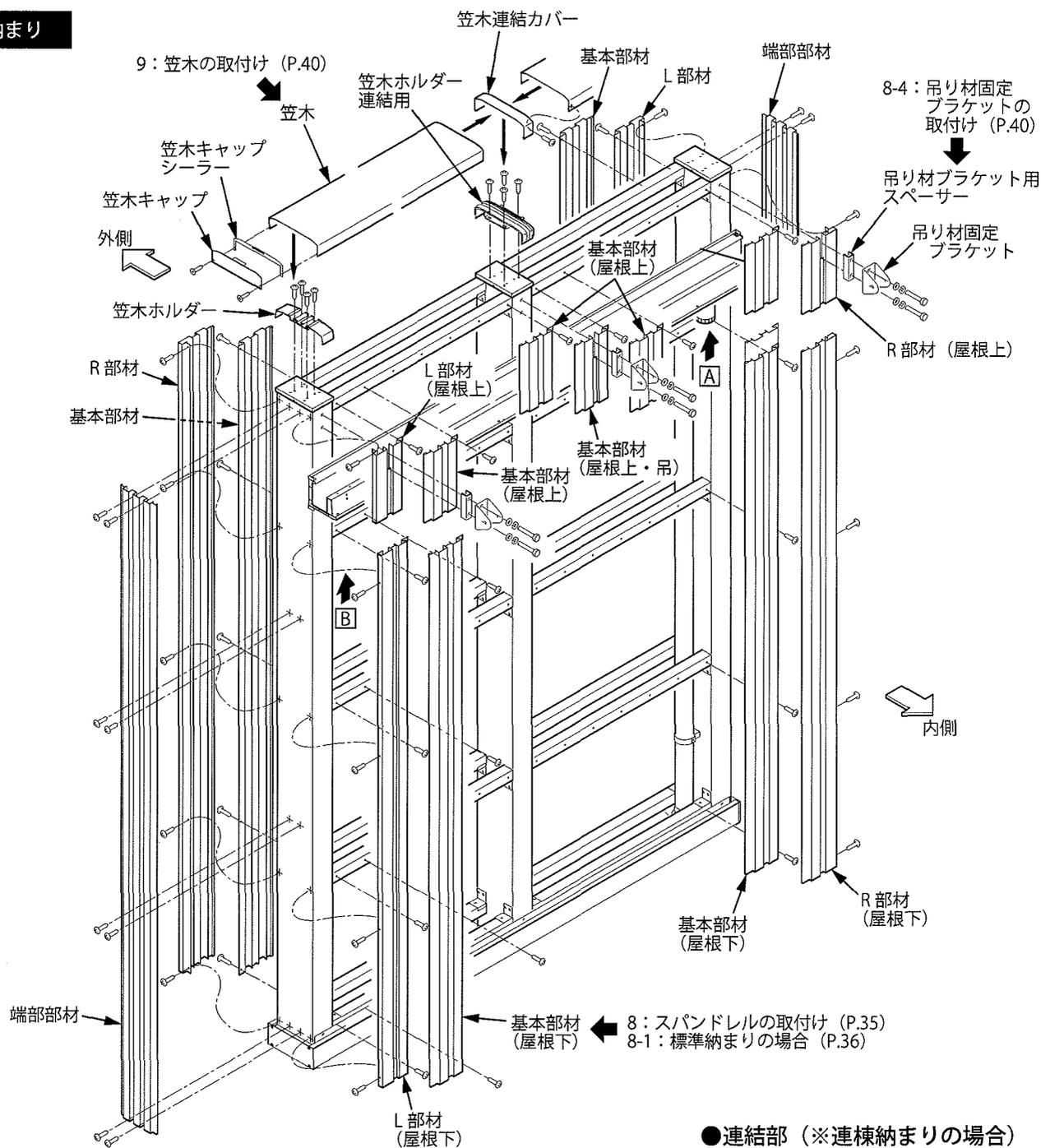


雨樋部



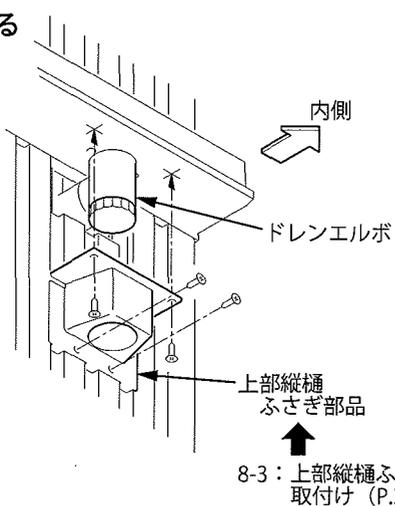
スパンドレル・笠木部

標準納まり

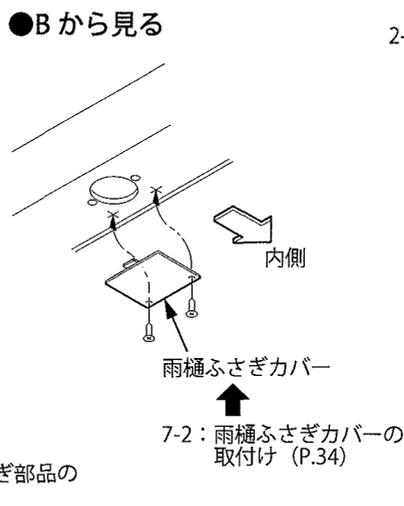


ME2050-018

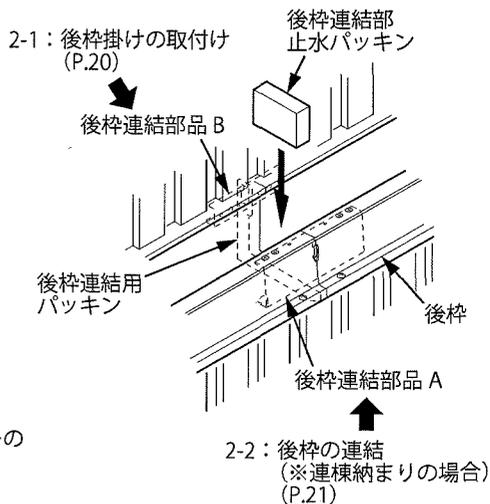
●Aから見る



●Bから見る



●連結部 (※連棟納まりの場合)

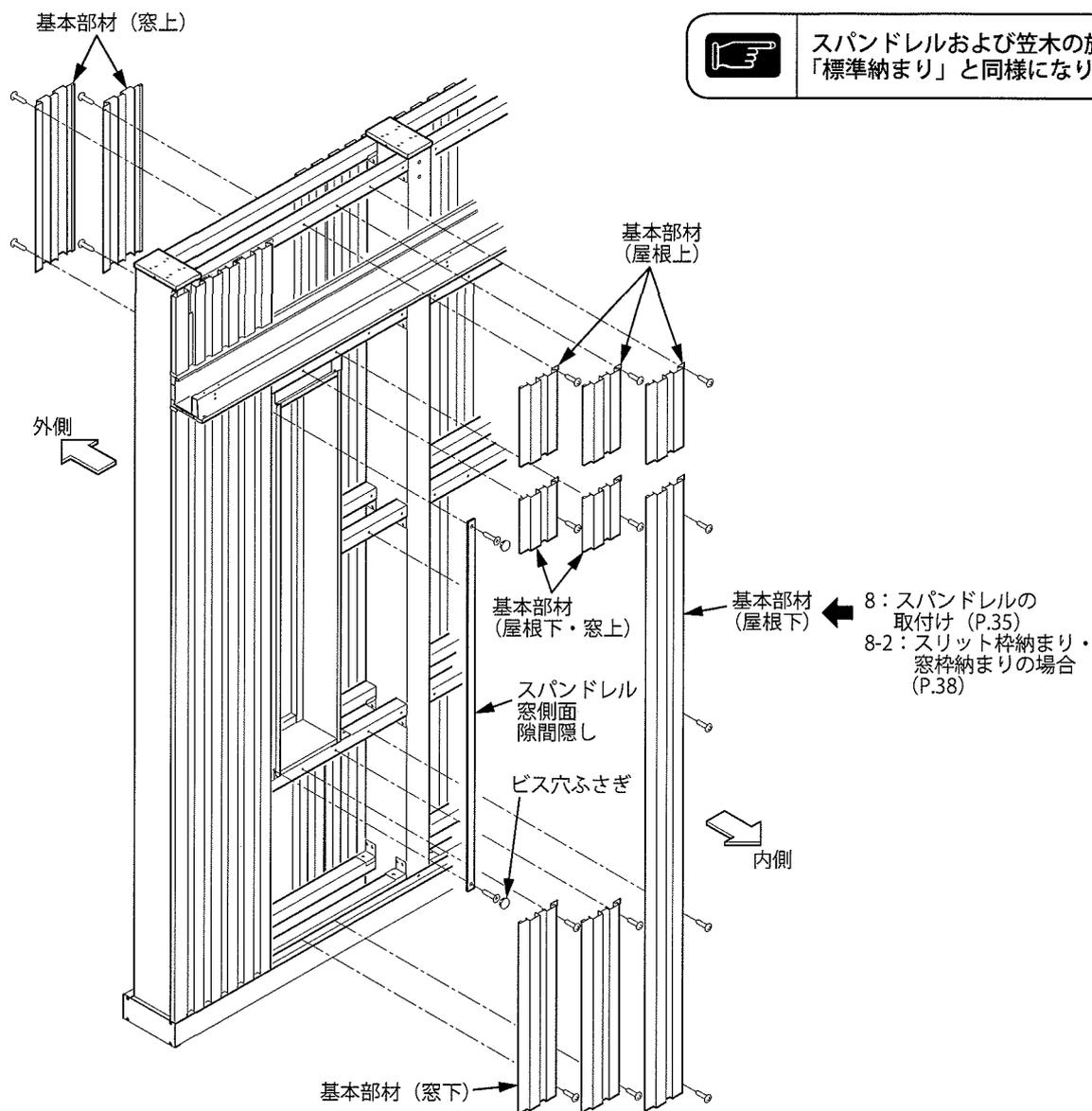


ME2050-018

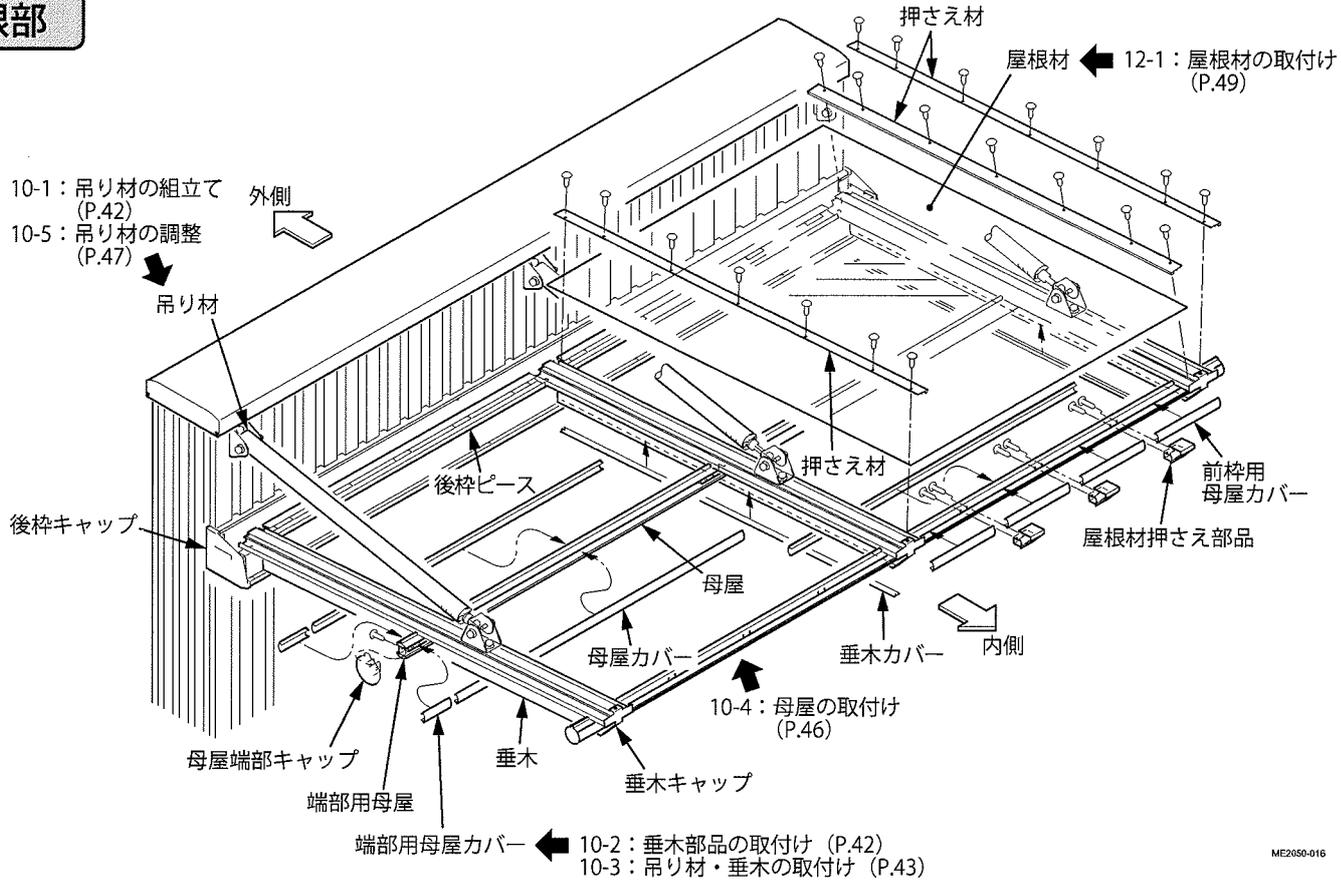
ME2050-014

# 各部の名称

## スリット枠・窓枠納まり

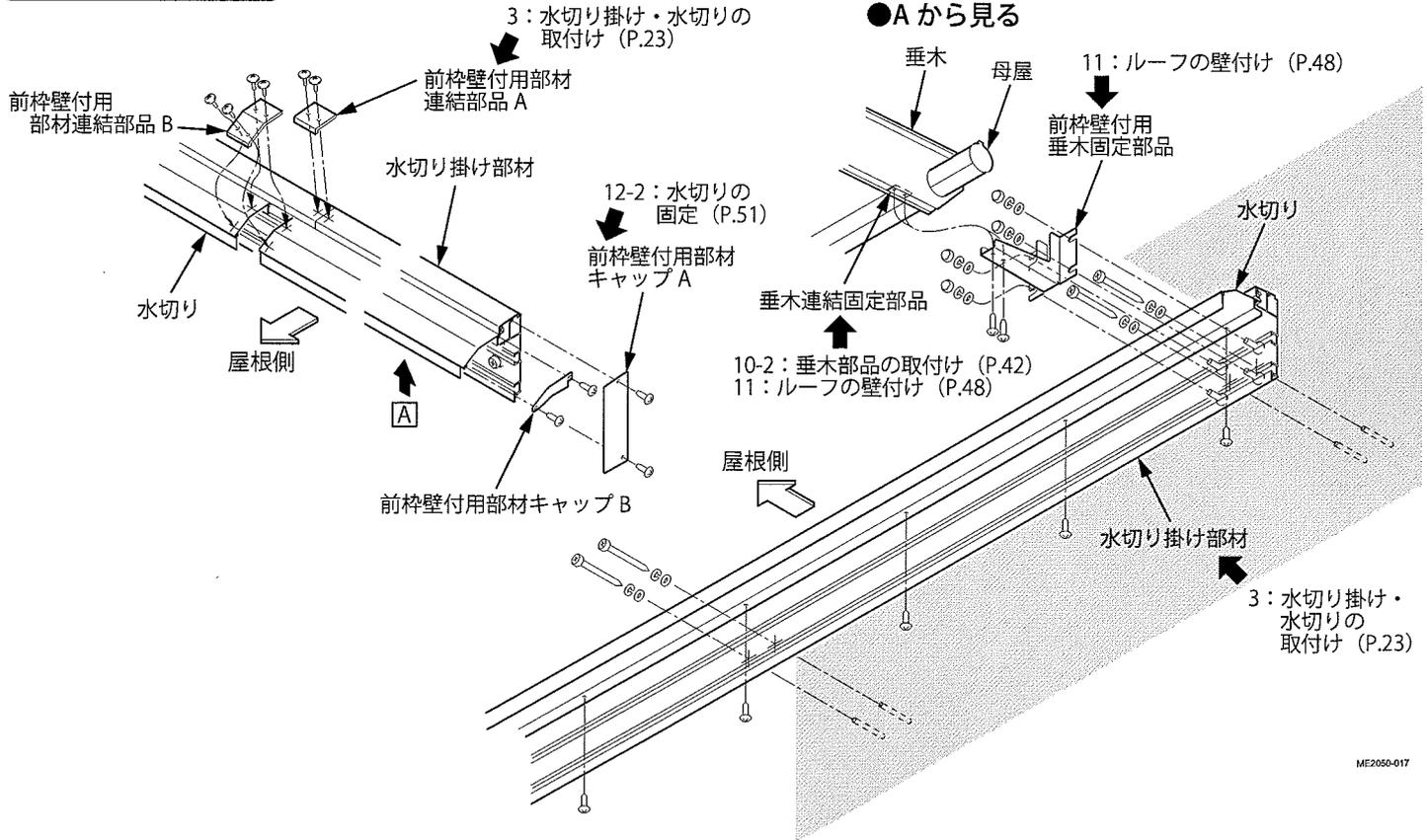


屋根部



ME2050-016

壁付け納まり



ME2050-017

# 納まり図

●施工前に必ず確認してください。



設置場所の地耐力によって基礎寸法が異なります。地耐力を測定し、下表で寸法を確認してください。  
※地耐力に合わない寸法で施工すると、施工不良や破損事故の原因になります。

## ●基礎寸法表

(mm)

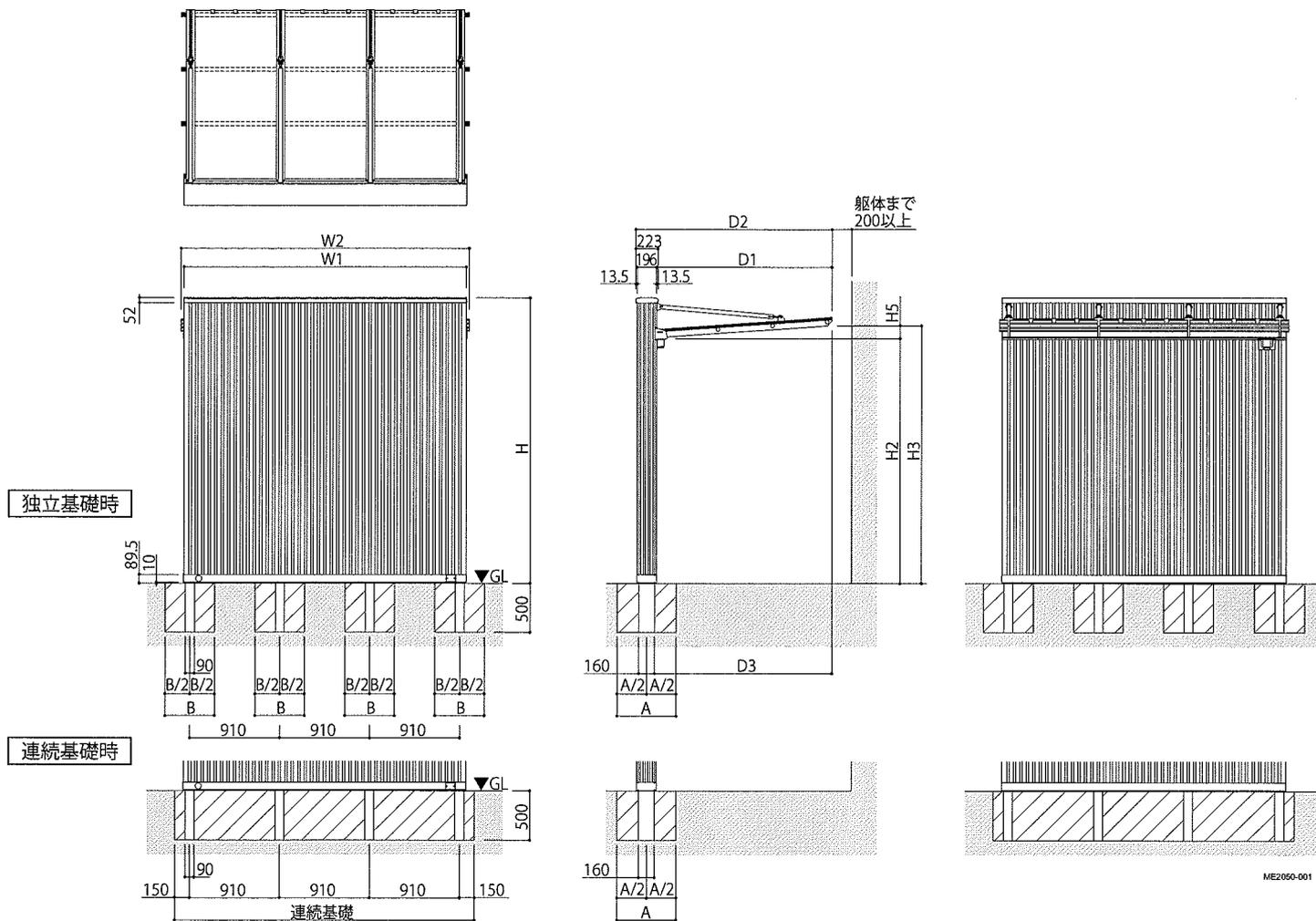
H	地耐力	A × B			
		3尺	4尺	5尺	6尺
H23	30kN/㎡	650 × 連続基礎	700 × 連続基礎	750 × 連続基礎	800 × 連続基礎
	50kN/㎡	600 × 連続基礎	600 × 連続基礎	600 × 連続基礎	600 × 連続基礎
	100kN/㎡	600 × 450	600 × 450	600 × 500	600 × 550
	200kN/㎡	600 × 300	600 × 300	600 × 300	600 × 300
H26	30kN/㎡	750 × 連続基礎	800 × 連続基礎	850 × 連続基礎	900 × 連続基礎
	50kN/㎡	600 × 連続基礎	600 × 連続基礎	650 × 連続基礎	700 × 連続基礎
	100kN/㎡	400 × 300	400 × 300	400 × 350	400 × 400
	200kN/㎡	600 × 300	600 × 300	600 × 350	600 × 350
H29	30kN/㎡	900 × 連続基礎	950 × 連続基礎	950 × 連続基礎	1050 × 連続基礎
	50kN/㎡	700 × 連続基礎	750 × 連続基礎	800 × 連続基礎	850 × 連続基礎
	100kN/㎡	600 × 600	600 × 連続基礎	600 × 連続基礎	600 × 連続基礎
	200kN/㎡	600 × 350	600 × 400	600 × 400	600 × 450
H33	30kN/㎡	1050 × 連続基礎	1100 × 連続基礎	1100 × 連続基礎	1150 × 連続基礎
	50kN/㎡	850 × 連続基礎	900 × 連続基礎	950 × 連続基礎	1000 × 連続基礎
	100kN/㎡	600 × 連続基礎	600 × 連続基礎	600 × 連続基礎	600 × 連続基礎
	200kN/㎡	600 × 450	600 × 450	600 × 500	600 × 500



- 間口 0.5 間につき、柱 2 本です。柱芯々寸法は標準 910mm です。
- 入隅納まりと接続する場合、ルーフの出巾は 5 尺までです。

標準納まり

※本図は、出巾 6 尺・間口 1.5 間・H29 の場合を示しています。  
 ※基礎寸法は、10 ページの「基礎寸法表」を参照してください。



●基本寸法表

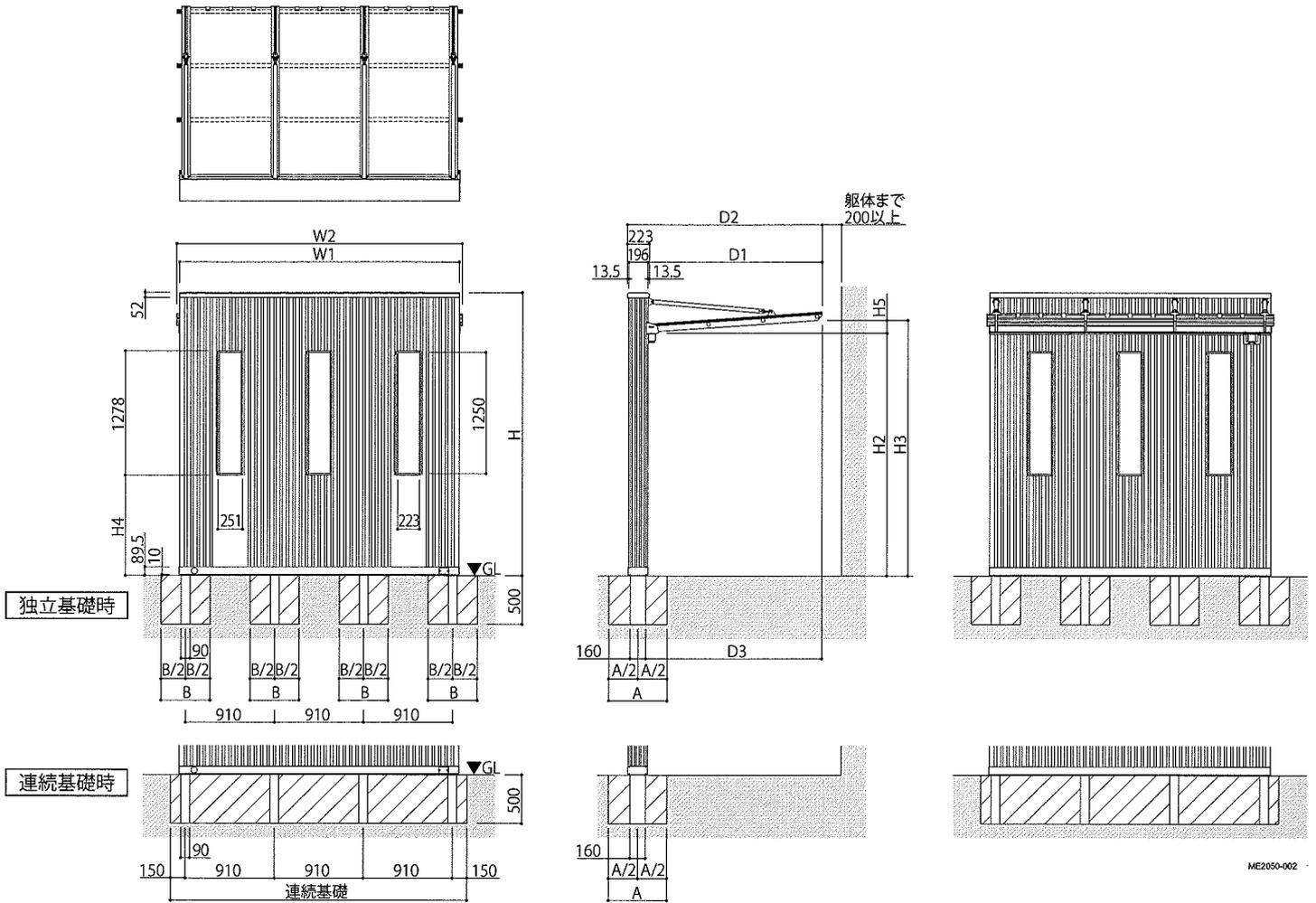
H	H2	H3 (mm)			
		3 尺	4 尺	5 尺	6 尺
H23	1900	1969	1990	2011	2032
H26	2200	2269	2290	2311	2332
H29	2500	2569	2590	2611	2632
H33	2900	2969	2990	3011	3032

出巾	H5	D1	D2	D3
3 尺	69	887	1096	905
4 尺	90	1186	1395	1204
5 尺	111	1485	1694	1503
6 尺	132	1785	1994	1803

間口	W1	W2
1.0 間	1948	2004
1.5 間	2858	2914
2.0 間	3768	3824
2.5 間	4678	4734
3.0 間	5588	5644
3.5 間	6498	6554
4.0 間	7408	7464

スリット枠納まり

※本図は、出巾6尺・間口1.5間・H29の場合を示しています。  
 ※基礎寸法は、10ページの「基礎寸法表」を参照してください。



●基本寸法表

(mm)

H	H2	H3				H4
		3尺	4尺	5尺	6尺	
H23	1900	1969	1990	2011	2032	436
H26	2200	2269	2290	2311	2332	736
H29	2500	2569	2590	2611	2632	1036
H33	2900	2969	2990	3011	3032	1436

※ H4 はスリット枠納まり・窓納まりのみです。

(mm)

出巾	H5	D1	D2	D3
3尺	69	887	1096	905
4尺	90	1186	1395	1204
5尺	111	1485	1694	1503
6尺	132	1785	1994	1803

(mm)

間口	W1	W2
1.0間	1948	2004
1.5間	2858	2914
2.0間	3768	3824
2.5間	4678	4734
3.0間	5588	5644
3.5間	6498	6554
4.0間	7408	7464

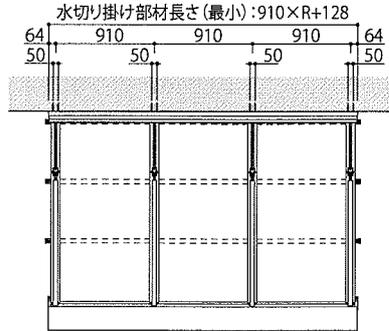
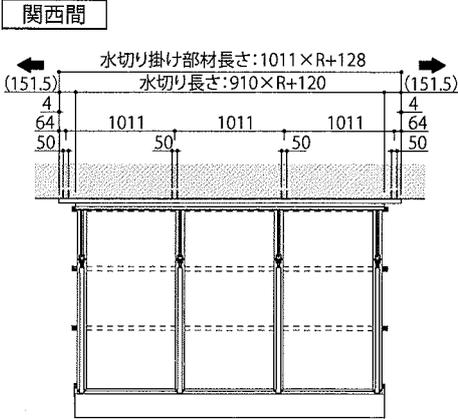
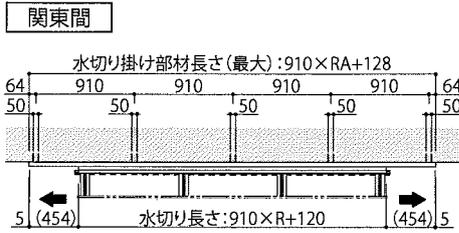


# 納まり図

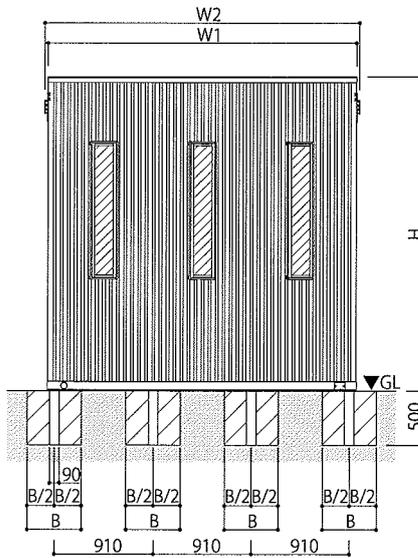
## 壁付け納まり

※本図は、出巾 6 尺・間口 1.5 間・H29・窓枠納まりの場合を示しています。  
 ※ ←印は移動可能範囲を示しています。  
 ※基礎寸法は、10 ページの「基礎寸法表」を参照してください。

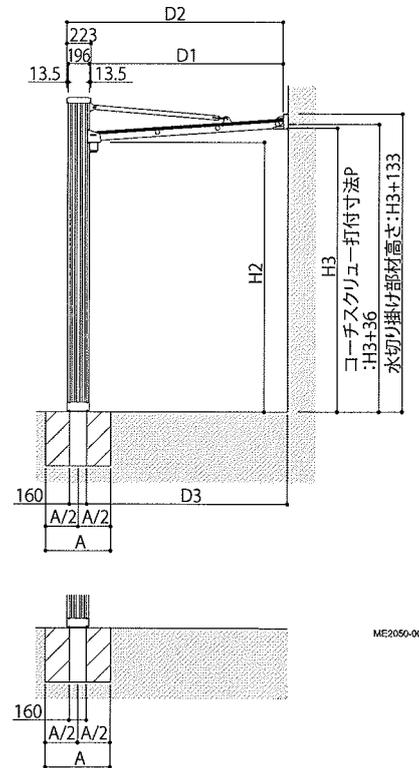
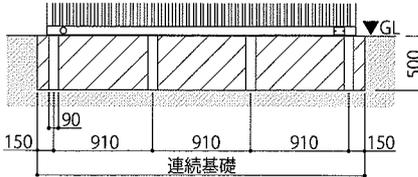
R=屋根材枚数  
 RA=垂木本数



独立基礎時



連続基礎時



### ●基本寸法表

H	H2	H3			
		3 尺	4 尺	5 尺	6 尺
H23	1900	1969	1990	2011	2032
H26	2200	2269	2290	2311	2332
H29	2500	2569	2590	2611	2632
H33	2900	2969	2990	3011	3032

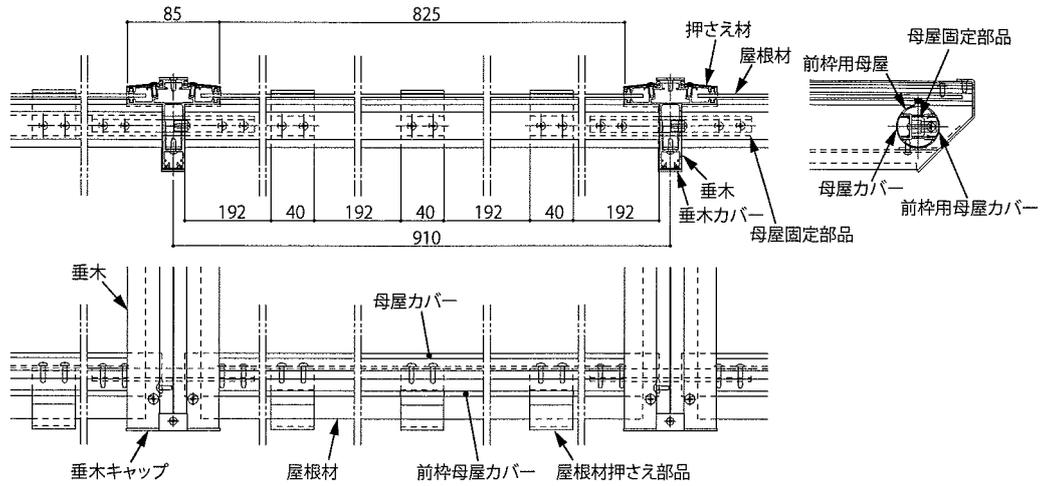
間口	W1	W2	R	RA
1.0 間	1910	2004	2	3
1.5 間	2820	2914	3	4
2.0 間	3730	3824	4	5
2.5 間	4640	4734	5	6
3.0 間	5550	5644	6	7
3.5 間	6460	6554	7	8
4.0 間	7370	7464	8	9

出巾	D1	D2	D3
3 尺	887	1096	950
4 尺	1186	1395	1250
5 尺	1485	1694	1550
6 尺	1785	1994	1850

# 詳細図

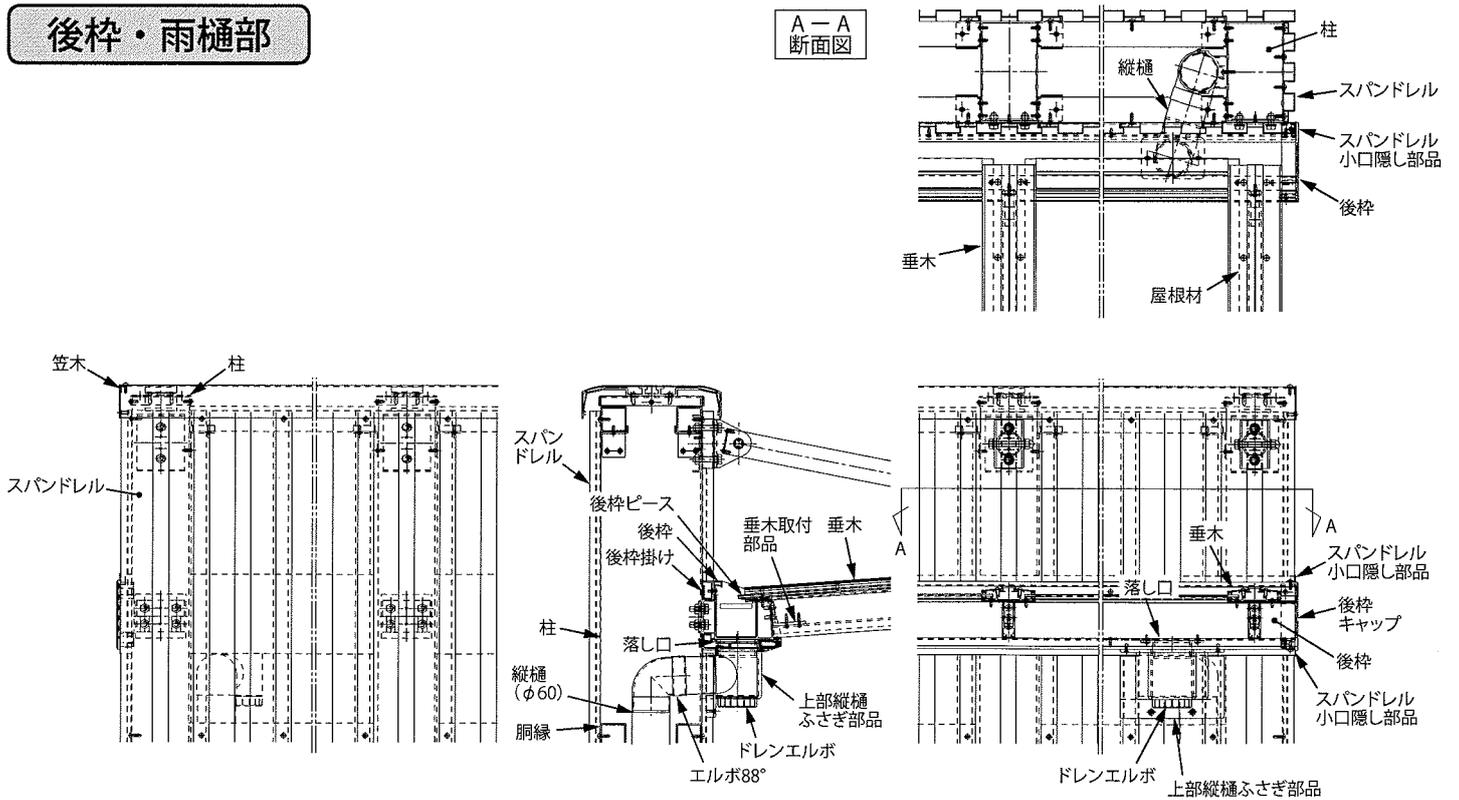
●施工前に必ず確認してください。

## 垂木先端部



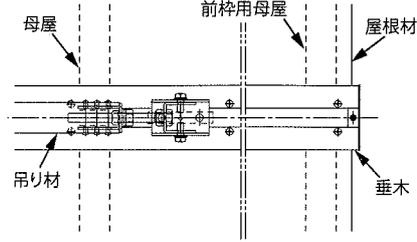
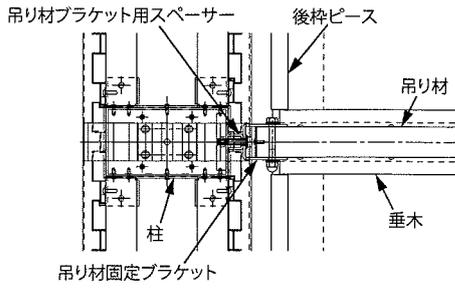
ME2051-008

## 後枠・雨樋部

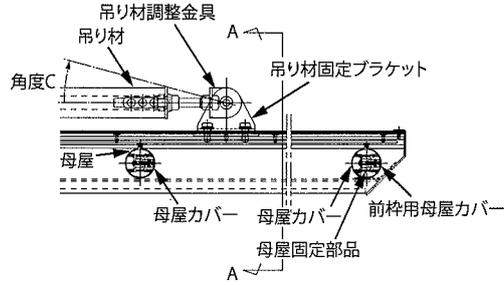
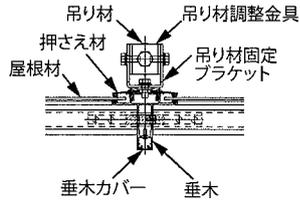


ME2050-004

吊り材部



A-A 断面図



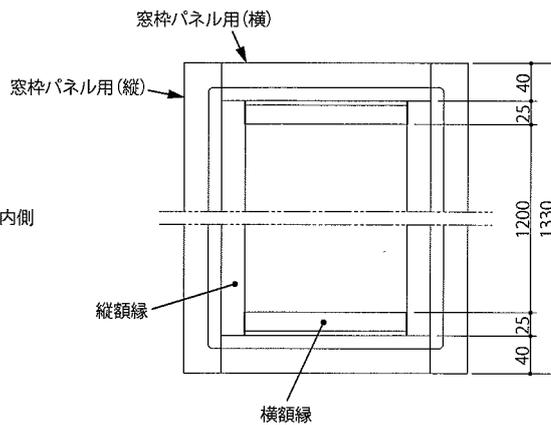
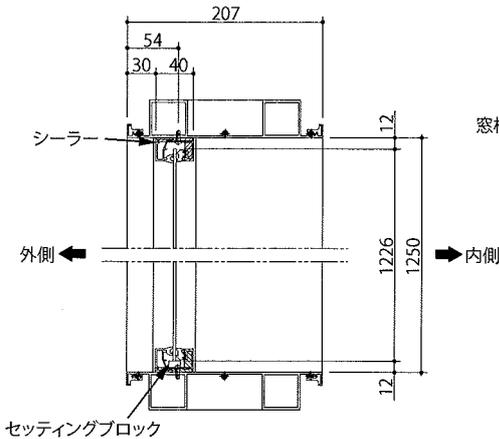
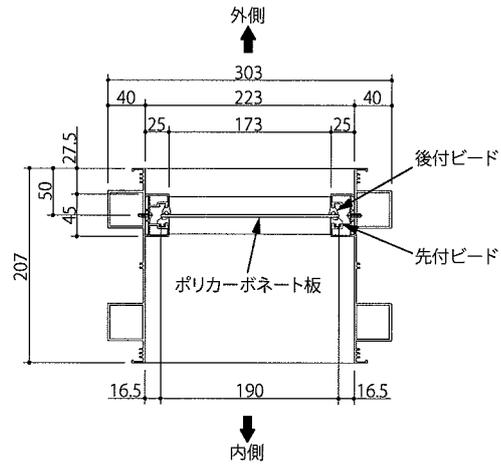
●基本寸法表

出巾	角度C
3尺	18.93°
4尺	15.12°
5尺	11.22°
6尺	8.91°

ME2050-005

窓部

※本図は、窓枠納まりの場合を示しています。  
 ※スリット枠納まりの場合は、窓枠（縦・横）のみになります。



ME2049-007

# 1

## 柱の設置

- 「納まり図」を参照して、柱の位置・基礎寸法を確認してください。
- 地下埋設物（給排水管など）に影響を及ぼさないように柱の位置を決めてください。

### 1-1 施工前の確認

#### 注意

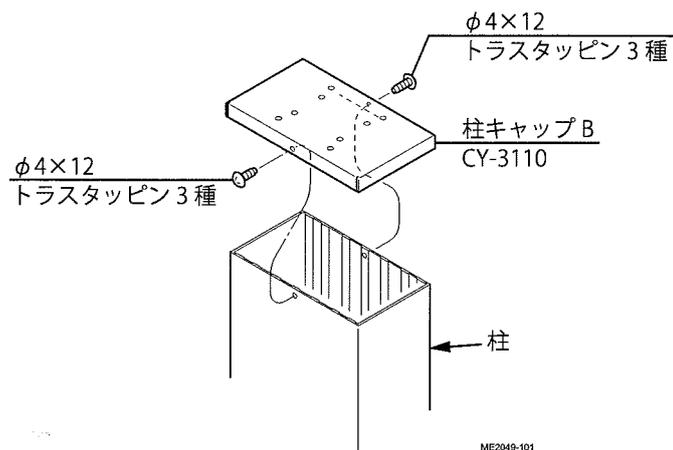
必ず、施工前に地盤の地耐力を確認し、30kN/㎡未満の場合は設置しないでください。



- 設置条件を確認してください。
- 「納まり図」で取付位置と寸法を確認してください。

### 1-2 柱部品の取付け

① 柱キャップを柱に取付けてください。



# 柱の設置

②横材固定部品を柱に取り付けてください。



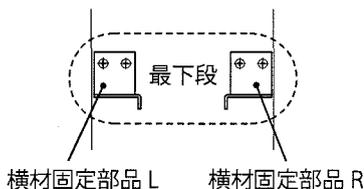
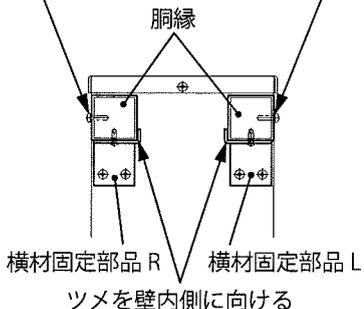
- 横材固定部品にはL・Rの区別があります。
- 向きを確認してください。



取付ビス  
：φ4×12トラスタッピン3種

## ●横材固定部品・胴縁取付詳細図

スパンドレル取付孔を壁表面に向ける



ME2050-119

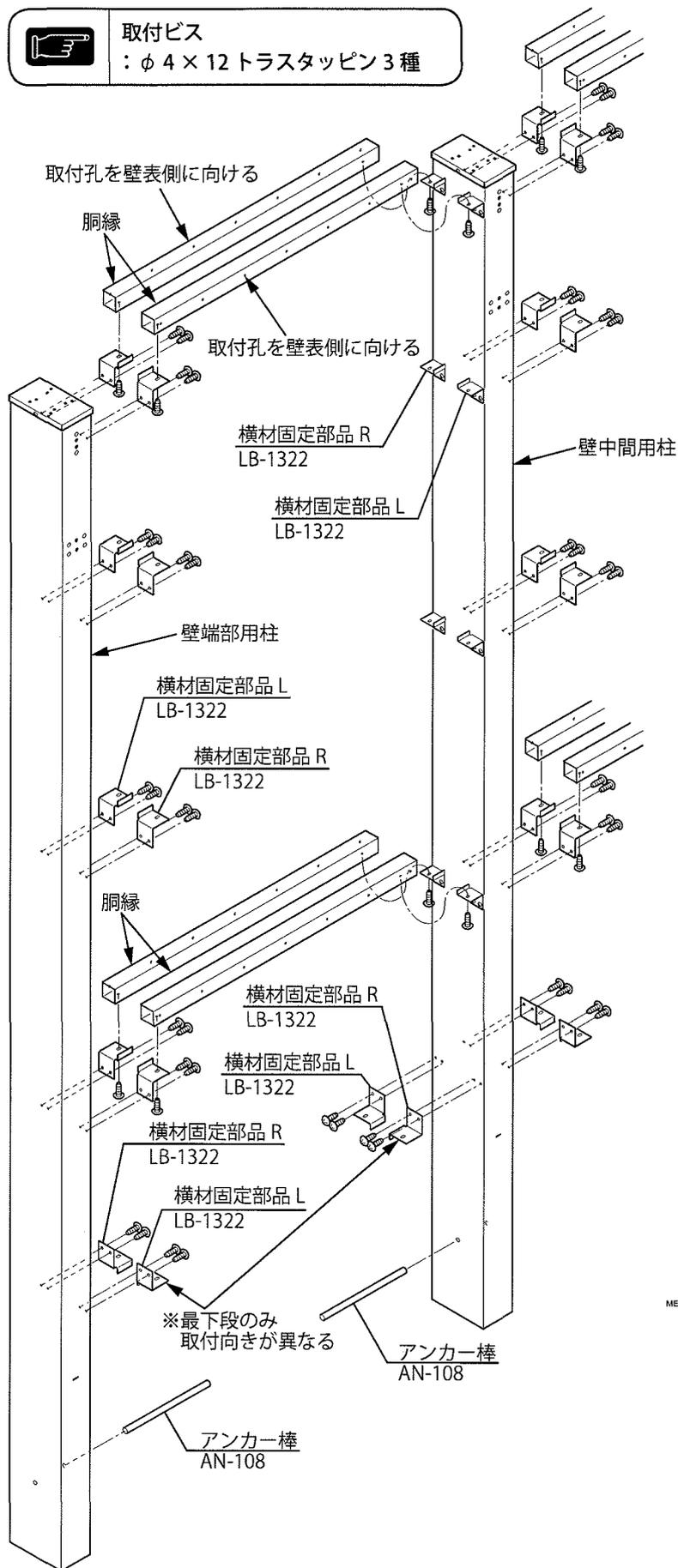
③1番上と下から2番目の胴縁を、柱に仮止めしてください。



スパンドレル取付孔を壁表側に向けてください。



胴縁は巾決め材になります。  
・柱内々：820mm



ME2049-101

④アンカー棒を柱下部に差し込んでください。

### 1-3 柱の埋め込み

①「納まり図」で位置や寸法を確認し、柱を設置してください。



柱の位置とレベルを正確に合わせてください。

※正確に合わせないと、施工不良の原因になります。



地下埋設物（給排水管等）に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。



GL表示を目安にしてください。



壁付け納まりの場合は、躯体との距離を正確に合わせてください。

※正確に合わせないと、ルーフの壁付けができなくなります。



●オプションの防水コンセント・LB型照明を取付ける場合は、付属の取付説明書 [ME-2058] を参照してください。

●柱部を取付ける場合は、柱内にPF管と電源線を立ち上げ、φ20mmの下孔をあけて電源線を引き出してください。

●柱部以外を取付ける場合は、取付位置にPF管と電源線を立ち上げてください。

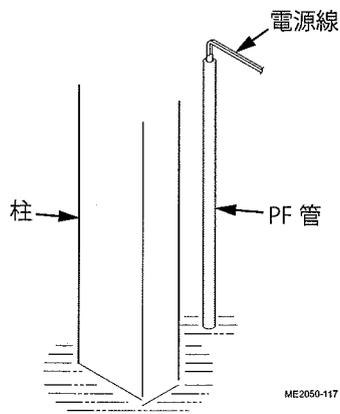


基礎寸法A、Bは納まり図で確認してください。

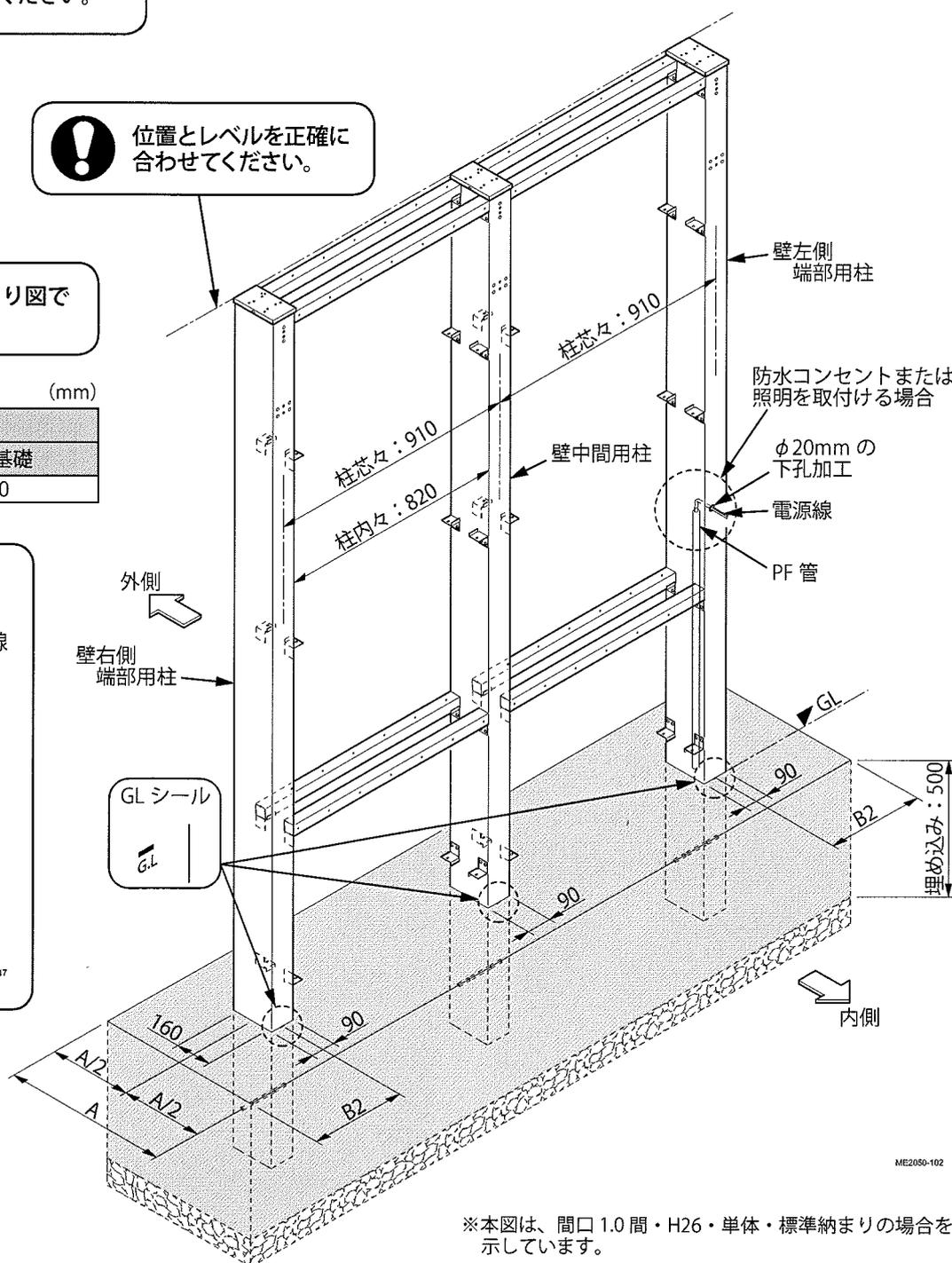
●基礎寸法表 (mm)

B2	
独立基礎	連続基礎
B/2	150

●防水コンセント・照明を柱部以外に取付ける場合



位置とレベルを正確に合わせてください。



※本図は、間口1.0間・H26・単体・標準納まりの場合を示しています。

# 2

## 後枠側の施工

### 2-1 後枠掛けの取付け

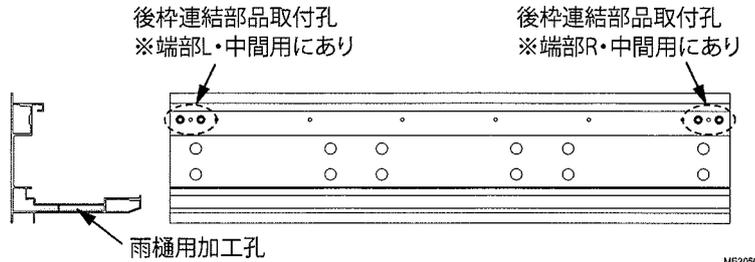


「手順①・②」は、連棟納まりの場合にのみ参照してください。  
※単体納まりの場合には不要です。



連棟納まりの場合、後枠掛けには中間用・端部用 L・端部用 R があります。位置と種類を確認して連結させてください。

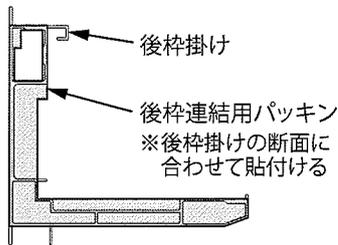
#### ●後枠掛け(中間用・端部L用/R用)



ME2050-105

①後枠連結用パッキンを後枠掛けに貼付けてください。

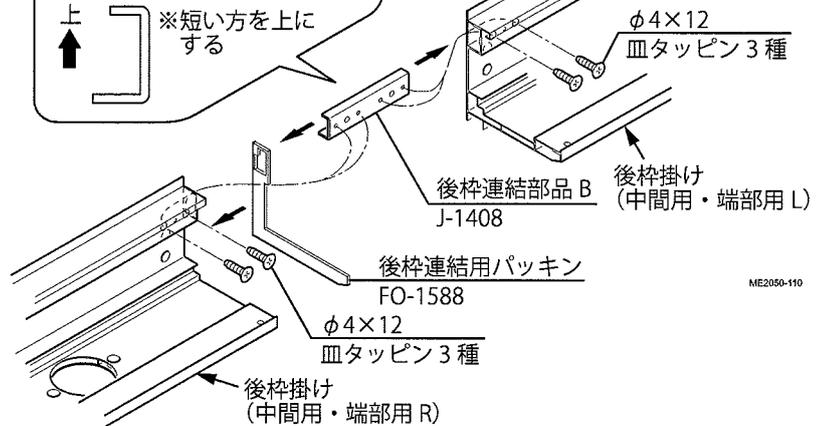
#### ●後枠連結用パッキンの貼付け



ME2050-118

②後枠連結部品 B を後枠掛けに取付けて連結させてください。

#### ●後枠連結部品 B 取付向き



ME2050-110



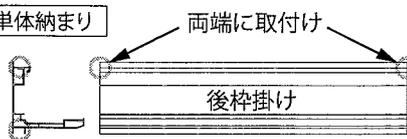
連結部品を後枠掛けに差し込んでください。

③スパンドレル小口隠し部品を、後枠掛け両端の上下に取付けてください。

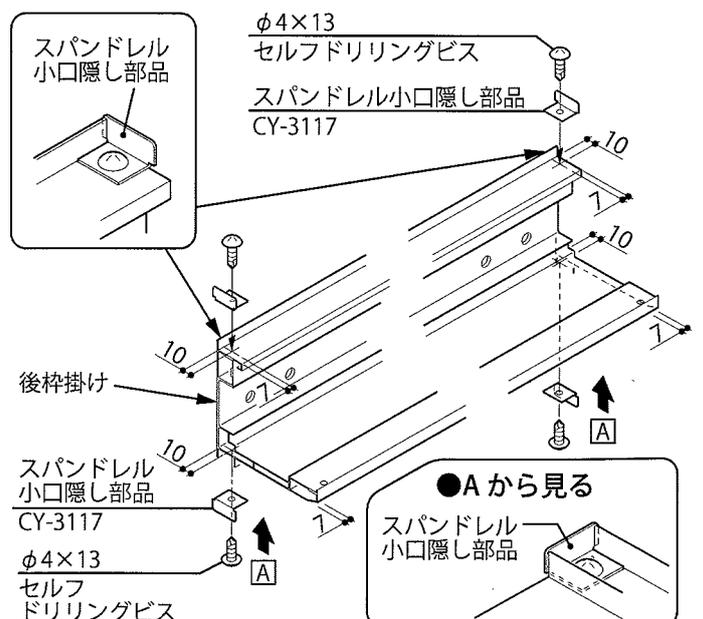
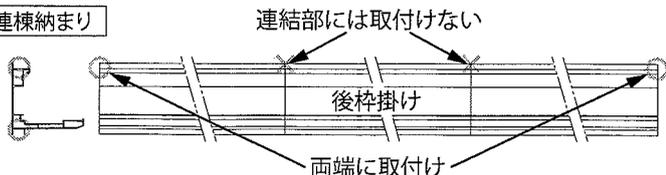
#### ●スパンドレル小口隠し取付位置

ME2050-107

単体納まり



連棟納まり



ME2050-106

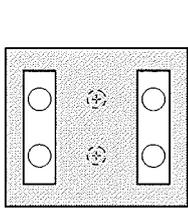
④柱取合パッキンを柱に貼付けてください。



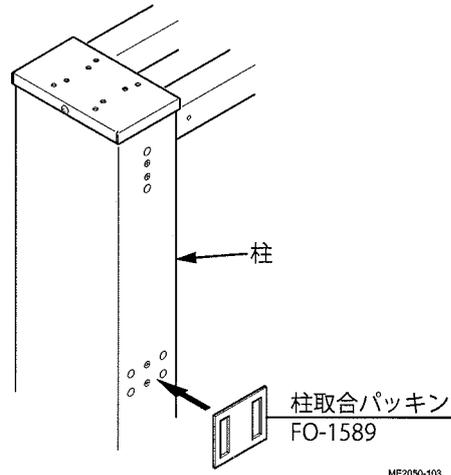
柱の加工孔が全てパッキンの切欠孔から見えるようにしてください。

●柱取合パッキンの取付け

ME2050-113

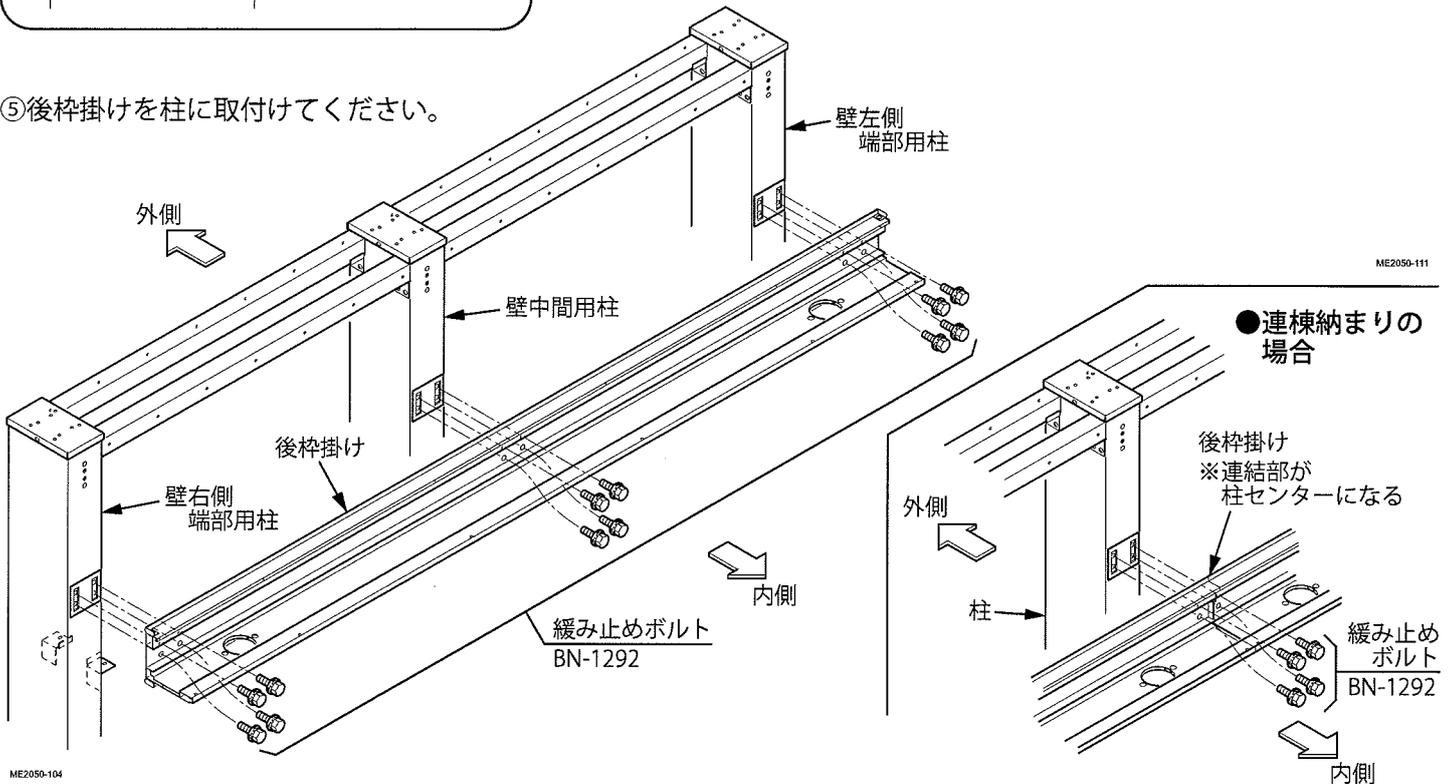


柱取合パッキン  
※柱の加工孔を切欠孔から出す



ME2050-103

⑤後枠掛けを柱に取付けてください。



ME2050-104

ME2050-111

●連棟納まりの場合

後枠掛け  
※連結部が柱センターになる

緩み止めボルト  
BN-1292

内側

2-2

後枠の連結

(※連棟納まりの場合)



連棟納まりの場合、後枠には中間用・端部用L・端部用Rがあります。位置と種類を確認して連結してください。

①後枠を連結させてください。



●連結部品を後枠下部に差し込んでください。

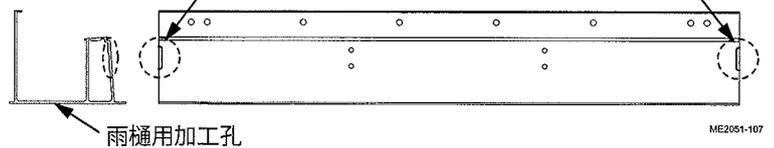
●上面内側2ヶ所および後枠の切欠部に当たる取付孔には、ビスを取付けしないでください。

※後工程で垂木・垂木取付部品を取付けます。

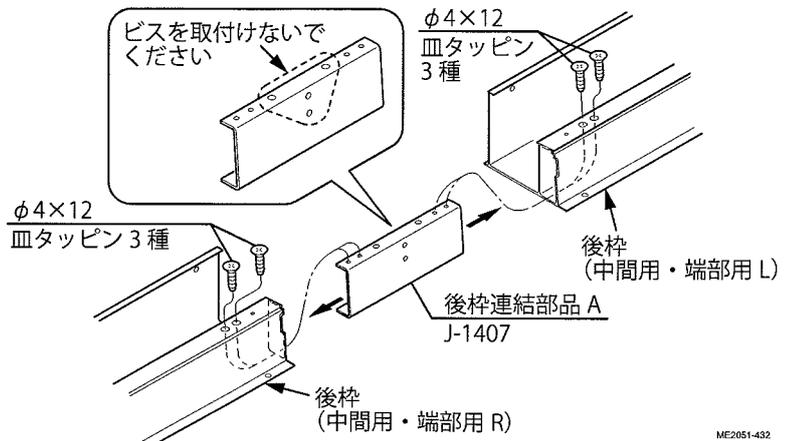
●後枠(中間用・端部L用/R用)

切欠  
(垂木取付部品取付用)  
※端部L・中間用にあり

切欠  
(垂木取付部品取付用)  
※端部R・中間用にあり



ME2051-107



ME2051-432

## 2-3 後枠の取付け

①雨樋の取付位置を決めてください。



- 間口によって取付ける数が異なります。
- 雨樋は、後枠の任意の加工孔に取付けることができます。現場の状況に合わせて取付けてください。

②落し口パッキンを、落し口または孔ふさぎに貼付けてください。

③落し口または孔ふさぎを、後枠掛けの加工孔部に載せてください。



- 雨樋を取付ける箇所 : 落し口
- 雨樋を取付けない箇所 : 孔ふさぎ



落し口と後枠掛けの加工孔の位置を合わせてください。  
※正確に合わせないと、雨漏りなどの原因になります。

④ドレンエルボを、落し口に差し込んで仮止めしてください。



- 落し口に最後まで差し込んでください。
- 固定は後工程で行います。

⑤後枠を後枠掛けに取付けてください。



両端の取付孔はビス止めしないでください。  
※後工程で、後枠キャップを取付けます。



後枠の両端は、後枠掛けから2mmはみ出ます。

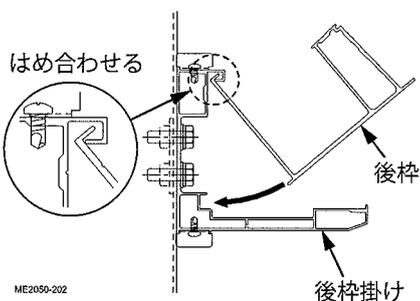
⑥落し口および孔ふさぎを、ビス止めしてください。



取付ビスは、落し口および孔ふさぎ・落し口パッキンの孔を貫通させ、後枠に固定してください。

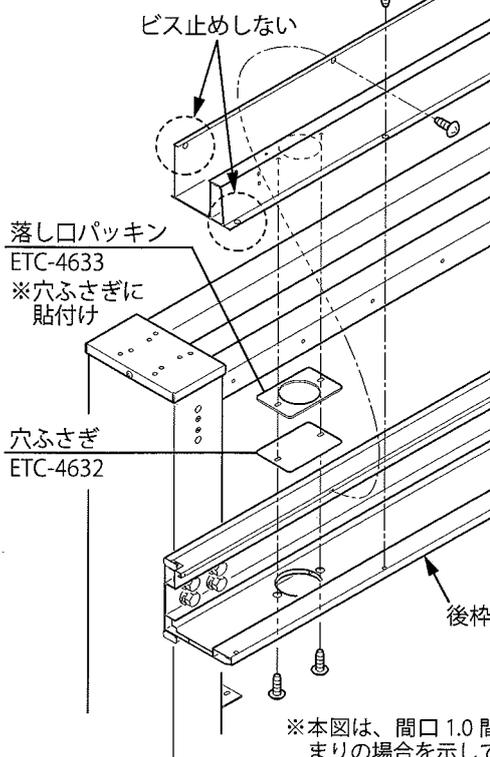
### 雨樋を取付ける側

#### ●後枠部詳細図



取付ビス  
: φ4×12 トラスタップイン 3種

### 雨樋を取付けない側



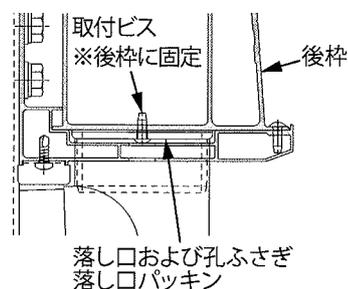
#### ●雨樋取付個数

間口	個数
1.0・1.5間	1
2.0～3.0間	2
3.5・4.0間	3

※本図は、間口1.0間・単体納まりの場合を示しています。

※各後枠・後枠掛けに1つずつ取付けてください。

#### ●雨樋部詳細図



# 3

## 水切り掛け・水切りの取付け

(※壁付け納まりの場合)

●壁付け納まりの場合に参照してください。

- ①「納まり図」を参照して、取付位置を決めてください。
- ②φ 6.5mm・深さ 55mm の下孔を躯体にあけてください。



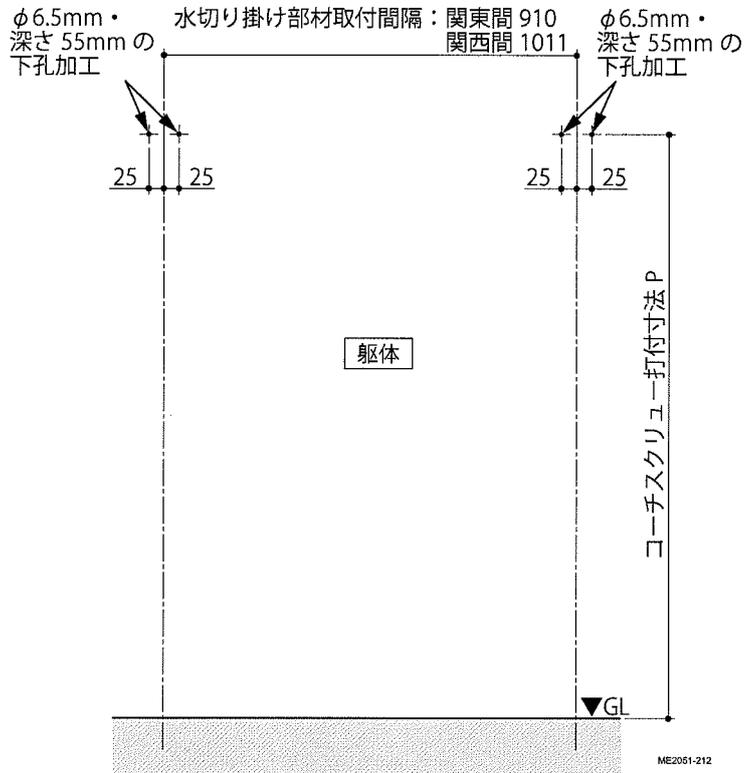
- 下孔加工は柱部または梁部に行ってください。壁面に行う場合は、壁の厚さが十分あることを確認してください。
- 下孔は指定以下の寸法にしてください。
- 下孔には別途手配にてコーキング処理をしてください。

### ●寸法一覧表

(mm)

出巾	コーチスクリュー打付寸法 P			
	H23	H26	H29	H33
3 尺	2005	2305	2605	3005
4 尺	2026	2326	2626	3026
5 尺	2047	2347	2647	3047
6 尺	2068	2368	2668	3068

### ●下孔加工寸法

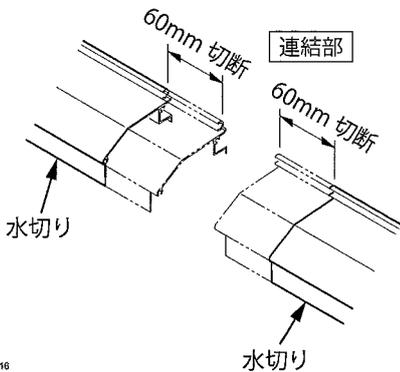


- ③連棟納まりの場合は、水切りの連結部をそれぞれ切断してください。



切断寸法：60mm

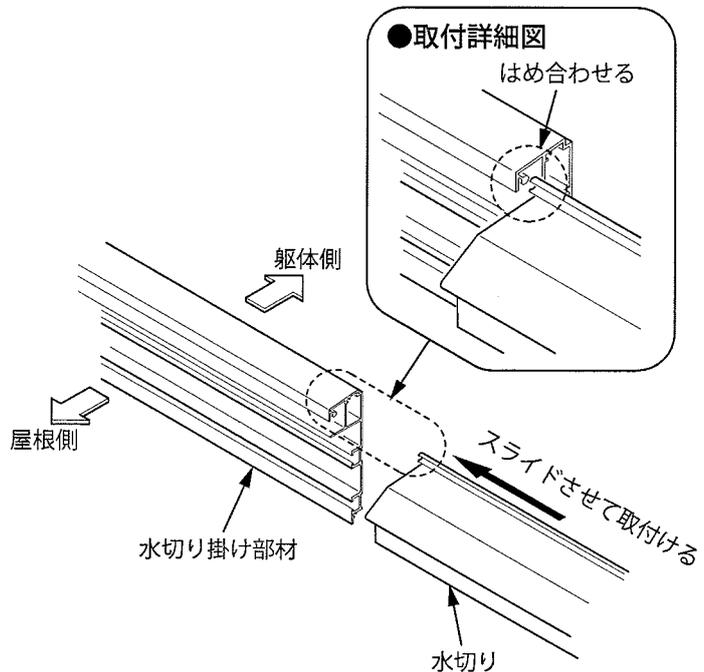
### ●水切りの切断（連棟納まりの場合）



- ④水切りを水切り掛け部材に取付けてください。



水切りは屋根の施工後にビスで固定します。



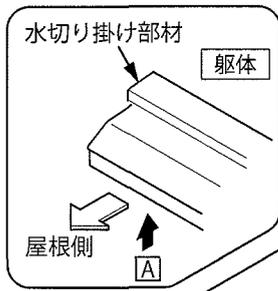
# 水切り掛け・水切りの取付け

⑤水切り掛け部材を躯体に取付けてください。

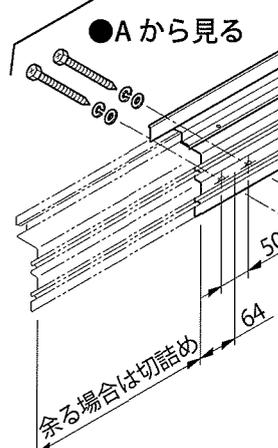
水切り掛け部材が余る場合は、現場合わせて切詰めてください。

連棟納まりの場合は、連結部を突き合わせて取付けてください。

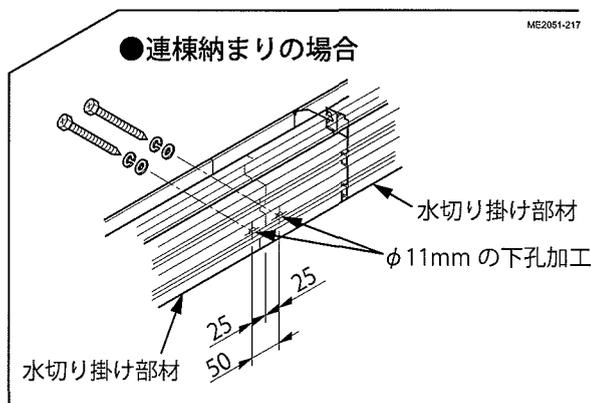
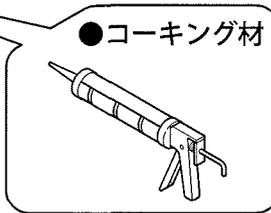
下孔には別途手配にてコーキング処理をしてください。



M8×75  
コーチスクリュー  
M8用パネ座金  
M8用平座金



●Aから見る  
関東間：910  
関西間：1011

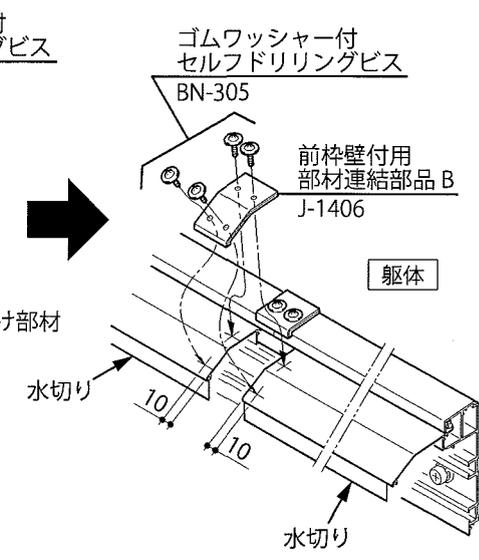
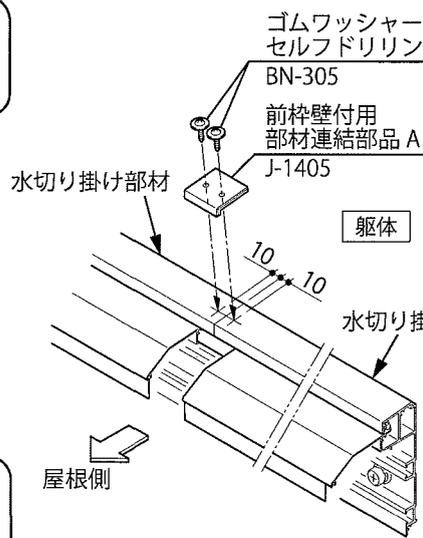
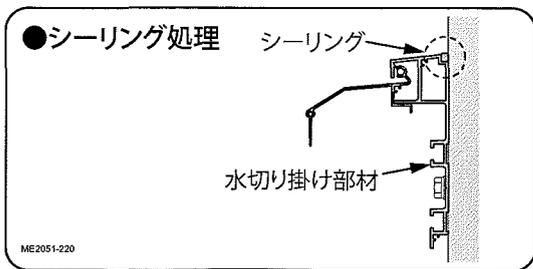


次の「手順⑥・⑦」は、連棟納まりの場合のみ参照してください。  
※単体納まりの場合は不要です。

⑥前枠壁付用部材連結部品 A を水切り掛け部材に取付けて連結してください。

⑦前枠壁付用部材連結部品 B を水切りに取付けて連結してください。

⑧水切り掛け部材と躯体の隙間にシーリング処理を行ってください。



# 4

## 胴縁の取付け

①巾決め材として取付けた胴縁の取付ビスを本締めしてください。

②残りの胴縁を柱に取付けてください。



スパンドレル取付孔を壁表側に向けてください。



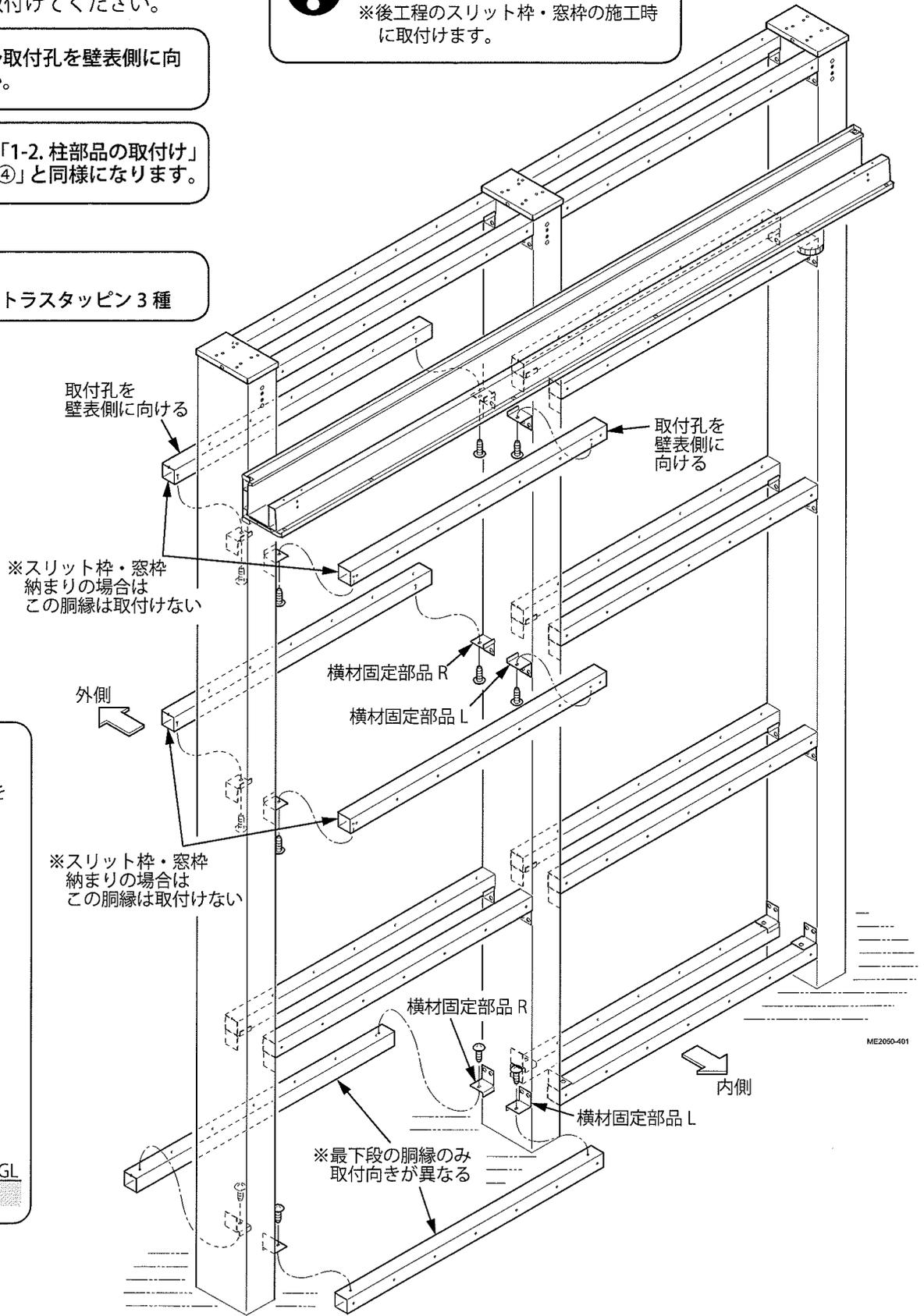
施工手順は、「1-2. 柱部品の取付け」の「手順②～④」と同様になります。



取付ビス  
：φ4×12 トラスタッピン 3種

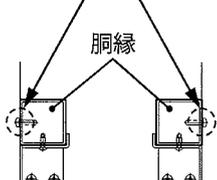


スリット枠・窓納まりの場合は、  
上から2番目・3番目の胴縁を  
取付けないでください。  
※後工程のスリット枠・窓枠の施工時  
に取付けます。



### ● 胴縁取付詳細図

スパンドレル取付孔を  
壁表面に向ける



胴縁

最下段の胴縁



ME2049-202

ME2050-401

※本図は、間口 1.0 間・H26・単体・標準納まりの場合を示しています。

# 5

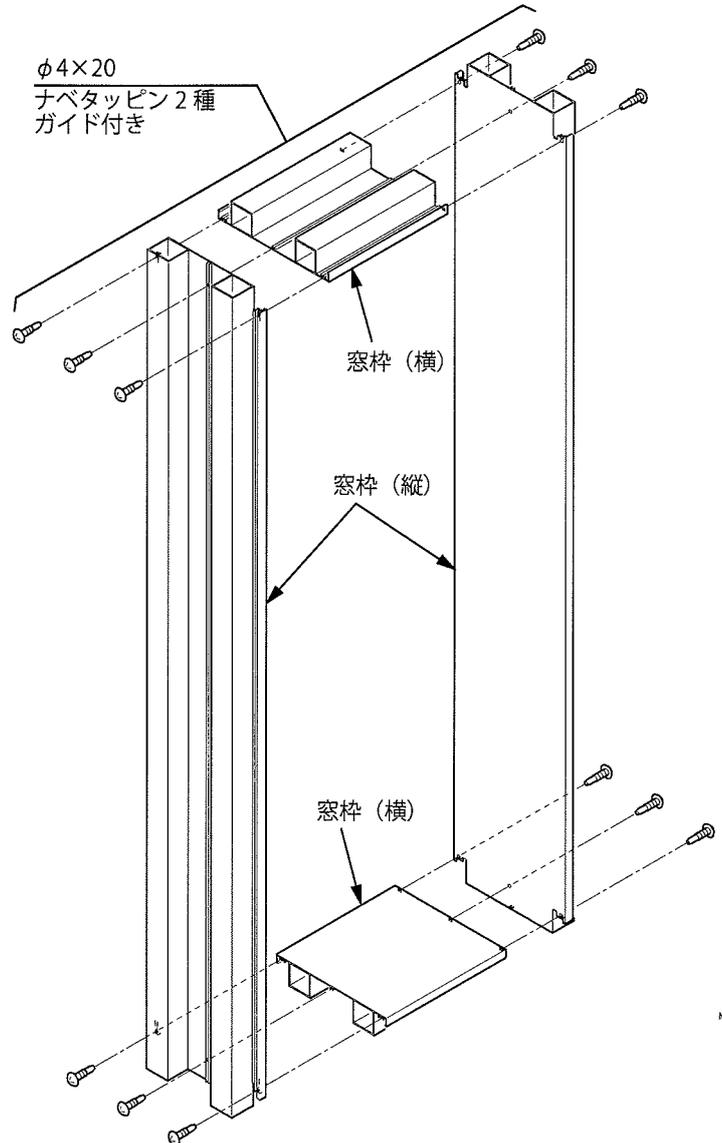
## スリット枠・窓枠の取付け

●スリット枠納まり・窓枠納まりの場合に参照してください。

### 5-1 スリット枠・窓枠の組立て

#### 5-1-1 スリット枠納まりの場合

①窓枠を組立ててください。



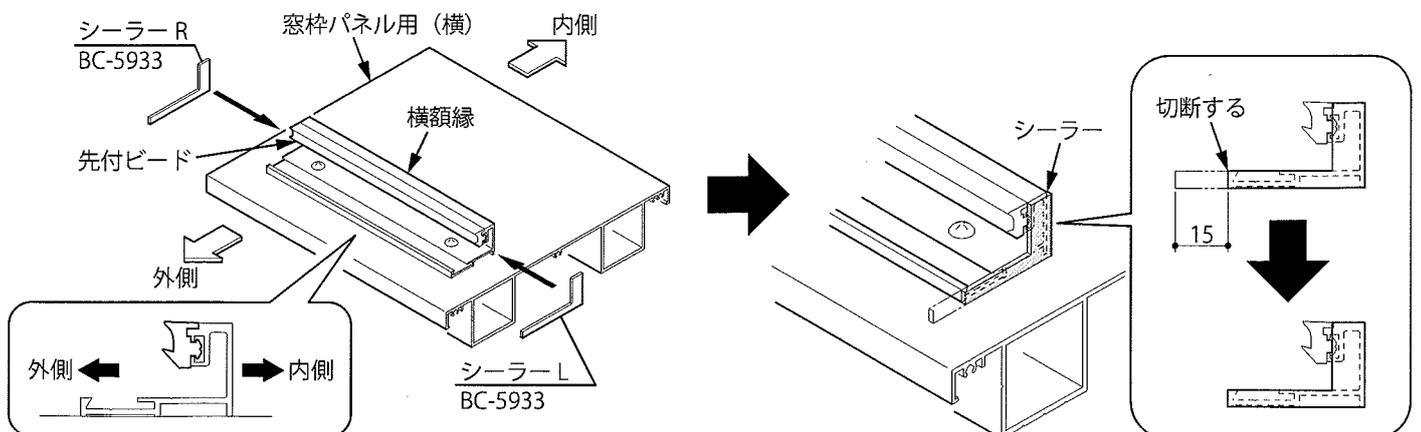
ME2049-301

#### 5-1-2 窓枠納まりの場合

①シーラーを横額縁の両端に貼付けてください。



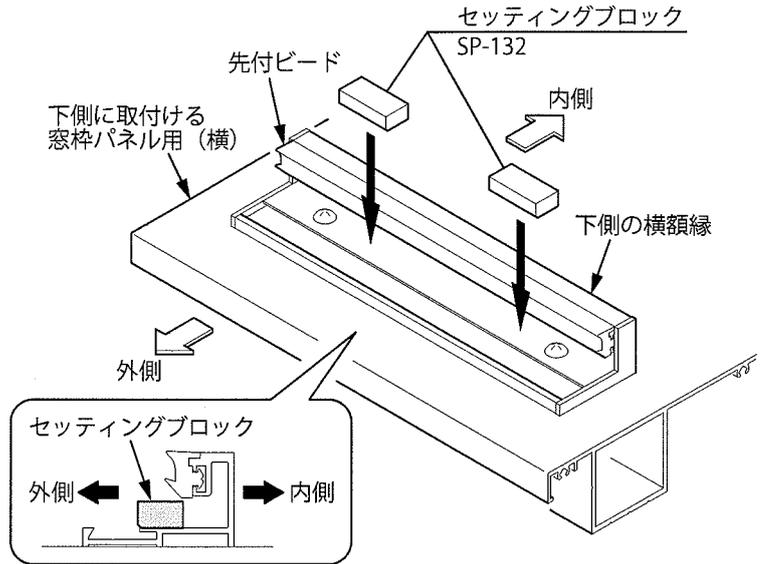
貼付け後、余った部分は切断してください。



ME2049-302

ME2049-303

②セッティングブロックを、下側に取付ける横額縁の内溝に取付けてください。



ME2049-304

③ポリカーボネート板のマスキングシートをはがしてください。

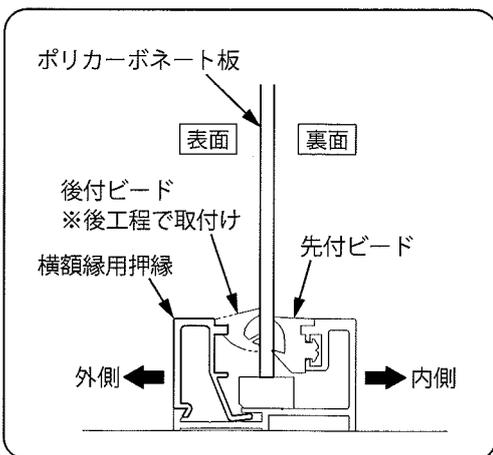
- 両面ともはがしてください。
- ポリカーボネート板には表裏の区別があります。
- マスキングシートの「こちらの面を太陽光に向けてください」という表示がある面が表面になります。はがす前に確認してください。

④ポリカーボネート板をはさみ、窓枠を組立ててください。

- 先付ビード取付側を内側に向けてください。
- セッティングブロックを取付けた窓枠パネル用 (横) は下側にしてください。

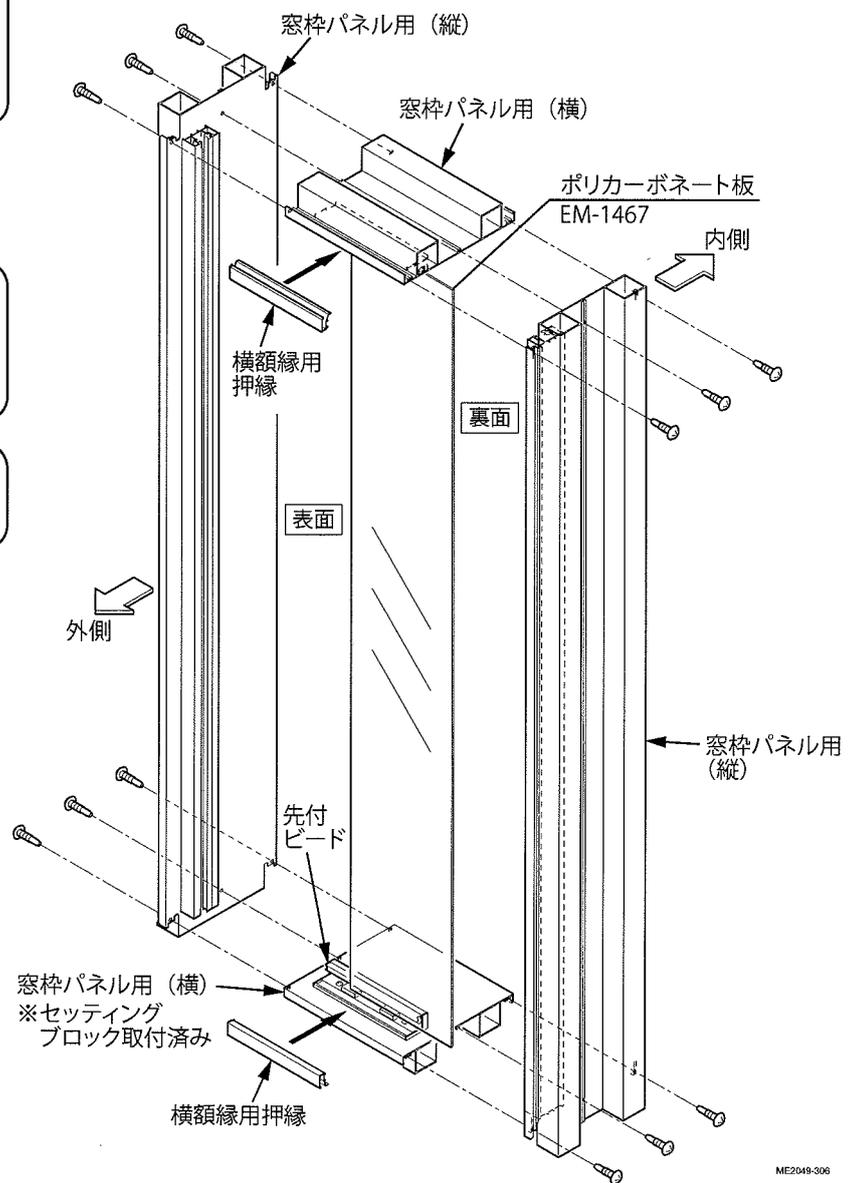
●ポリカーボネート板の表面を外側に向けてください。

⑤横額縁用押縁を窓枠パネル用 (横) に取付けてください。



ME2049-307

**取付ビス**  
：φ 4 × 20 ナベタッピン 2 種ガイド付き



ME2049-306

## スリット枠・窓枠の取付け

⑥後付ビードをポリカーボネート板表面から額縁にはめ込み、ポリカーボネート板を固定してください。

●ポリカーボネート板を傷つけないように注意してください。



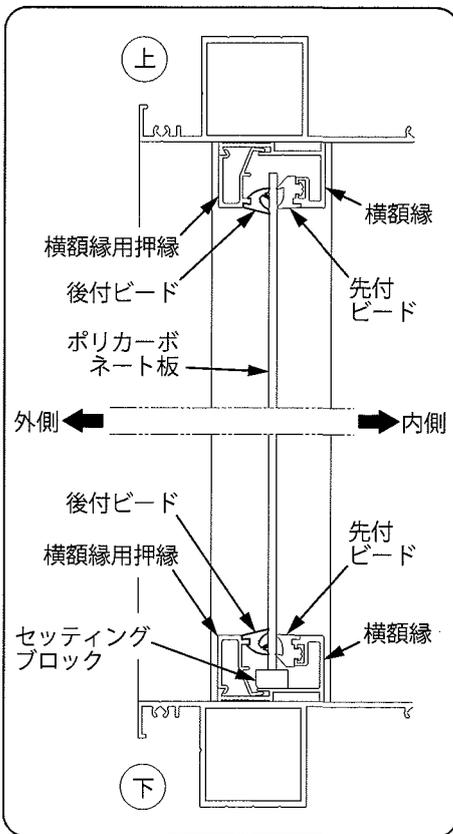
●ポリカーボネート板を四隅で均等に振り分け、たわみがないようにしてください。

※強く引っ張りながら押し込むと、施工後に延びた分が縮み、角部や合わせ目に隙間のできる原因となります。

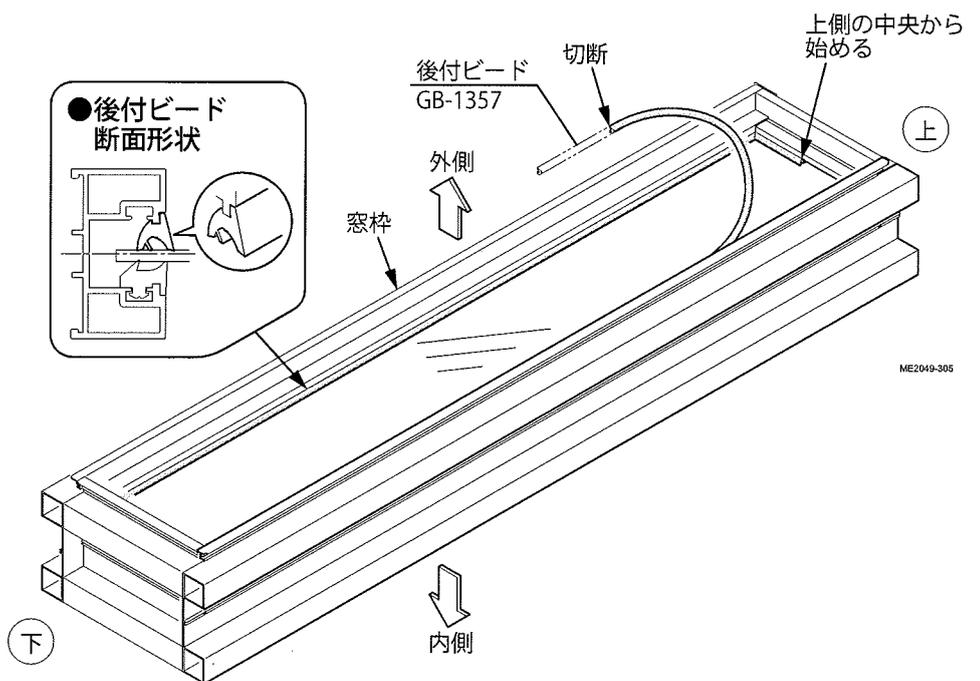


●後付ビードはパネル1枚分の長さになっています。

●パネル上部中央からヘラなどで押し込んでいき、余った部分は切断してください。



ME2049-308



ME2049-305

## 5-2 スリット枠・窓枠の取付け

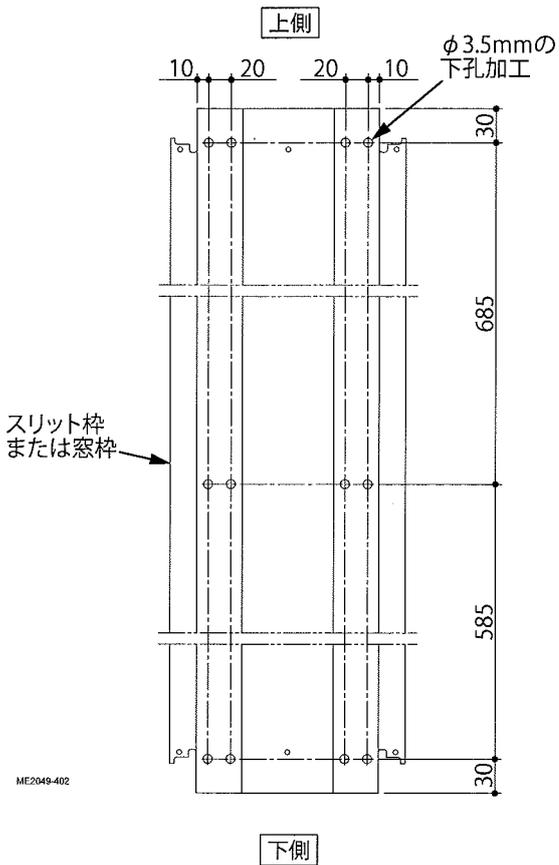
①スリット枠または窓枠の側面に、 $\phi 3.5\text{mm}$  の下孔を12ヶ所ずつあけてください。

②横材固定部品をスリット枠または窓枠に取付けてください。



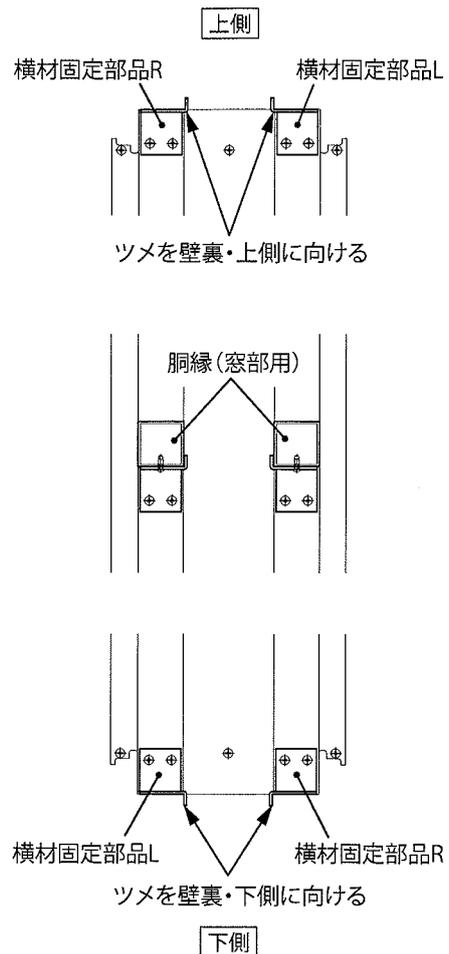
横材固定部品には、下孔加工用のガイドラインがあります。

### ●下孔加工寸法



ME2049-402

### ●横材固定部品取付詳細図



# スリット枠・窓枠の取付け

③スリット枠または窓枠を胴縁に取付けてください。

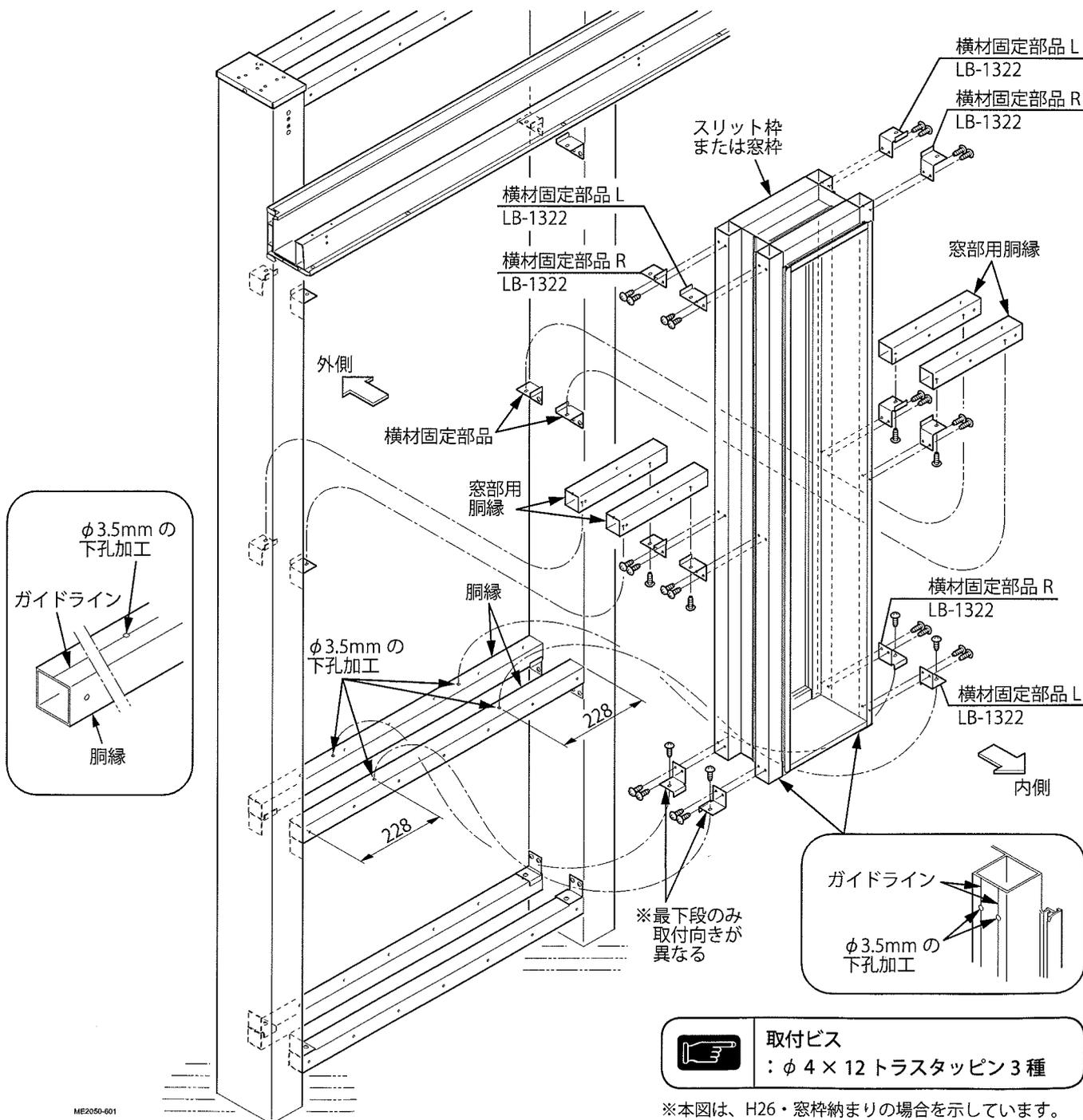
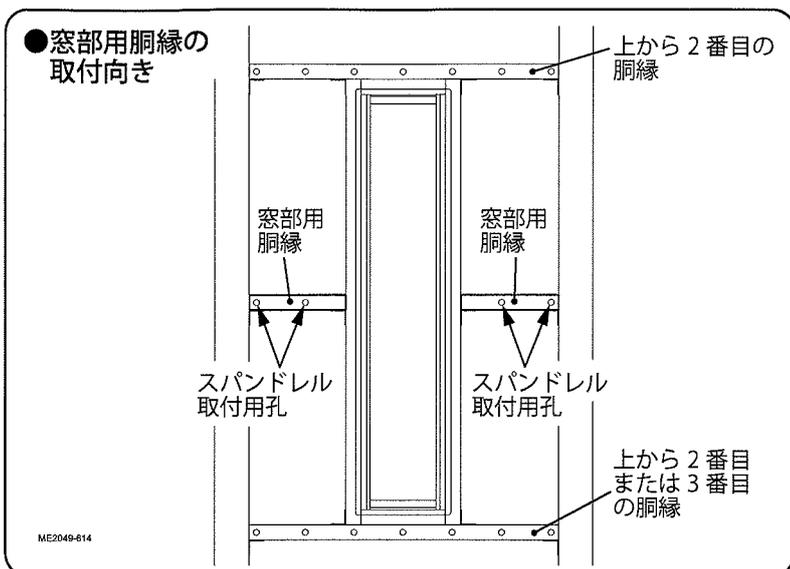
高さによって、スリット枠または窓枠を取付ける胴縁が異なります。

- ・H23・26 : 下から2番目の胴縁
- ・H29・33 : 下から3番目の胴縁

- 胴縁には下孔加工用のガイドラインがあります。
- 現場合わせにて下孔をあけてください。

④窓部用胴縁を柱、スリット枠または窓枠に取付けてください。

**!** 右図を参照して、スパンドレル取付用孔の位置を確認して取付けてください。



取付ビス  
: φ4×12 トラスタッピン 3種

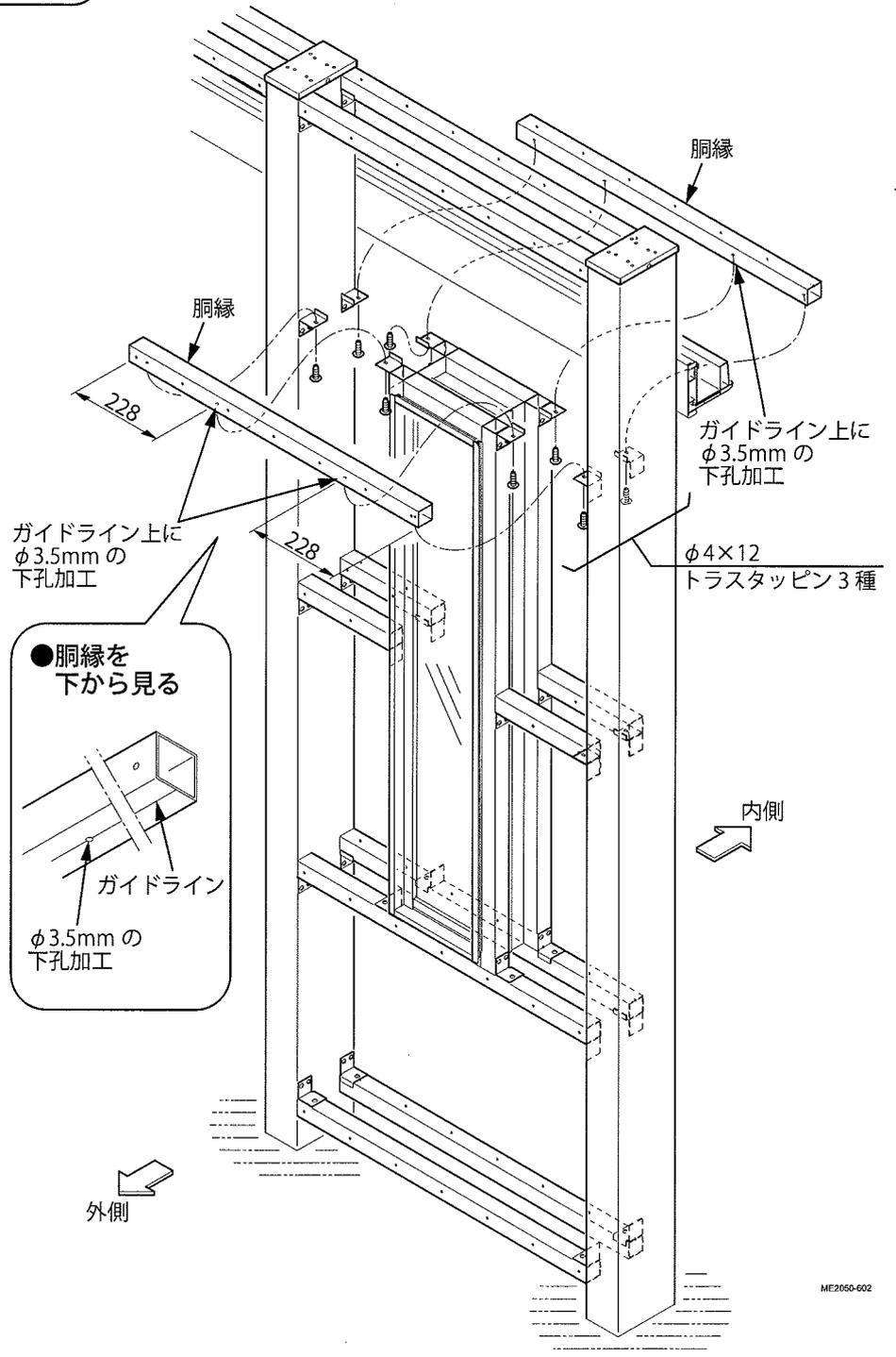
※本図は、H26・窓枠納まりの場合を示しています。

ME2050-601

⑤上から2番目の胴縁を柱、スリット枠または窓枠に取付けてください。



- 胴縁には下孔加工用のガイドラインがあります。
- 現場合わせにて下孔をあけてください。



※本図は、H26・窓枠納まりの場合を示しています。

# 6

## 巾木の取付け

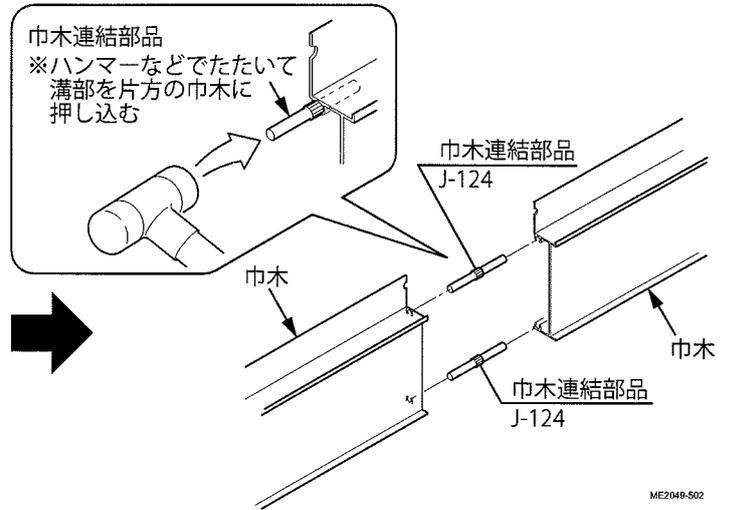
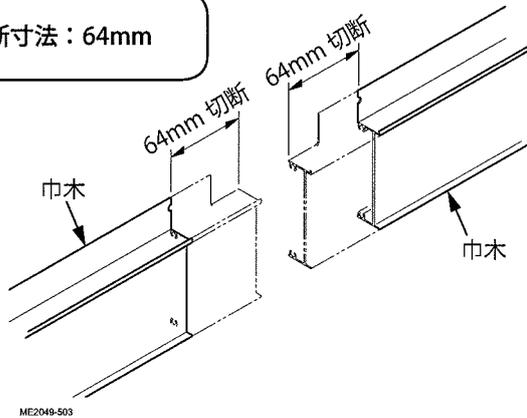


連棟する場合に参照してください。

- ①巾木の連結部をそれぞれ切断してください。
- ②巾木連結部品で、巾木を連結させてください。



切断寸法：64mm



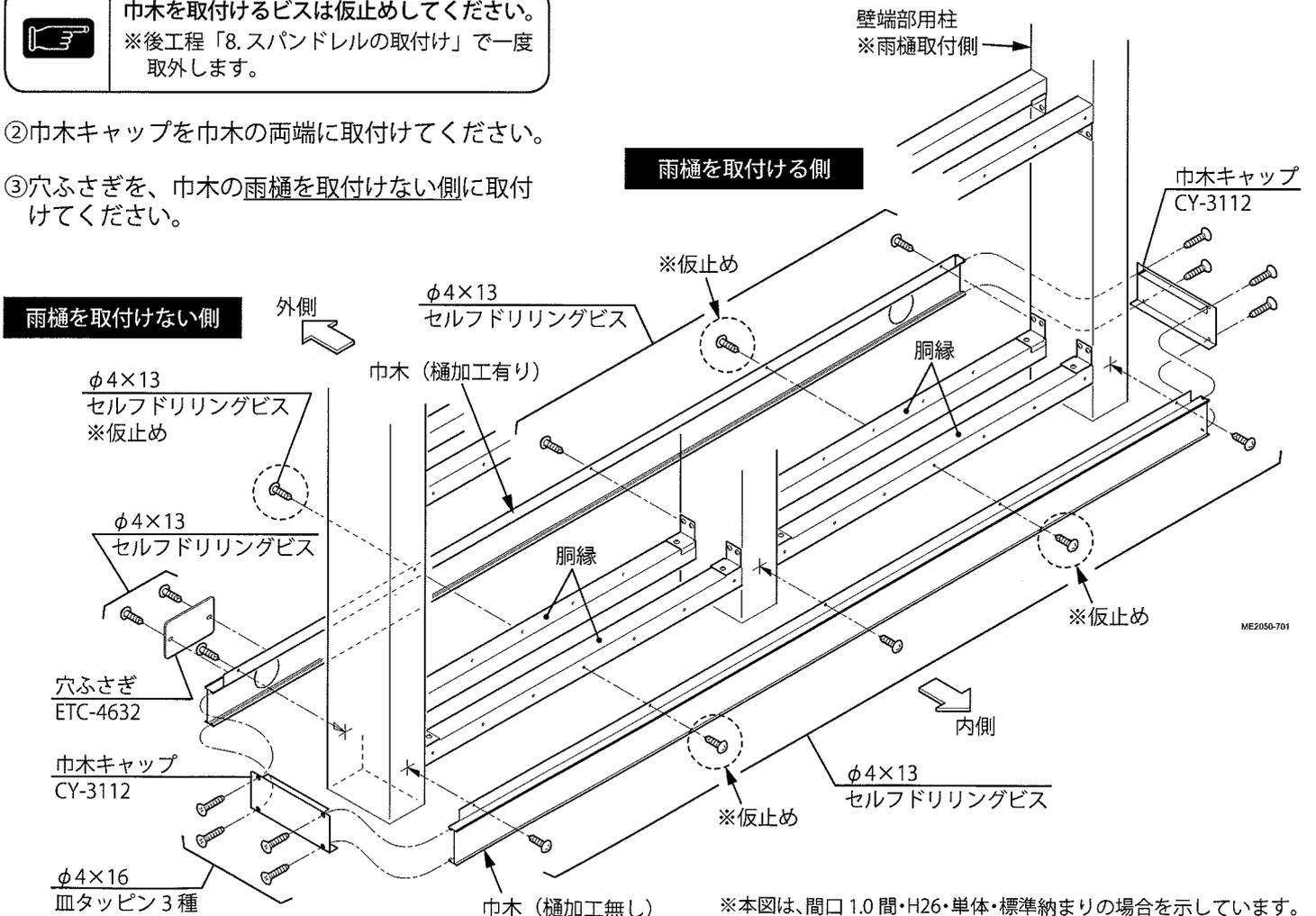
- ③巾木を柱下部に取付けてください。



巾木を取付けるビスは仮止めしてください。  
※後工程「8. スパンドレルの取付け」で一度取外します。

- ②巾木キャップを巾木の両端に取付けてください。
- ③穴ふさぎを、巾木の雨樋を取付けない側に取付けてください。

雨樋を取付けない側



※本図は、間口 1.0 間・H26・単体・標準納まりの場合を示しています。

# 7

## 雨樋の取付け

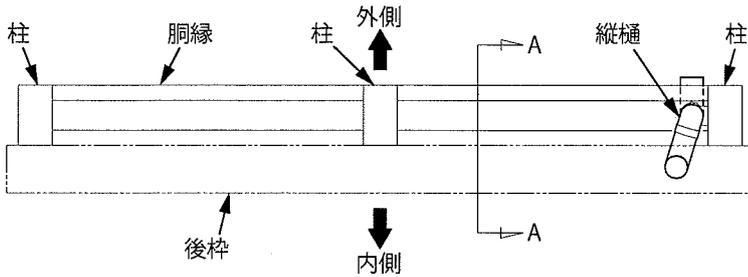
### 7-1 縦樋の取付け

①縦樋を現場合わせて切断してください。

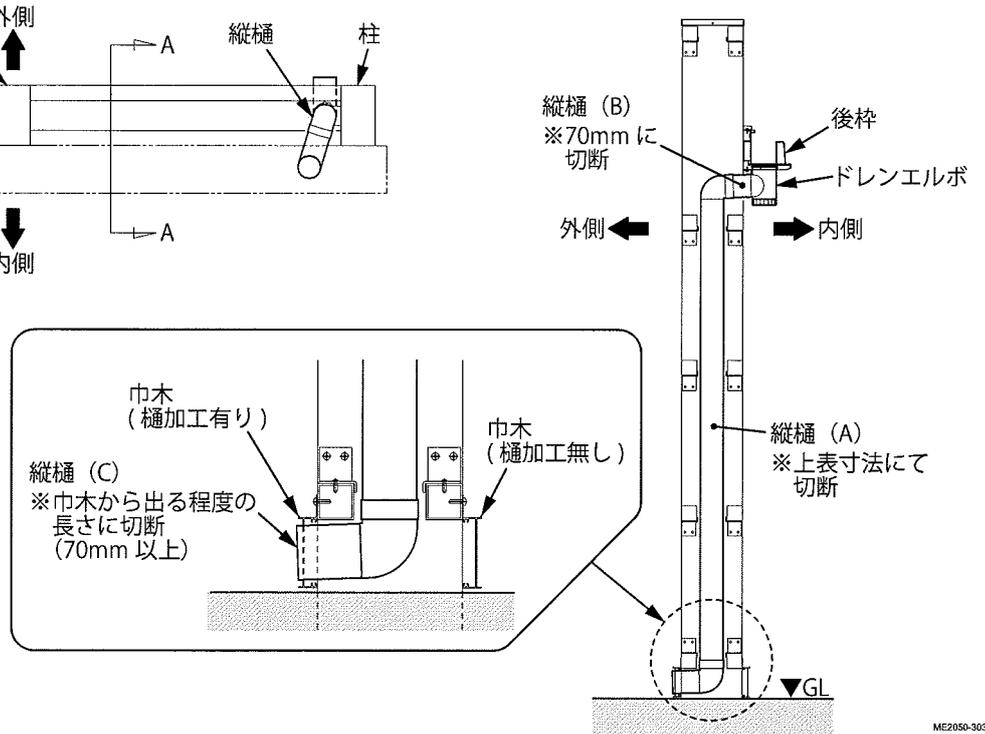
#### ●縦樋切断寸法 (mm)

H	縦樋 (A)
H23	1725
H26	2025
H29	2325
H33	2725

#### ●縦樋取付位置



#### ●A-A断面図



ME2050-303

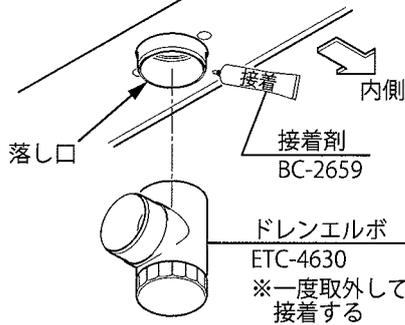
## 雨樋の取付け

②図を参照して、その他の部品を仮組みし、接着剤で固定してください。



はみ出した接着剤はきれいに取り除いてください。

### ●Aから見る

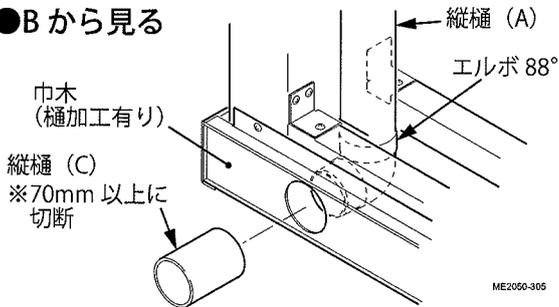


ME2050-304



- 縦樋は胴縁の間に通してください。
- 縦樋 (C) は巾木の樋加工穴に通してください。

### ●Bから見る



ME2050-305

③縦樋を丸樋回転サドルで柱に固定してください。



柱のガイドラインに合わせてください。



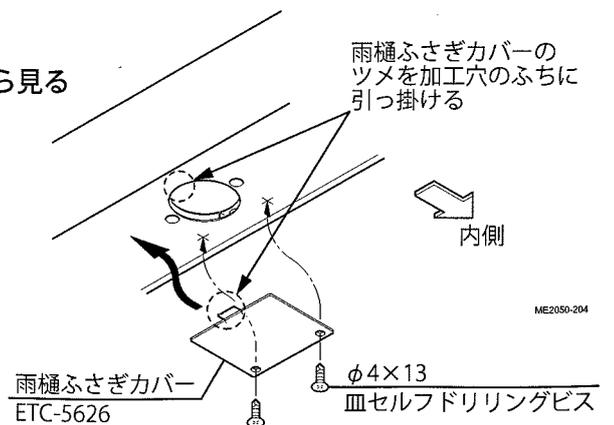
右図を参照して、雨樋1本につき、2ヶ所止めで固定してください。  
※丸樋回転サドルは1個余ります。

## 7-2

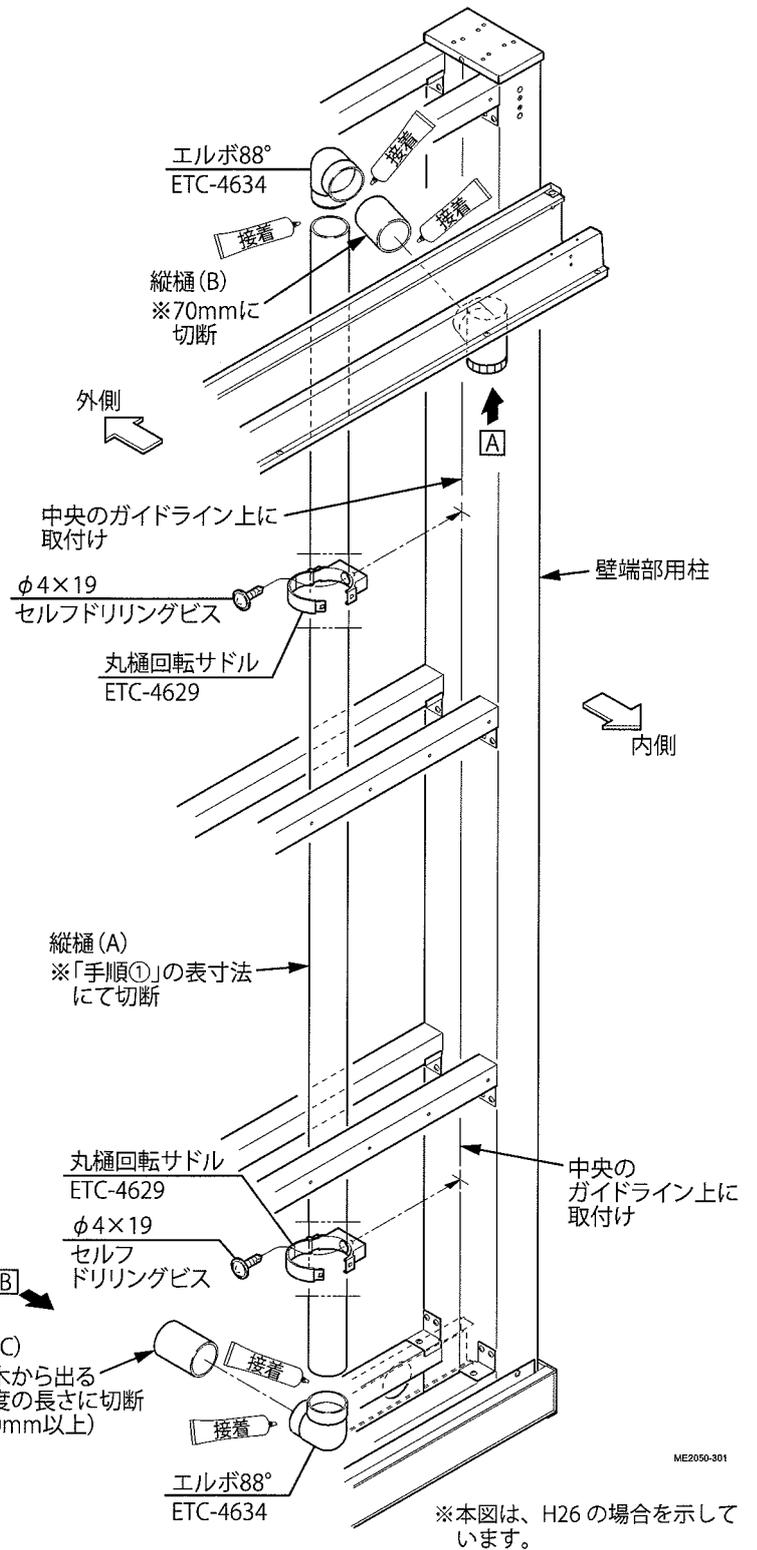
### 雨樋ふさぎカバーの取付け

①後枠の残りの加工孔に、雨樋ふさぎカバーを取付けてください。

### ●上図Aから見る



ME2050-204



ME2050-301

※本図は、H26の場合を示しています。

# 8

## スパンドレルの取付け



- スパンドレルの取付けは、間口方向→側面の順に行ってください。
  - 間口方向の取付けは向かって左端から取付けてください。
- ※外側・内側それぞれ左端から取付けてください。



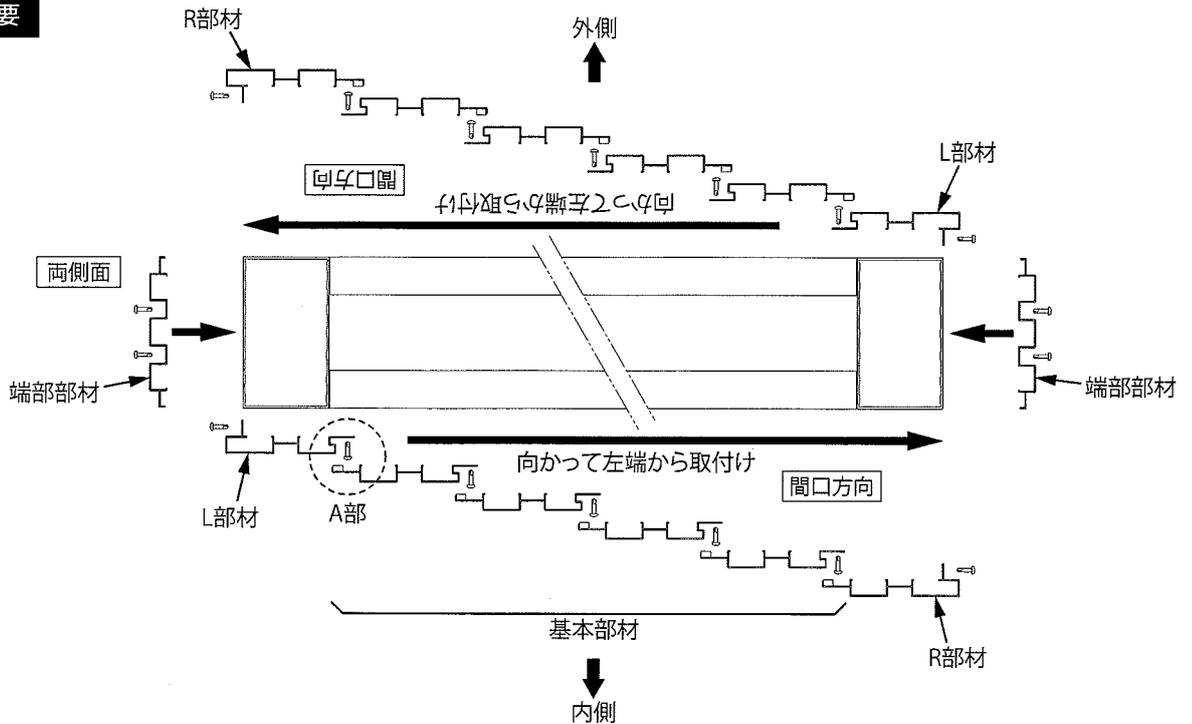
オプションの防水コンセント・LB型照明を取付ける場合は、付属の取付説明書 [ME-2058] を参照の上、同時に作業を行ってください。



スパンドレルには下記の種類があります。種類と取付位置をあらかじめ確認してください。

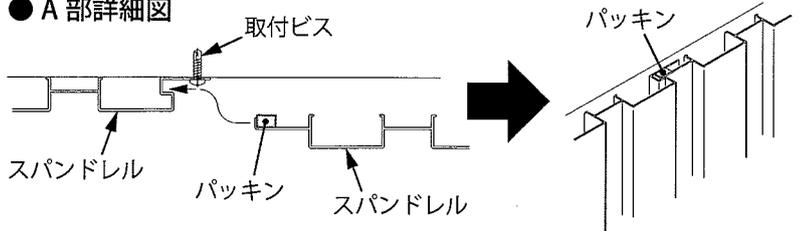
部材		種類			取付位置	部材	種類	取付位置
基本部材 	標準納まり	標準			間口方向・外側	L部材 	標準	間口方向・外側
		屋根上	屋根上・吊	屋根下	間口方向・内側		屋根上	間口方向・内側
	スリット枠・窓枠納まり	標準	窓上	窓下	間口方向・外側	R部材 	標準	間口方向・外側
		屋根上	屋根上・吊	屋根下	間口方向・内側		屋根上	間口方向・内側
端部部材 		標準			側面			

### スパンドレルの取付概要



先に取付けたスパンドレルの取付ビスが、パッキンの内側に入るように取付けてください。

### ● A部詳細図



8-1

標準納まりの場合

※本図は、間口 1.0 間・H26・単体・標準納まりの場合を示しています。

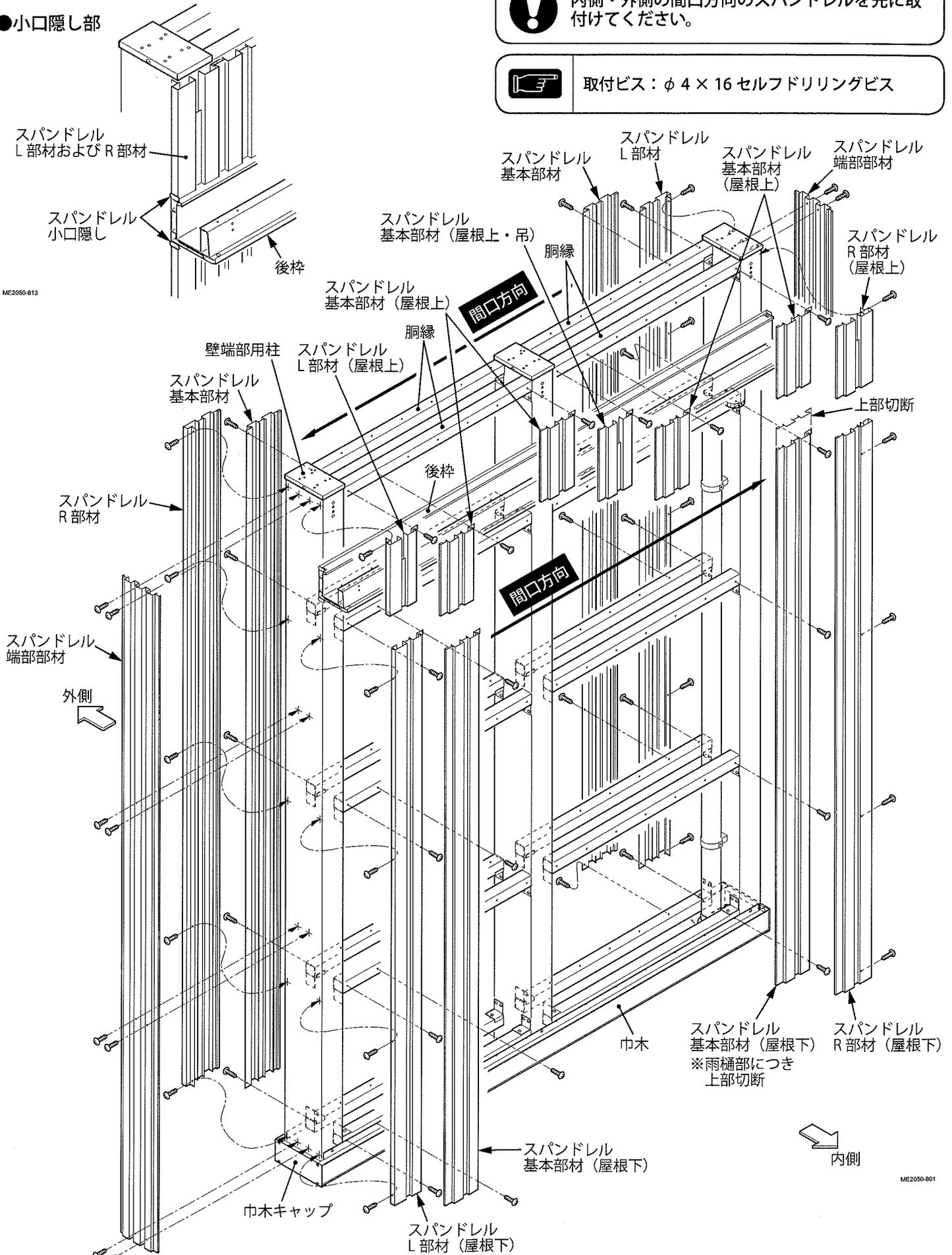
●小口隠し部



内側・外側の間口方向のスパンドレルを先に取付けてください。



取付ビス：φ4×16セルフドリリングビス



ME2050-813

ME2050-801

 前ページの図を合わせて参照してください。

 取付けに必要な下孔加工は、現場合わせにて行ってください。

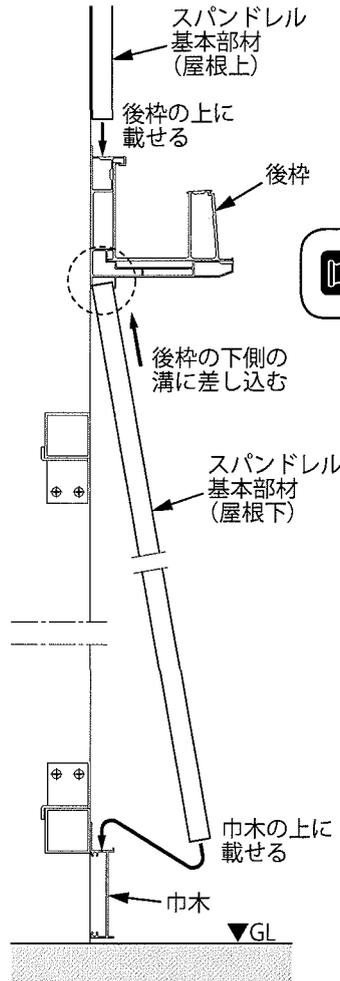
①スパンドレルL部材を、柱および胴縁に取付けてください。

 間口方向・向かって左端から取付けてください。  
※外側・内側それぞれ左端から取付けてください。

②スパンドレル基本部材を胴縁に取付けてください。

③スパンドレルR部材を、間口方向・向かって右端の柱に取付けてください。

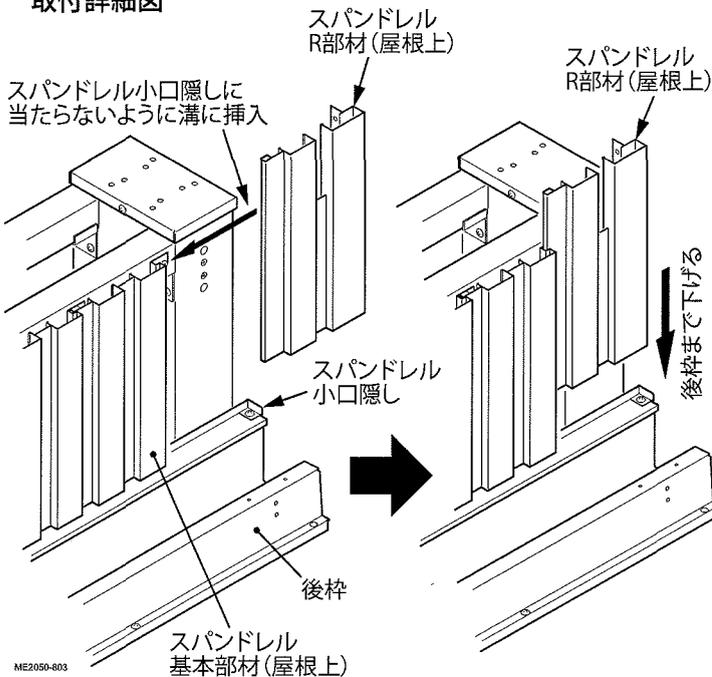
 柱のガイドライン上にビス止めしてください。



 スパンドレルは、巾木の上に載せてください。

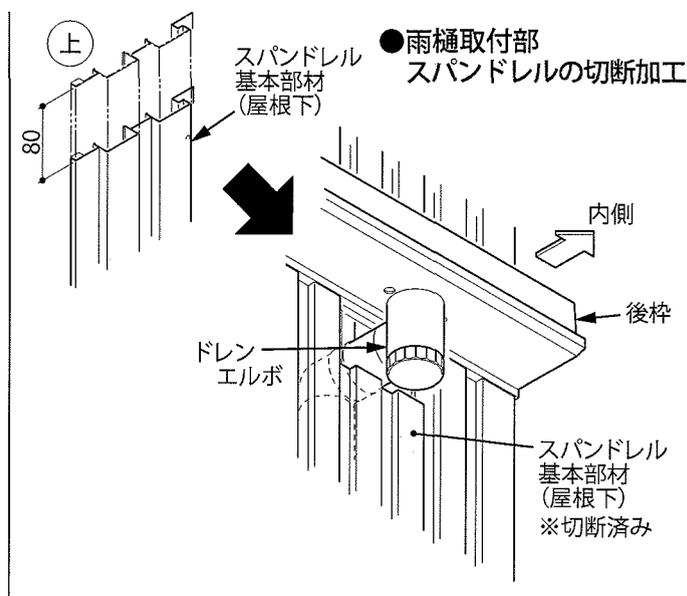
ME2050-812

●スパンドレルR部材(屋根上) 取付詳細図



ME2050-803

 雨樋取付部のスパンドレルは、雨樋に干渉しないように上部を切詰めてください。  
※後工程でふさぎ部品を取付けます。



ME2050-807

 間口方向のスパンドレルが、全て取付けられていることを確認してください。

④スパンドレル端部部材を、壁端部用柱の側面に取付けてください。

8-2 スリット枠納まり・窓納まりの場合



スパンドレルの施工手順は、「8-1. 標準納まりの場合」と同様になります。

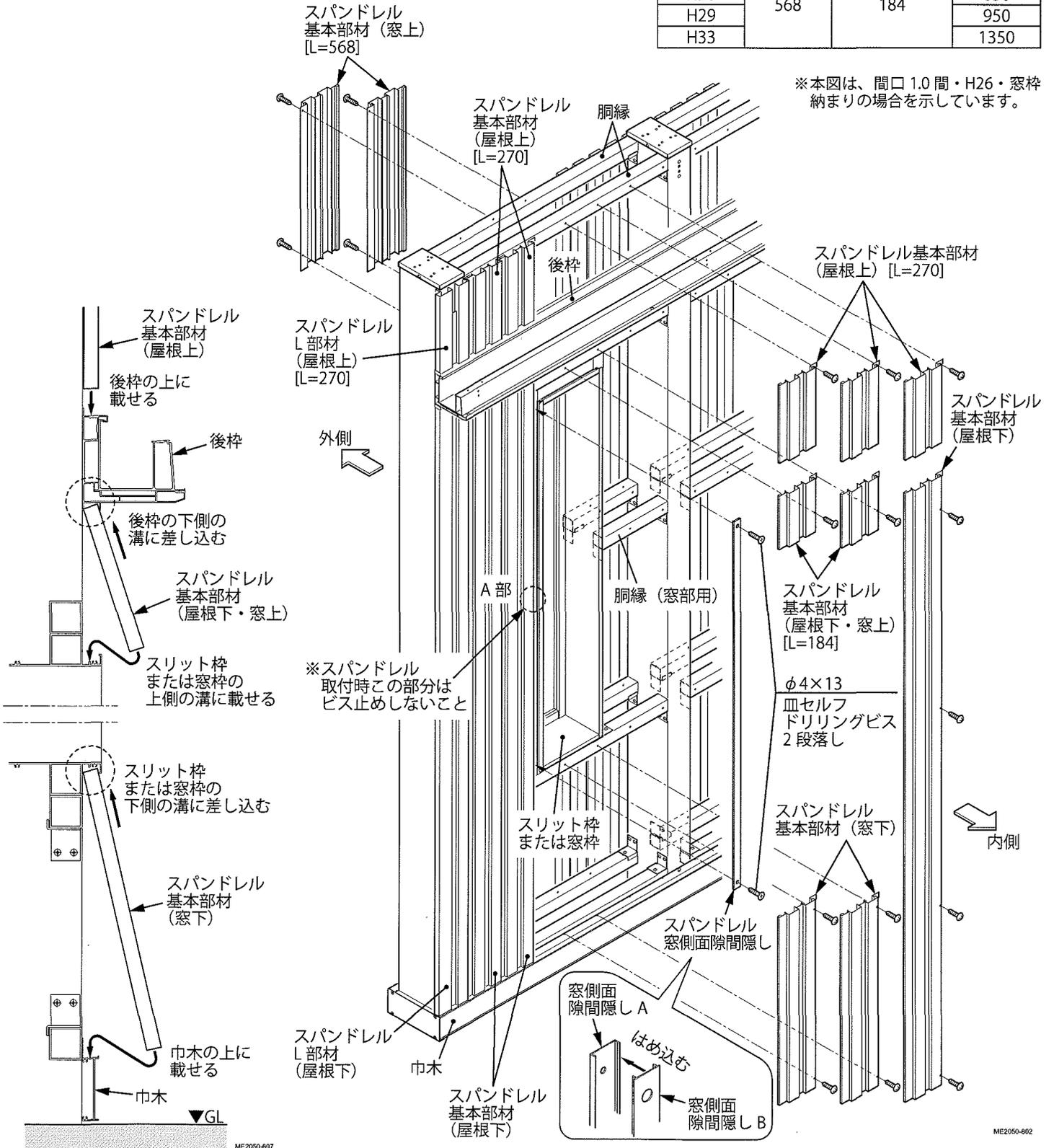


取付ビス：φ4×16 セルフドリリングビス

●窓部スパンドレル寸法一覧表 (mm)

H	窓上	屋根下・窓上	窓下
H23	568	184	350
H26			650
H29			950
H33			1350

※本図は、間口1.0間・H26・窓枠納まりの場合を示しています。





前ページの図を合わせて参照してください。

①スパンドレルL部材1列→基本部材2列を取付けてください。



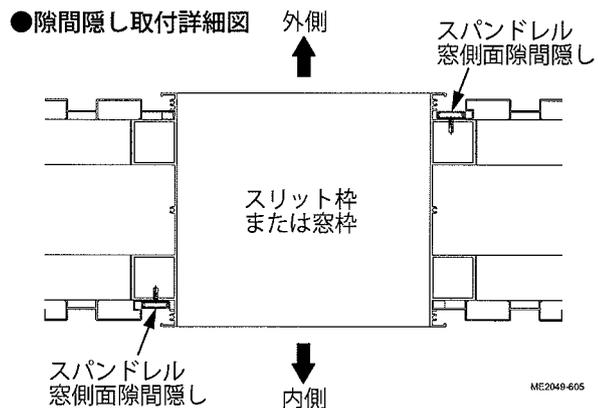
窓部左側に取り付ける基本部材は、胴縁（窓部用）にビス止めしないでください。（左図A部）  
※後工程で隙間隠しが取付けられなくなります。

②各窓部用基本部材2列を取付けてください。



●窓部上下とスパンドレルの間に隙間ができないようにしてください。  
●スリット枠・窓枠を傷つけないように注意してください。

③スパンドレル窓側面隙間隠しBをスパンドレル窓側面隙間隠しAにはめ込んでください。



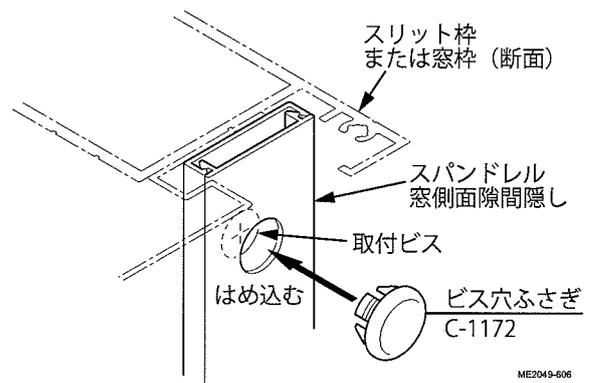
④スパンドレル窓側面隙間隠しを、窓枠左側に取り付けてください。



取付けに必要な下孔加工は、現場合わせにて行ってください。

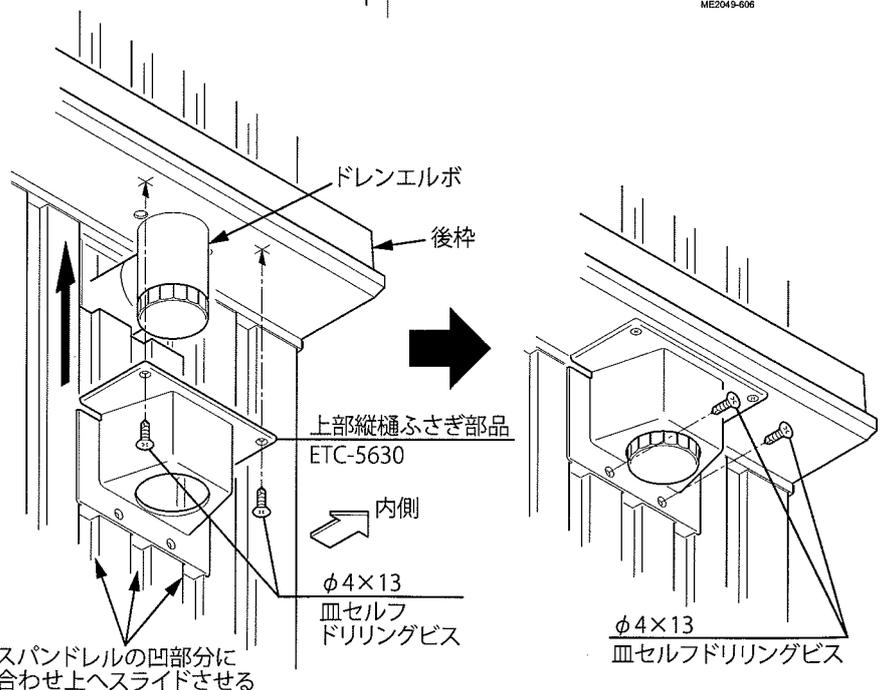
⑤ビス穴ふさぎを、スパンドレル窓側面隙間隠しに取り付けてください。

⑥「8-1.」と同様の手順で、全てのスパンドレルを取付けてください。



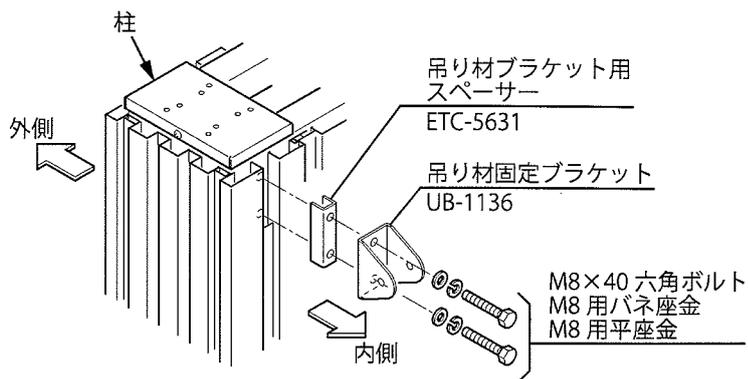
### 8-3 上部縦樋ふさぎ部品の取付け

①上部縦樋ふさぎ部品を、後枠の雨樋部に取付けてください。



## 8-4 吊り材固定ブラケットの取付け

- ①吊り材固定ブラケットを柱の上部に取付けてください。

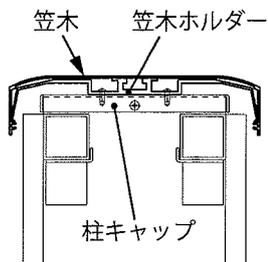


ME2050-205

## 9 笠木の取付け

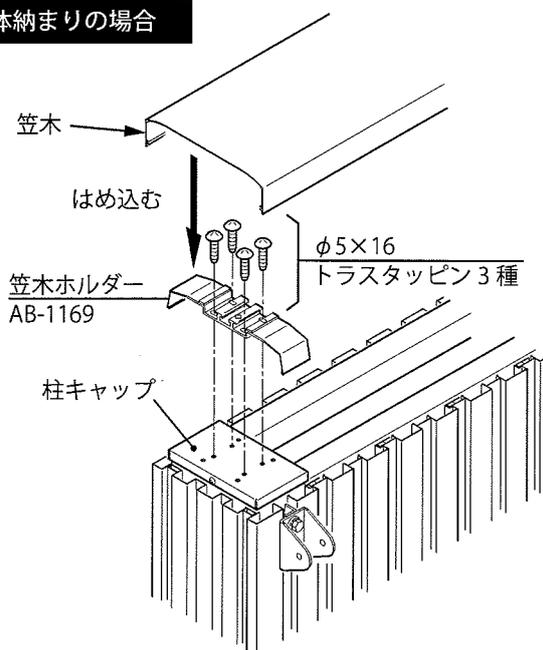
- ①笠木ホルダーを柱に取付けてください。  
②笠木を笠木ホルダーに取付けてください。

### ●笠木取付詳細図



ME2049-702

### 単体納まりの場合



ME2050-901

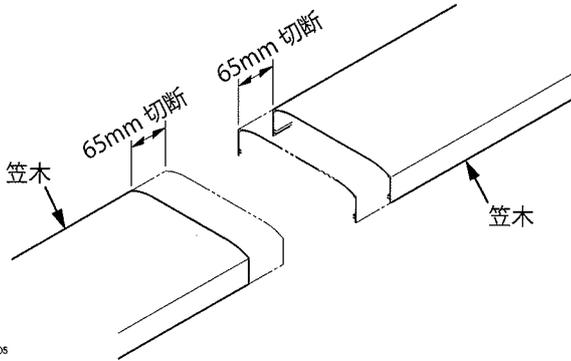


- 連棟納まりの場合は、笠木の連結部をそれぞれ切断してください。
- 笠木連結カバーで笠木を連結させ、笠木ホルダー連結用に取り付けてください。

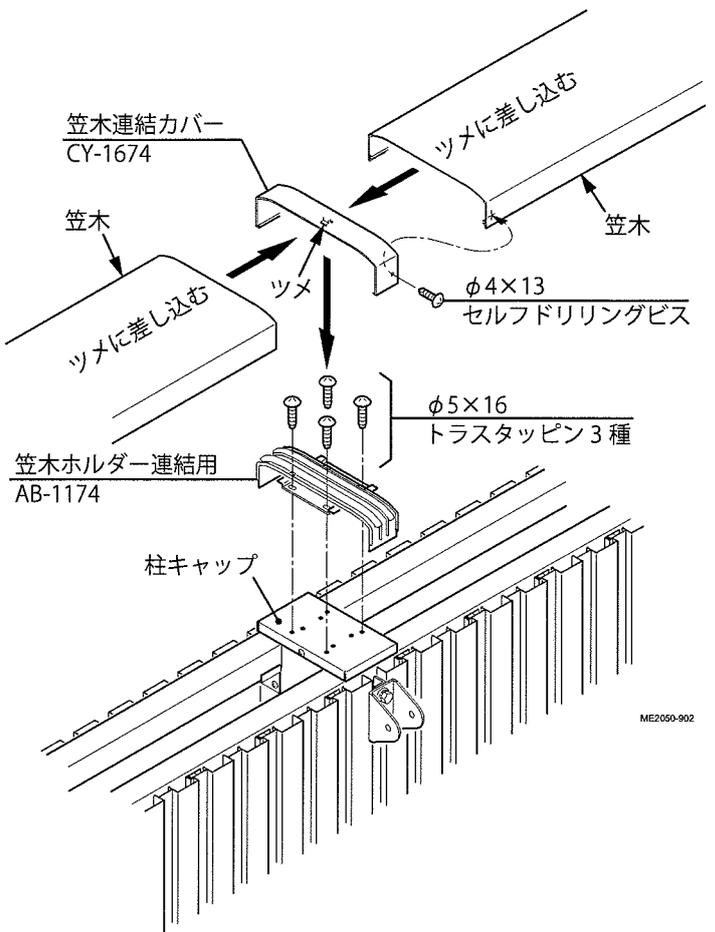
連棟納まりの場合



切断寸法：65mm



ME2049-705

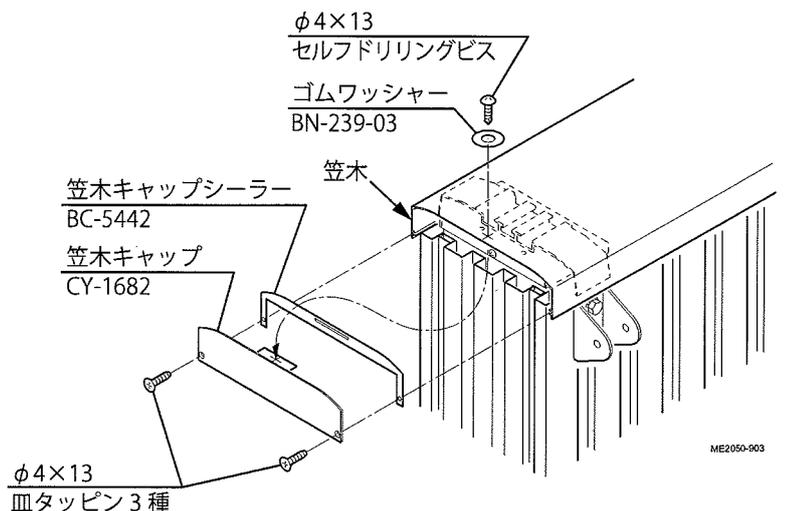


ME2050-902

- 笠木キャップシーラーを笠木の両端に貼付けてください。
- 笠木キャップを笠木の両端に取り付けてください。



笠木キャップと笠木間に隙間ができる場合は、セルフドリリングビスとゴムワッシャーを取付けてください。



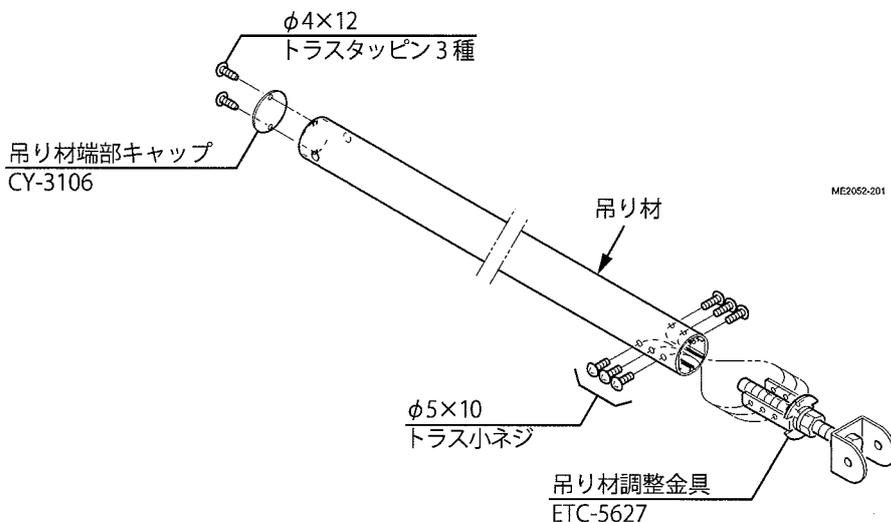
ME2050-903

# 10

## 垂木・母屋の取付け

### 10-1 吊り材の組立て

- ①吊り材端部キャップを吊り材に取付けてください。
- ②吊り材調整金具を吊り材に取付けてください。



### 10-2 垂木部品の取付け

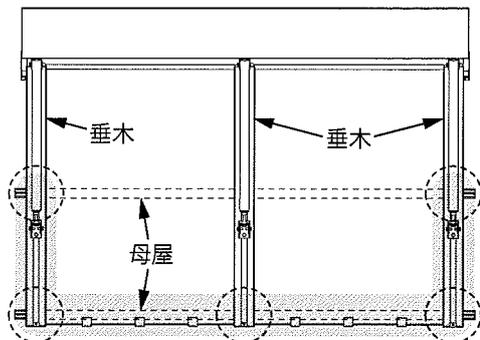
- ①バッカー材を母屋固定部品の中央に差し込んでください。



下図を参照し、屋根外周にあたる母屋固定部品にのみ取付けてください。

#### ●バッカー材取付箇所（イメージ図）

ME2050-1013



○部にあたる母屋固定部品に取付ける

※本図は、出巾4尺の場合を示しています。  
※5尺以上の場合で、母屋の数が異なる場合も外周にあたる箇所全てに取付けてください。

- ②母屋固定部品を垂木に取付けてください。

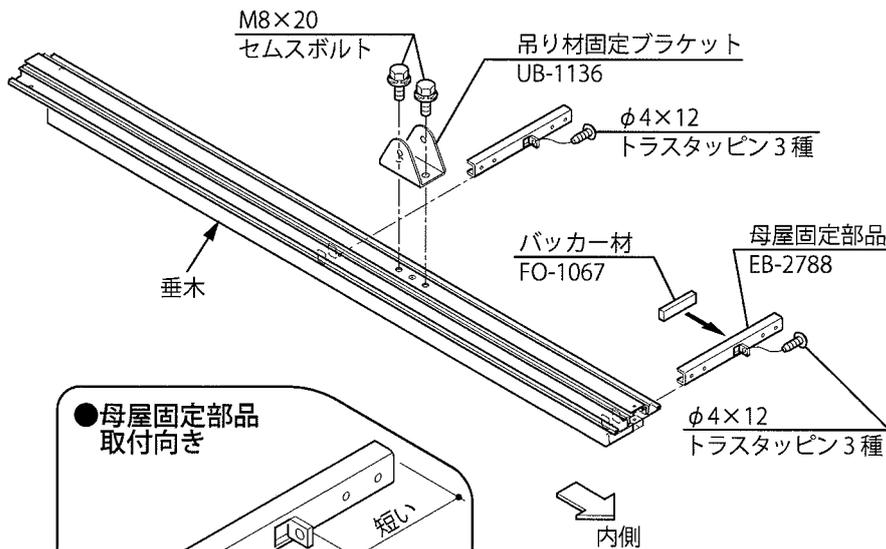


取付向きを確認してください。

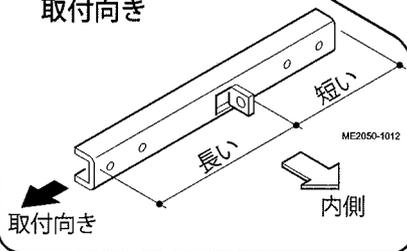
- ③吊り材固定ブラケットを垂木に取付けてください。



壁付け納まりの場合は、キャップ取付前に垂木連結固定部品を垂木先端に挿入し、仮止めしてください。

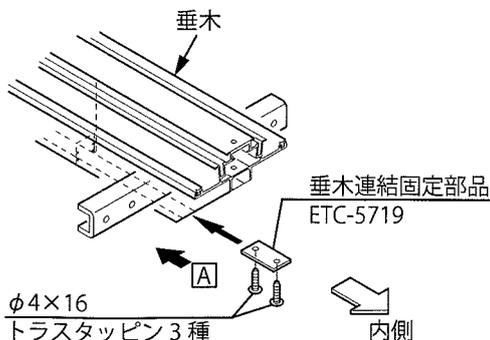


#### ●母屋固定部品取付向き

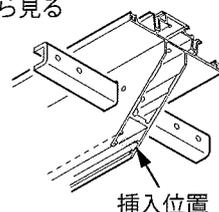


※本図は、出巾4尺の場合を示しています。

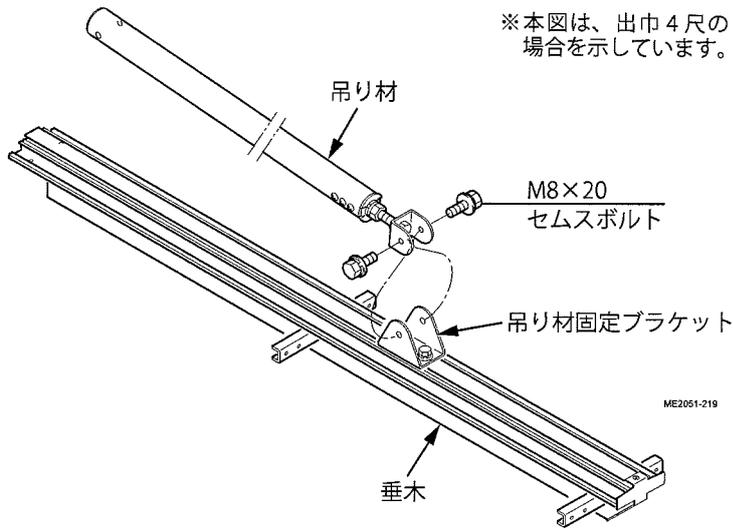
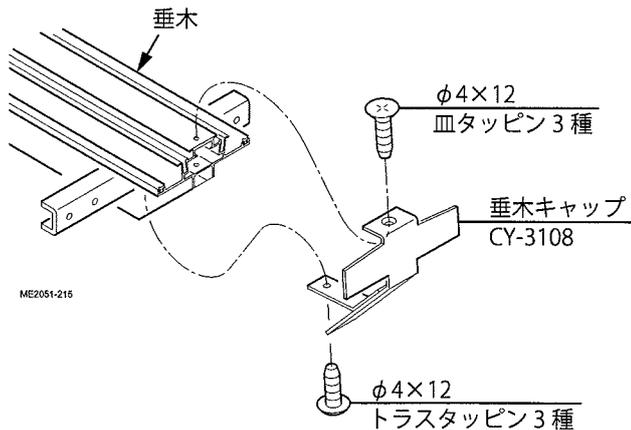
#### ●壁付け納まりの場合



#### ●Aから見る



④垂木キャップを垂木に取付けてください。



※本図は、出巾4尺の場合を示しています。

⑤吊り材を垂木に仮止めしてください。

### 10-3 吊り材・垂木の取付け



次の「手順①・②」は、連棟納まりの場合のみ参照してください。  
※単体納まりの場合は不要です。

①後枠連結部止水パッキンを、全ての後枠の連結部に載せてください。

②後枠連結部止水パッキンの周りに、シーリング処理を行ってください。

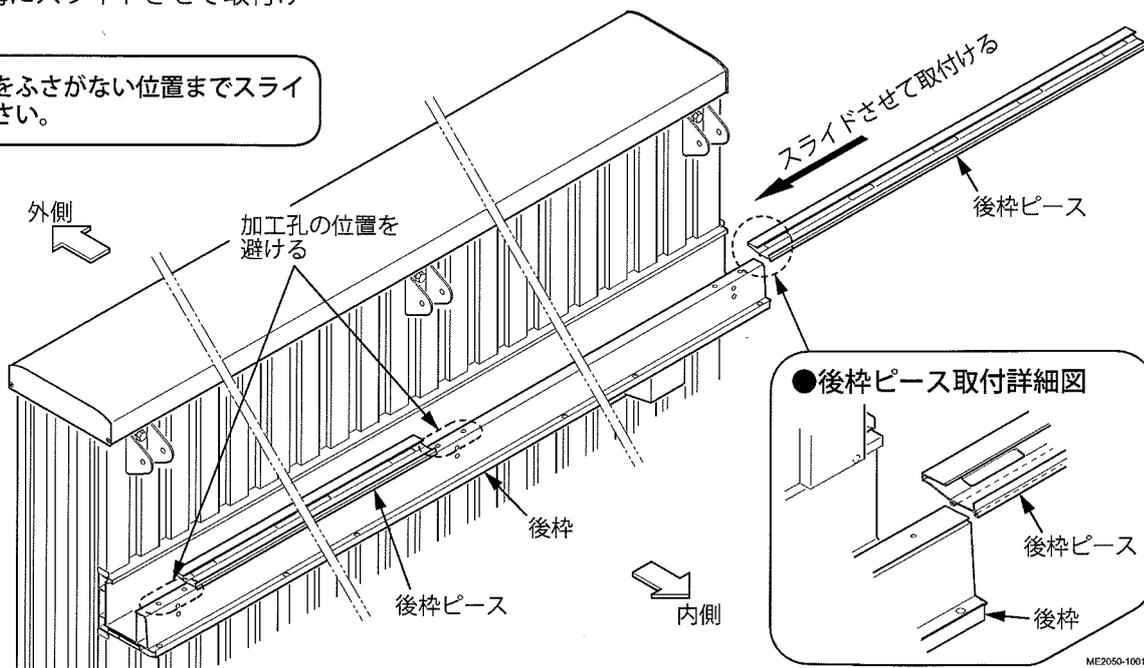
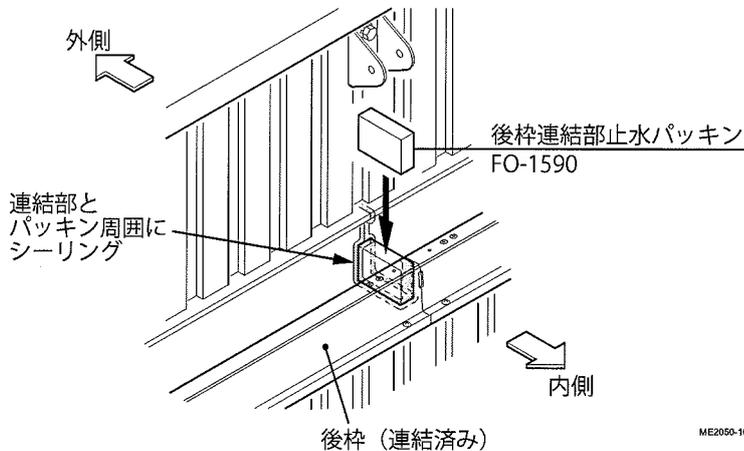


シーリング処理は確実に行ってください。  
※防水が不完全だと、雨漏りなどの原因になります。

③後枠ピースを後枠の溝にスライドさせて取付けてください。



後枠の加工孔をふさがない位置までスライドさせてください。



※本図は、間口1.0間・単体・標準納まりの場合を示しています。

# 垂木・母屋の取付け

## ⚠ 注意

垂木を後枠に取付けるまでは、垂木を支えておいてください。

※部品の破損、落下の恐れがあります。

④ 垂木取付部品を後枠に取付けてください。



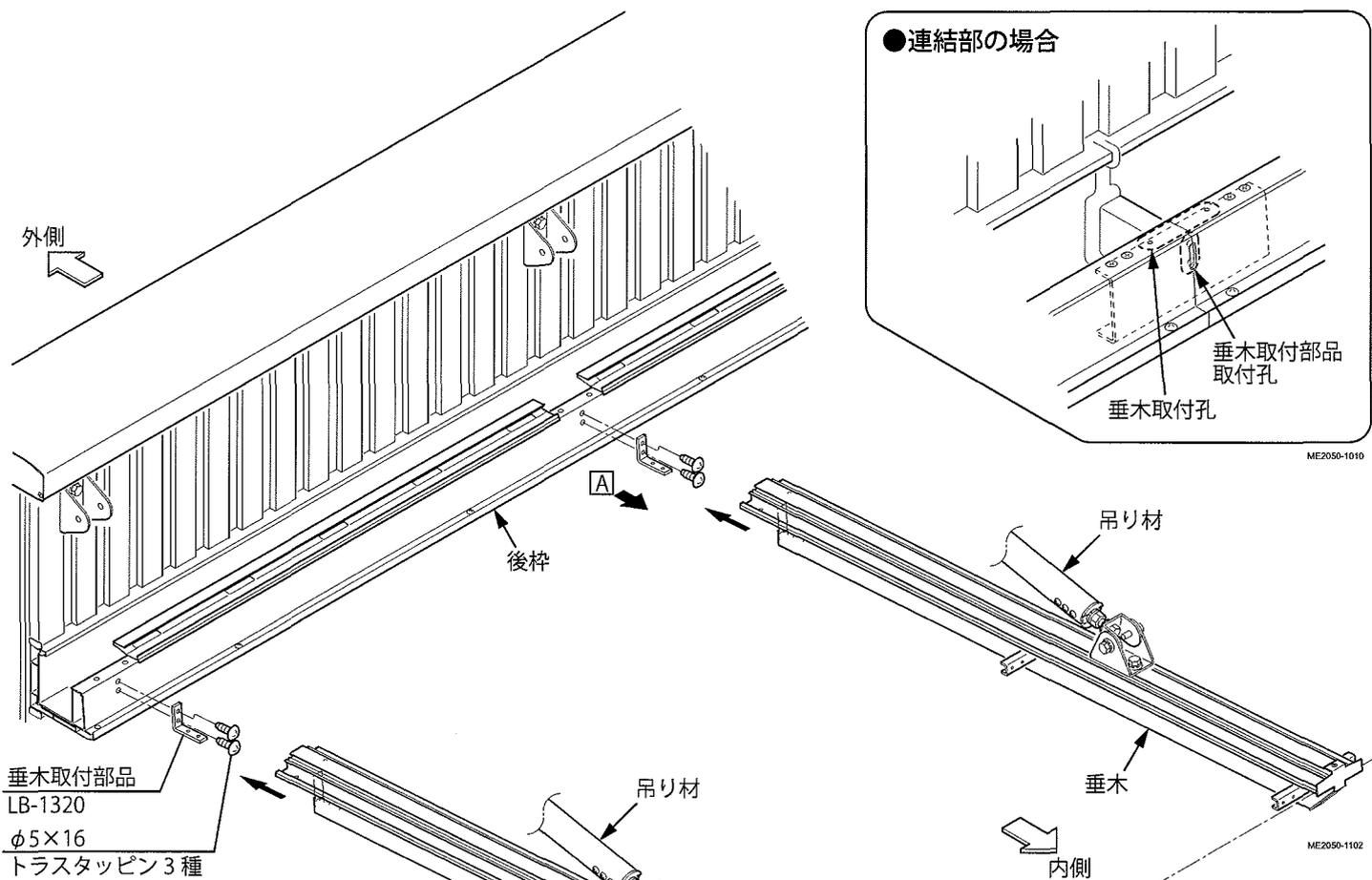
後枠連結部では、垂木取付部品は後枠連結部品に取付けます。

⑤ 垂木を垂木取付部品に差し込んでください。



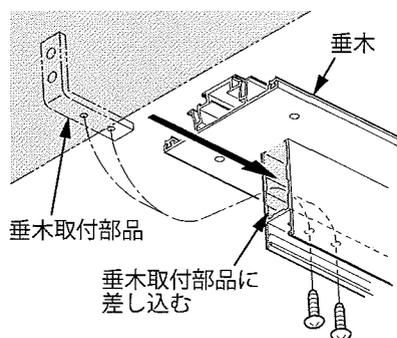
吊り材がぶつかったり落下しないよう、注意してください。

※本図は、出巾4尺・標準納まりの場合を示しています。



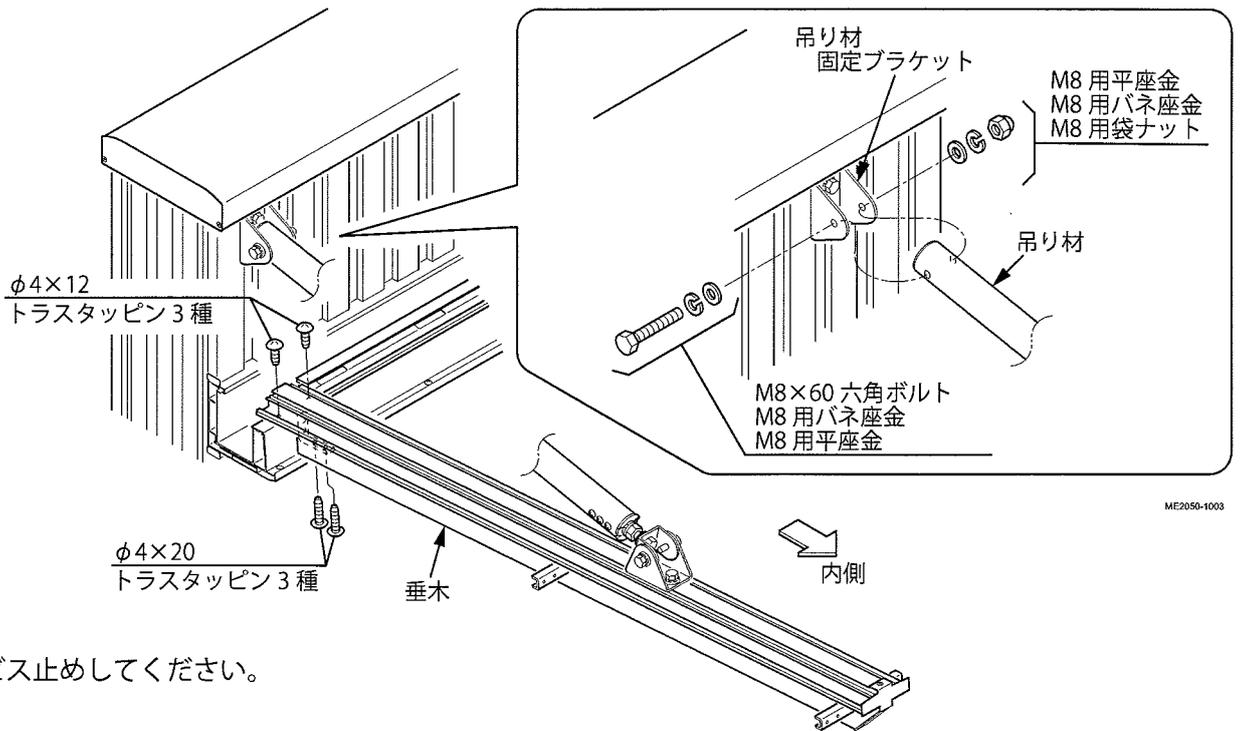
垂木取付部品  
LB-1320  
φ5×16  
トラスタッピン3種

## ●垂木の取付け (A から見る)



ME2051-303

⑥垂木の吊り材を吊り材固定ブラケットに仮止めしてください。



ME2050-1003

⑦垂木を後枠にビス止めしてください。

⑧各ビス・ボルトに緩みがないことを確認してください。

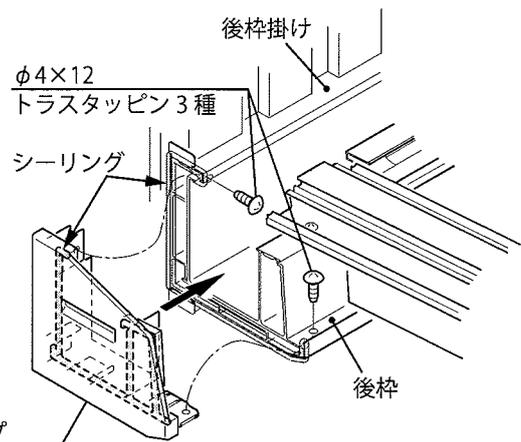
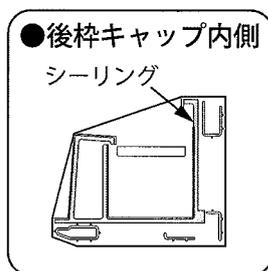
⑨後枠キャップを後枠掛けの両端に取付けてください。

**!**

- 後枠キャップおよび後枠掛けにシーリング処理を行ってください。
- シーリングが乾く前に取付けを済ませてください。

**!**

キャップには左右の区別があります。



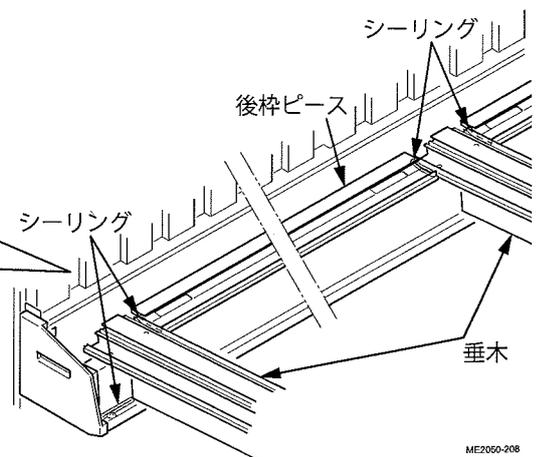
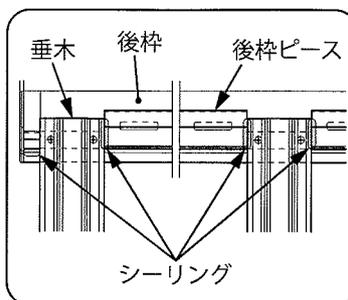
ME2050-207

後枠キャップ  
CY-3178  
※本図は R を示す

⑩後枠ピースと垂木の間にはシーリング処理を行ってください。

**!**

シーリング処理は確実に行ってください。  
※防水が不完全だと、雨漏りなどの原因になります。



ME2050-208

10-4 母屋の取付け

- ①「10-2.」の「手順①」でバッカー材を差し込んだ母屋固定部品取付部分にシーリング処理を行ってください。
- ②母屋を垂木に取付けてください。

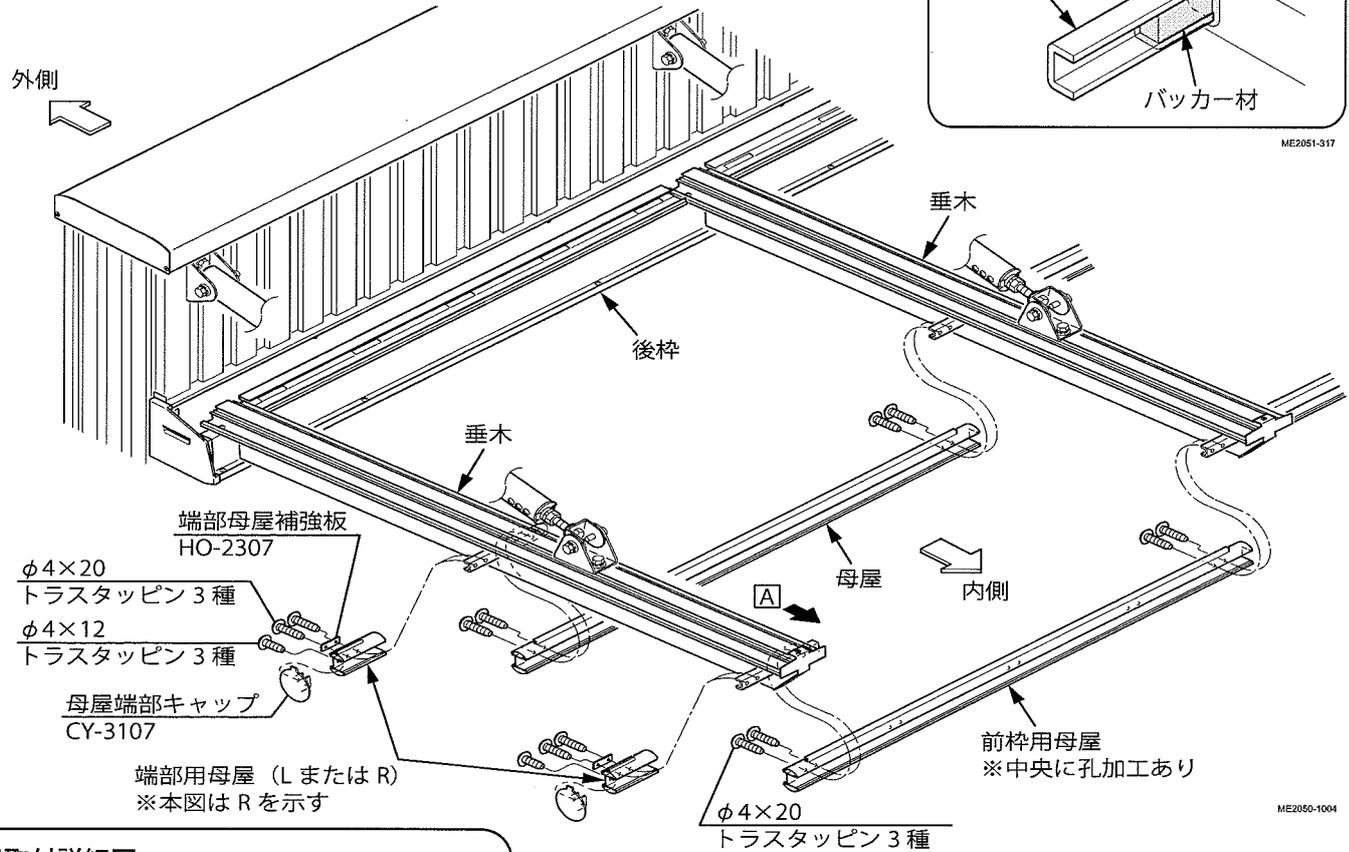
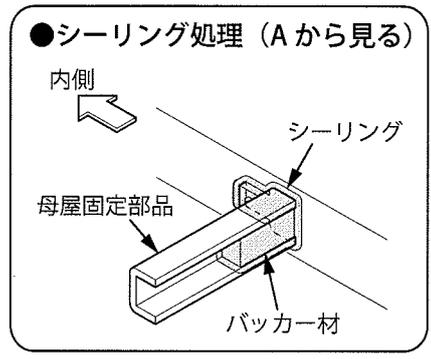
**!** 母屋固定部品のシーリングが乾く前に取付けを完了させてください。

**☞** 後枠側から順に取付けてください。

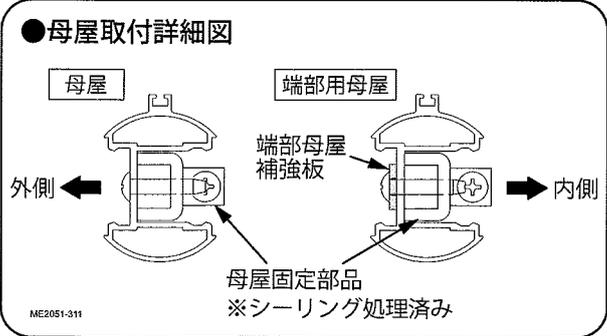
**!** 母屋の種類、取付位置、向きを確認してください。

**☞** 取付本数は出巾によって異なります。  
 ・3尺・4尺：2本  
 ・5尺・6尺：3本

- ③母屋端部キャップを、端部用母屋に取付けてください。



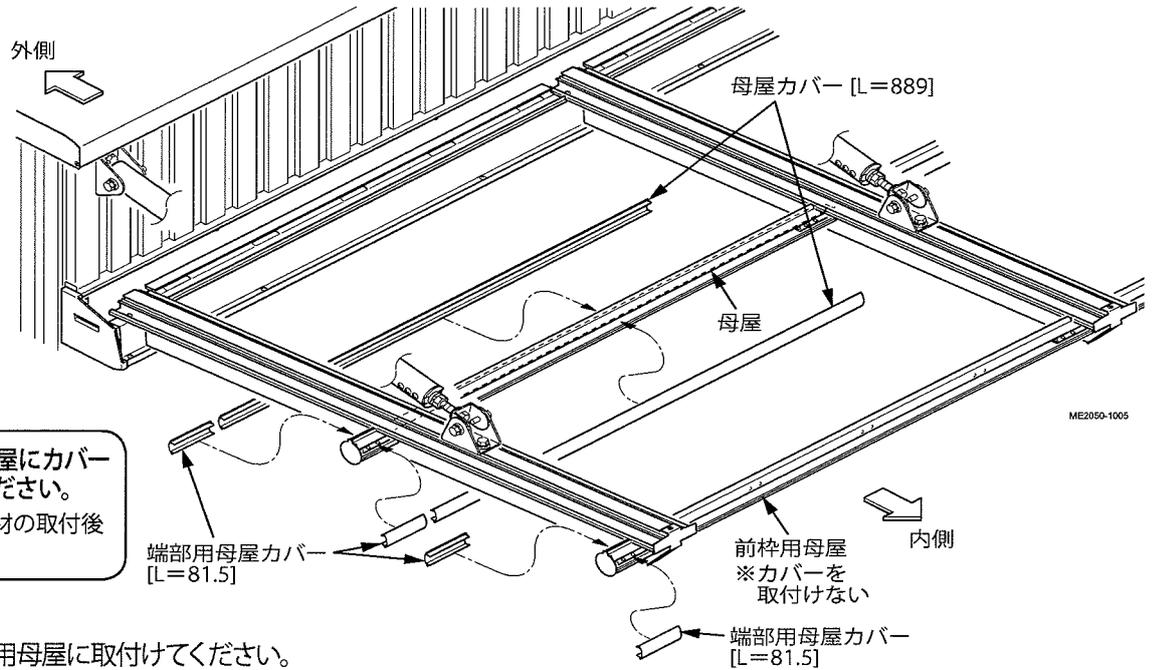
- 端部母屋補強板 HO-2307
- φ4×20 トラスタッピン 3種
- φ4×12 トラスタッピン 3種
- 母屋端部キャップ CY-3107
- 端部用母屋 (LまたはR) ※本図は R を示す



※本図は、出巾4尺・標準納まりの場合を示しています。

④母屋カバーを母屋に取付けてください。

※本図は、出巾4尺・標準納まりの場合を示しています。



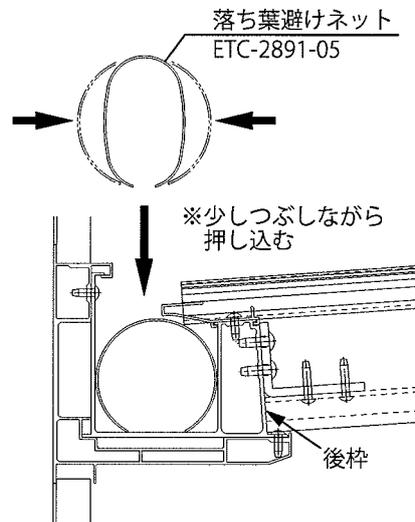
**!** ここでは前枠用母屋にカバーを取付けないでください。  
※後工程で、屋根材の取付後に取付けます。

⑤端部用母屋カバーを端部用母屋に取付けてください。

**☞** オプションの落ち葉避けネットを取付ける場合に参照してください。

⑥落ち葉避けネットを後枠に取付けてください。

**☞** 連棟納まりで、落ち葉避けネットが止水パッキンに当たる場合は、20mm程度ネットを切断してください。



### 10-5 吊り材の調整

①全ての垂木・母屋を取付けた後、吊り材の長さを調整して垂木の先端のレベルを合わせてください。

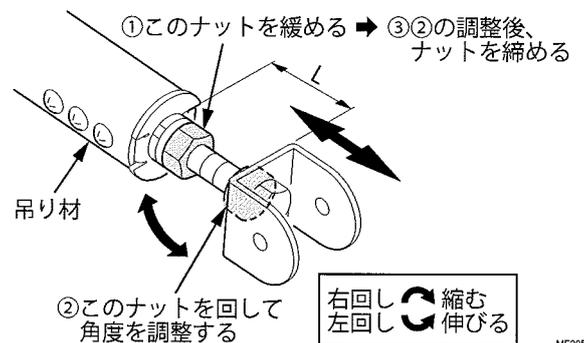
**!** 正確に合わせてください。  
※正確に合わせないと、取付不良の原因になります。

**!** 吊り材の角度調整は、施工による誤差を修正する場合や柱移動時にのみ行ってください。  
※不用意に角度を変更すると、取付不良の原因になります。

②吊り材の取付ボルトを本締めしてください。

③各ビス・ボルトに緩みがないことを確認してください。

#### ●吊り材の調整方法



**☞** 基準寸法 L: 56mm 垂木角度: 4°

# 11

## ルーフの壁付け

(※壁付け納まりの場合)

●壁付け納まりの場合に参照してください。

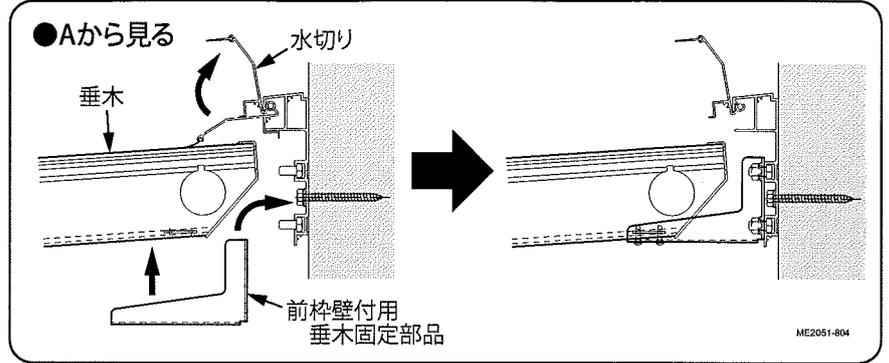


- 水切りを上を開くと、作業が容易に行うことができます。
- 連棟納まりで、前枠壁付用部材連結部品 A・B が干渉して水切りを開けない場合は、水切りをスライドさせてから開いてください。

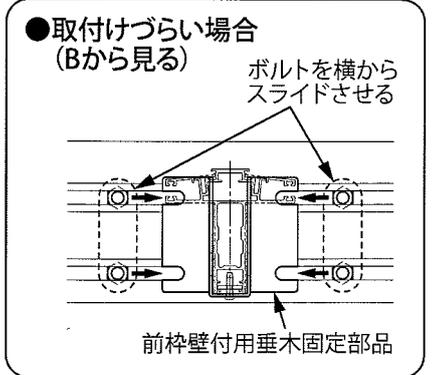
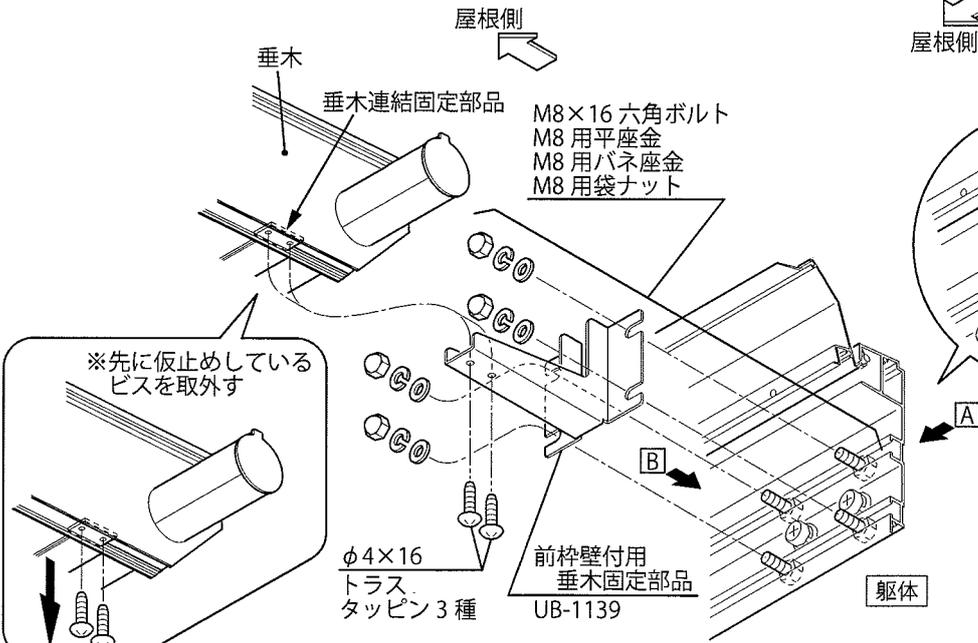
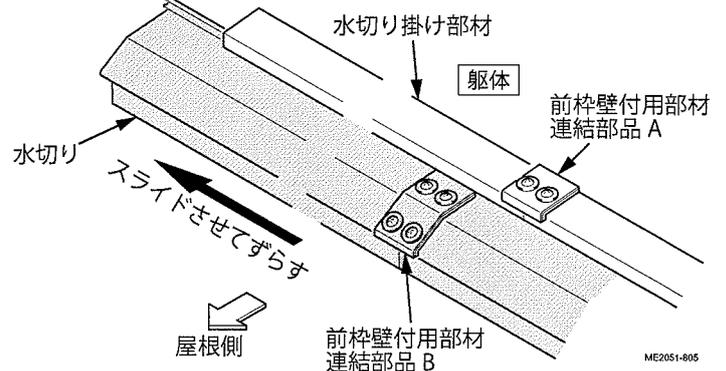
- ①六角ボルトを水切り掛け部材の溝にスライドさせて挿入してください。
- ②垂木連結固定部品を仮止めているビスを外してください。
- ③前枠壁付用垂木固定部品を垂木・水切り掛け部材に取付けてください。



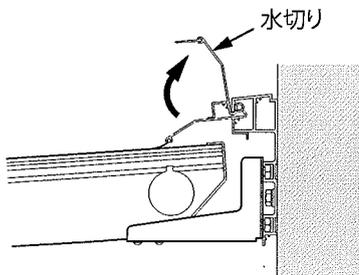
- 水切り掛け部材への取付けは、「手順①」で挿入したボルトを使用してください。
- 垂木への取付けは、「手順②」のビスで垂木連結固定部品と共締めしてください。



●連棟納まりで水切りが開けない場合



後工程の屋根材・押さえ材の取付けで、水切りにより作業に支障がある場合は、水切りを上を開いてください。



# 12

## 屋根材の取付け

### 12-1 屋根材の取付け

①屋根材のマスキングシートをはがしてください。



- 両面ともはがしてください。
- 屋根材には表裏の区別があります。
- マスキングシートの「こちらの面を太陽光に向けてください」という表示がある面が天面になります。はがす前に確認してください。

②屋根材を垂木に載せ、後枠ピースに差し込んでください。



奥まで確実に差し込んでください。

③前枠用母屋カバーを前枠用母屋に取り付けてください。

④屋根材押さえ部品を前枠用母屋に取り付けてください。

⑤押さえ材を垂木に取り付けてください。



●屋根材を四隅で均等に振り分け、たわみがないようにしてください。

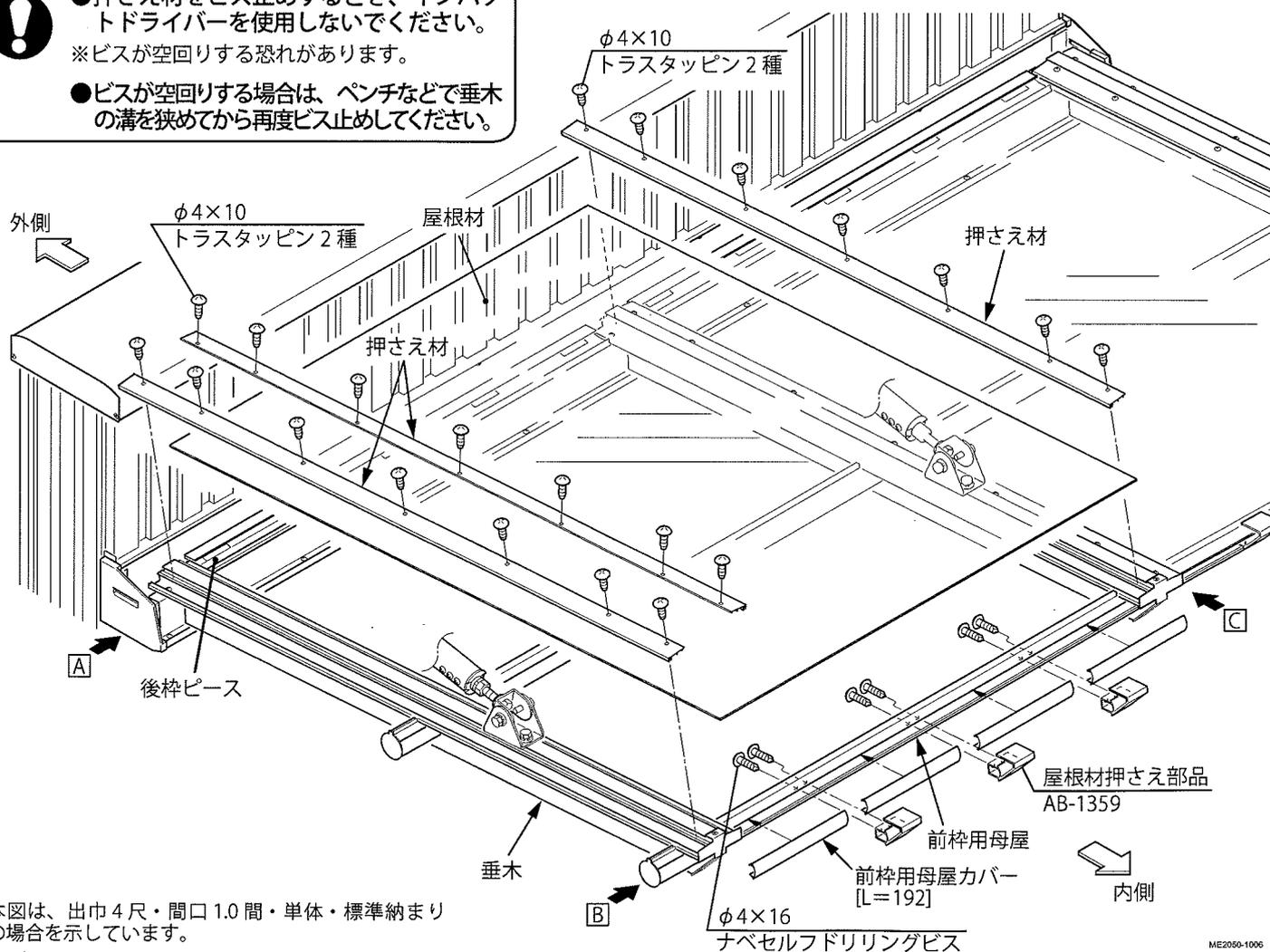
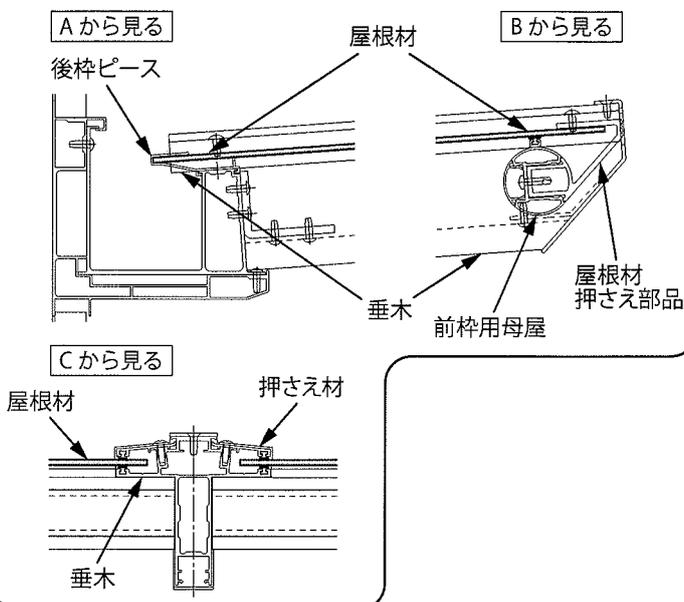
●押さえ材をビス止めするとき、インパクトドライバーを使用しないでください。

※ビスが空回りする恐れがあります。

●ビスが空回りする場合は、ペンチなどで垂木の溝を狭めてから再度ビス止めしてください。

#### ●屋根材納まり詳細図

ME2050-1015



※本図は、出巾4尺・間口1.0間・単体・標準納まりの場合を示しています。

## 屋根材の取付け

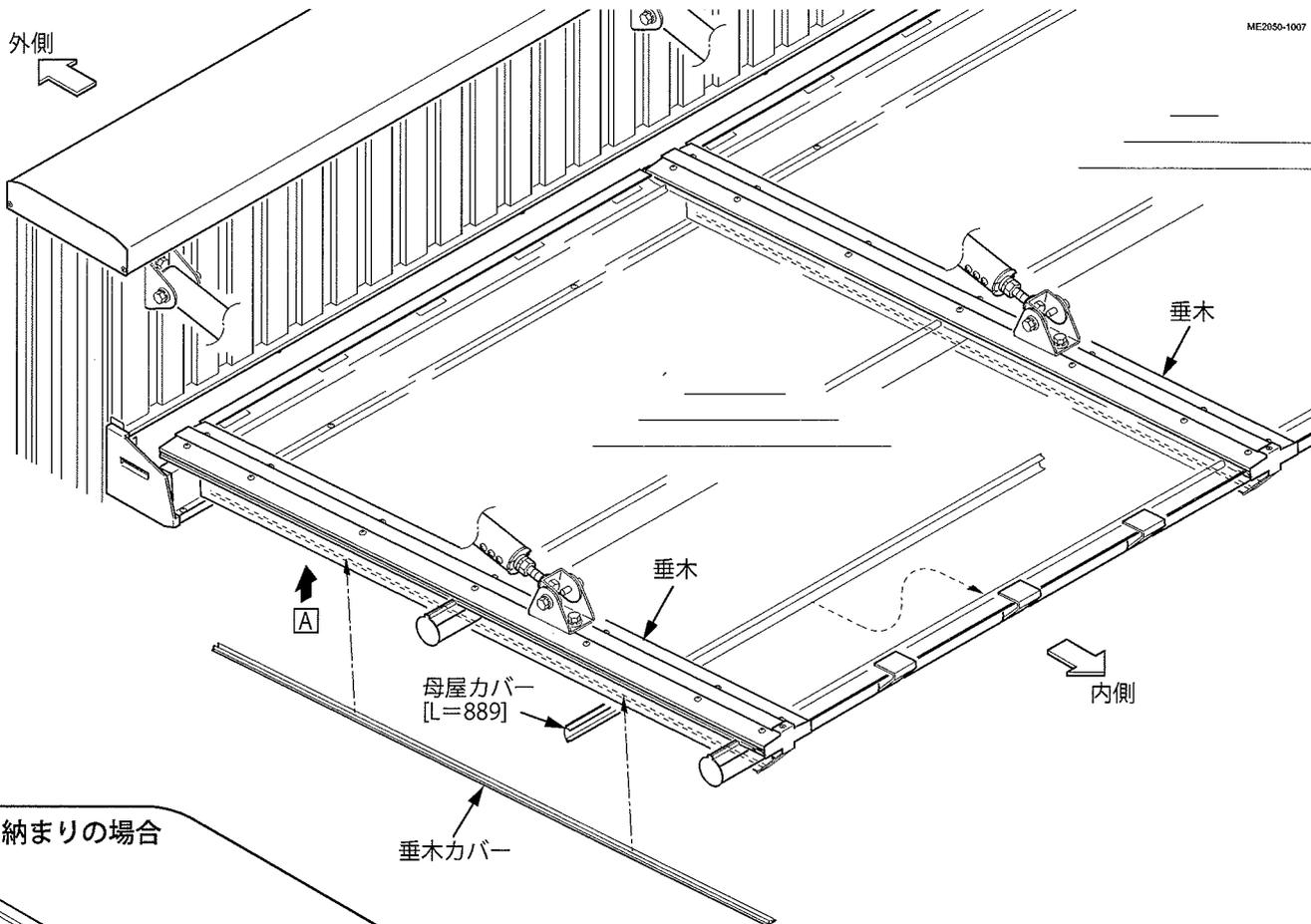
⑥母屋カバーを前枠用母屋に取付けてください。

⑦垂木カバーを垂木の下側に取付けてください。



壁付け納まりの場合は、取付前に垂木カバーを切詰めてください。

※本図は、出巾4尺・間口1.0間・単体・標準納まりの場合を示しています。



### ●壁付け納まりの場合

ME2051-310

垂木カバー

※切詰める

45

### ●垂木カバーの取付け (Aから見る)

内側

溝

垂木

垂木カバー

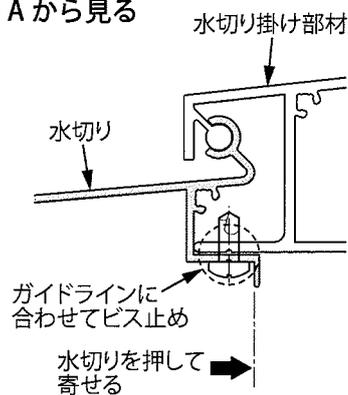
途中まではめてから奥までスライドさせる

⑧各ビス・ボルトに緩みがないことを確認してください。

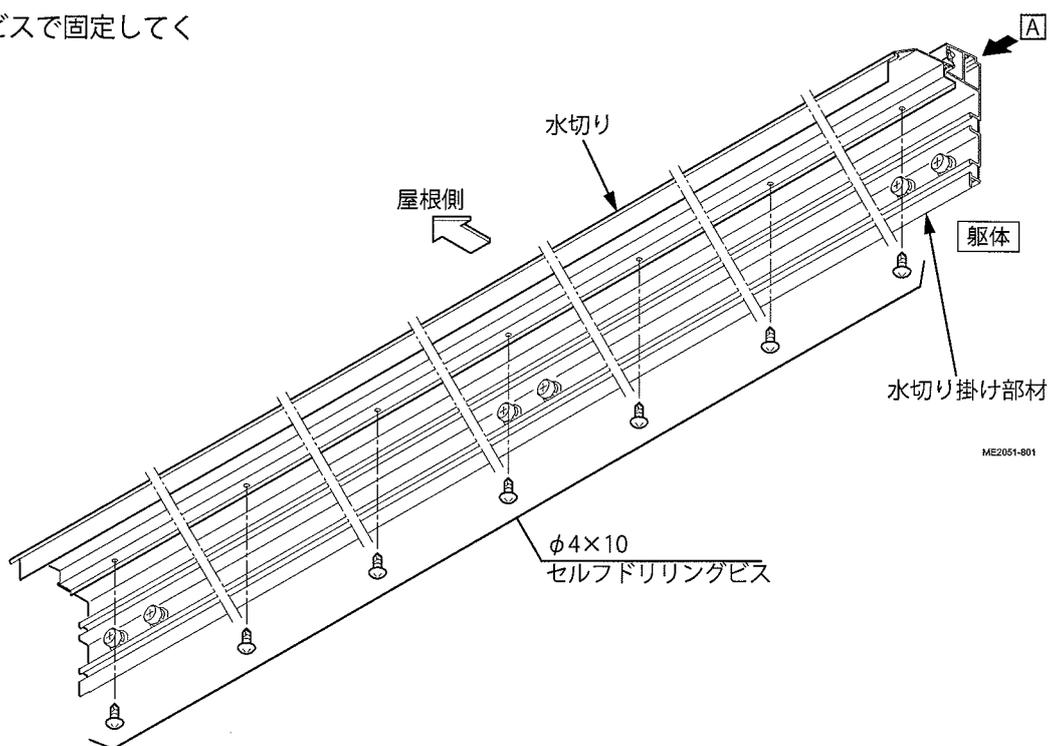
12-2 水切りの固定 (※壁付け納まりの場合)

①水切りを、水切り掛け部材にビスで固定してください。

● A から見る



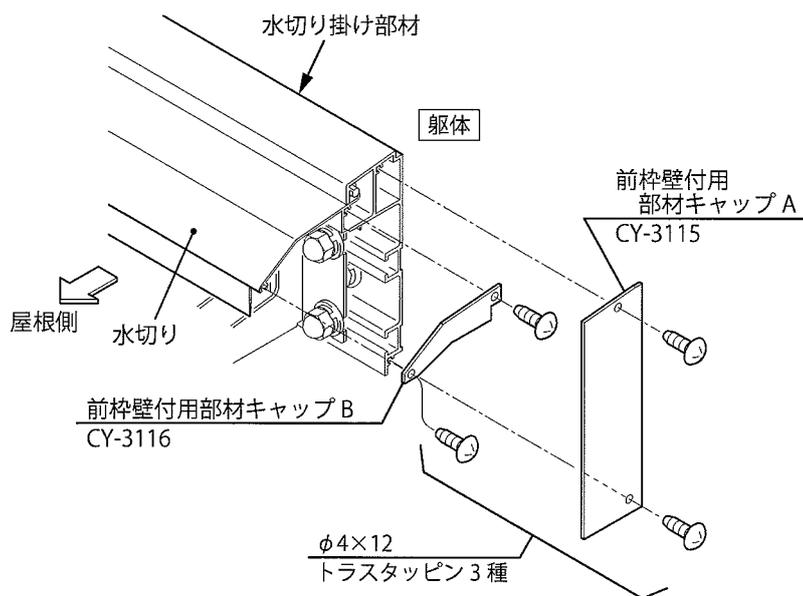
ME2051-808



ME2051-801

②前枠壁付用部材キャップ B を水切りに取付けてください。

③前枠壁付用部材キャップ A を水切り掛け部材に取付けてください。



ME2051-803

# 施工完了時の注意事項

- ビス・ボルト類が確実に締め付けられているか確認してください。
- 雨漏りなどがないか確認し、必要に応じて防水処理を追加してください。
- 使用上危険な箇所等がないか点検してください。

## ■施工工事店様、販売店様へのお願い

- 「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
- この取付説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

施 工 完 了 日	年	月	日
施 工 工 事 店		TEL ( )	-
販 売 店		TEL ( )	-



新日軽株式会社

この商品についてのご質問やご相談は右記の窓口にお問い合せください。

お客様相談室



0120-37-2534

新日軽インターネットホームページ <http://www.shinnikkei.co.jp>